

令和5年度4年次授業時間割表

週	日付	月					火					水					木					金												
		8:50-10:10	10:20-11:40	12:50-14:10	14:20-15:40	15:50-17:10	8:50-10:10	10:20-11:40	12:50-14:10	14:20-15:40	15:50-17:10	8:50-10:10	10:20-11:40	12:50-14:10	14:20-15:40	15:50-17:10	8:50-10:10	10:20-11:40	12:50-14:10	14:20-15:40	15:50-17:10	8:50-10:10	10:20-11:40	12:50-14:10	14:20-15:40	15:50-17:10								
1	4/10-14	人の死・死と法	精神	皮膚	臨床医学アドバンスコース	診療情報	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	臨床医学アドバンスコース	基本的診療技能	臨床医学アドバンスコース	基本的診療技能	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース	臨床医学アドバンスコース							
2	4/17-21					診療情報																						人の死・死と法	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能	
3	4/24-28					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
4	5/1-5					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
5	5/8-12					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
6	5/15-19					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
7	5/22-26					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
8	5/29-6/2					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
9	6/5-9					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
10	6/12-16					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
11	6/19-23					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
12	6/26-30					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能
13	7/3-7					人の死・死と法																						精神	物理・化学的因子による疾患 救急疾患	診療情報	人の死・死と法	精神	総合診療・臨床検査	基本的診療技能

14	7/10-14	<p>試験期間（予定）</p> <p>統一試験 7月21日（金）</p> <p>CBT 8月21日（月）</p> <p>OSCE 8月26日（土）</p> <p>※各試験の追再試日程は別途通知する</p> <p>※スチューデントドクター認定証授与式の日程等は別途連絡する</p>																								
24	10/10-13	<p>臨床実習（10月10日～3月8日） ※詳細は4年次臨床実習計画表を参照</p> <p>毎週金曜日4・5コマ目（7・8・9・10時限）は医学医療総合講義</p>																								

令和5年度4年次臨床医学アドバンストコース

期 間	授業科目	
	前半	後半
7月3日 (月) ~ 7月7日 (金) (13週)	整形外科学	リハビリテーション
	救急・集中治療医学	麻酔・蘇生・疼痛管理学
	眼科学	代謝・内分泌内科学
	心臓血管外科学	循環器内科
	総合診療・検査診断学	精神科学
	胸部外科学Ⅰ（呼吸器）	呼吸器内科学
	脳神経外科学	放射線医学
	消化器外科学・消化器内科学・食道外科学	消化器外科学・消化器内科学・食道外科学
	産婦人科学	胸部外科学Ⅱ（乳腺）
	血液・腎臓・膠原病内科学	腎泌尿器科学
	臨床腫瘍学	皮膚科学・形成外科学
	小児外科学	小児科学
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	歯科口腔外科学

分類：臨床医学Ⅲ

授業科目名：皮膚（Dermatology and Plastic Surgery）－皮膚の特性と病態－

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633021

開設学期等：第7週～第10週（毎週月曜日1-10時限）

単位数：1

1. 主任教員

河野 通浩（教授、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

2. 担当教員

河野 通浩（教授、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

野口 奈津子（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

加藤 真紀（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

山川 岳洋（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

三川 信之（非常勤講師、千葉大学医学部 形成外科 教授、043-222-7171）

今井 啓道（非常勤講師、東北大学医学部 形成外科 教授、022-717-7332）

橋田 直久（非常勤講師、元町形成外科 院長、018-829-3003）

渡邊 理子（非常勤講師、秋田赤十字病院 形成外科部長、018-829-5000）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【授業の概要】

・以下の皮膚疾患の病因，病理生態，症候，診断と治療を解説する。

1. 湿疹，皮膚炎群
2. 蕁麻疹，痒疹，皮膚そう痒症
3. 膠原病と類縁疾患
4. 紅斑症，薬疹，血管炎，紫斑病
5. 末梢循環障害，物理化学的障害
6. 水疱症，膿疱症
7. 色素異常症
8. 結合織疾患，肉芽腫症，皮膚萎縮症，代謝異常症，早老症
9. 遺伝性角化症と炎症性角化症
10. 感染症と付属器疾患
11. 母斑と母斑症
12. 良性および悪性腫瘍

【ねらい】

- ・皮膚の構造と機能を理解する。【3-1）、3-2）】
- ・主な皮膚疾患の病因，病態生理，症候，診断と治療を学ぶ。【1-1）、1-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）】
- ・関連するプロフェッショナリズム，医の倫理，EBMについて学ぶ。【1-1）、1-2）、4-2）、4-3）、4-4）】
- ・皮膚疾患における最新知識を織り交ぜて、リサーチマインドの醸成を目指す。【5-2）、5-3）】

4. 教科書・参考書

- ・あたらしい皮膚科学（清水 宏，中山書店）
- ・シンプル皮膚科学（眞鍋 求/梅林芳弘，南江堂）

5. 成績評価の方法

- ・ 出席状況、試験など

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・ 担当教員の予定により、講義日程と担当教官が若干変更する場合がある。
- ・ 予習復習を適宜行うことが望ましい。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	5月22日 (月)	1-2時限	講義	<p>テーマ：皮膚の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の組織構造を図示して説明できる。 ・皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。 ・皮膚の免疫防御能を説明できる。 <p>【3-1）、3-2）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
2	5月22日 (月)	3-4時限	講義	<p>テーマ：皮膚科の診断と検査、治療の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記法（Darier 徴候）、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト）を概説できる。 ・皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）を説明できる。 ・微生物検査法（検体採取法、苛性カリ KOH 直接検鏡法）を概説できる。 ・軟膏とクリームの違いについて説明できる。 <p>【3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、4-2）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
3	5月22日 (月)	5-6時限	講義	<p>テーマ：蕁麻疹・痒疹・皮膚そう痒症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蕁麻疹の臨床とその治療法について学ぶ。 ・蕁麻疹の原因とその発症メカニズムを説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
4	5月22日 (月)	7-8時限	講義	<p>テーマ：膠原病と類縁疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膠原病と類縁疾患を概説し、その種類を列挙できる。 ・膠原病に特徴的な皮疹を説明し、関連する疾患を列挙できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
5	5月22日 (月)	9-10時限	講義	<p>テーマ：末梢循環障害・物理化学的障害・付属器疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末梢循環障害の病因、症候と病態を説明できる。 ・物理化学的障害の病因、症候と病態を説明できる。 ・毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。 ・爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
6	5月29日 (月)	1-2時限	講義	<p>テーマ：湿疹・皮膚炎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湿疹の分類について列挙・説明できる。 ・湿疹三角に示される臨床的な皮疹の多様性を学び、その組織学的特徴を説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	野口 奈津子	附属病院第二病棟2階多目的室
7	5月29日 (月)	3-4時限	講義	<p>テーマ：良性腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分ける方法を説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	加藤 真紀	附属病院第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
8	5月29日 (月)	5-6時限	講義	<p>テーマ：遺伝性角化症・炎症性角化症 遺伝性角化症と炎症性角化症の分類について学ぶ ・乾癬をはじめとした炎症性角化症の臨床・病理・治療法を説明できる。 ・遺伝性角化症の原因遺伝子と角化過程へのかかわりを理解する。 【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	山川 岳洋	附属病院第二病棟2階多目的室
9	5月29日 (月)	7-8時限	講義	<p>テーマ：形成外科1 ・局所皮弁の対象疾患、治療内容について説明できる。 ・顔面の局所皮弁の種類、選択を列挙できる。 ・局所皮弁の原理、限界を説明できる。 【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	渡邊 理子	附属病院第二病棟2階多目的室
10	5月29日 (月)	9-10時限	講義	<p>テーマ：形成外科2 ・レーザー治療の対象疾患、治療内容について説明できる。 ・血管腫のレーザー治療の開始時期、レーザー治療施設への紹介のタイミングを説明できる。 ・レーザー治療の原理、性質、限界を説明できる。 【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	橋田 直久	附属病院第二病棟2階多目的室
11	6月5日 (月)	1-2時限	講義	<p>テーマ：紅斑症・薬疹・血管炎・紫斑病 ・多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。 ・血管炎の病因、症候と病態を説明できる。 ・薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。 【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
12	6月5日 (月)	3-4時限	講義	<p>テーマ：ウイルス感染症・真菌症・節足動物・寄生虫による疾患 ・皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、带状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。 ・皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。 ・疥癬、しらみの臨床と治療法について説明できる。 【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
13	6月5日 (月)	5-6時限	講義	<p>テーマ：細菌感染症・抗酸菌感染症・性感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる。 ・皮膚の結核病および非定型抗酸菌症の症候、病型と病因菌を説明できる。 ・梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。 ・後天性免疫不全症候群 AIDS に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
14	6月5日 (月)	7-8時限	講義	<p>テーマ：再建外科1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再建外科について説明できる。 ・口唇口蓋裂の治療について説明できる。 ・顔面外傷の治療について説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	今井 啓道	附属病院第二病棟2階多目的室
15	6月5日 (月)	9-10時限	講義	<p>テーマ：再建外科2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唇裂口蓋裂、頭蓋骨異常の対象疾患、治療内容について説明できる。 ・唇裂口蓋裂、頭蓋骨異常の治療の開始時期、それによる骨への発育への影響を説明できる。 ・骨延長の原理、臨床内容を説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	三川 信之	附属病院第二病棟2階多目的室
16	6月12日 (月)	1-2時限	講義	<p>テーマ：母斑・母斑症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母斑・母斑症の種類を列挙できる。 ・母斑・母斑症の遺伝子異常、病態について説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
17	6月12日 (月)	3-4時限	講義	<p>テーマ：悪性腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基底細胞上皮腫（癌）の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。 ・有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。 ・悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。 ・皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。 <p>【1-1）、1-2）、3-1）、3-2）、3-3）、3-4）、3-5）、3-6）、3-7）、5-2）、5-3）】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
18	6月12日 (月)	5-6時限	講義	<p>テーマ：結合織疾患・肉芽腫症・皮膚萎縮症・代謝異常症・早老症</p> <p>テーマ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結合織疾患の臨床と病態を説明できる。 ・肉芽腫症の臨床と病態を説明できる。 ・皮膚萎縮症の臨床と病態を説明できる。 ・代謝異常症の臨床と病態を説明できる。 ・早老症の臨床と病態を説明できる。 <p>【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
19	6月12日 (月)	7-8時限	講義	<p>テーマ：水疱症・膿疱症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。 ・膿疱症の種類と病態を説明できる。 ・水疱症鑑別のための検査法を説明できる。 <p>【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室
20	6月12日 (月)	9-10時限	講義	<p>テーマ：色素異常症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝性色素異常症の病態と分類について説明できる。 ・後天性色素異常症の病態と分類について説明できる。 <p>【1-1)、1-2)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6)、3-7)、5-2)、5-3)】</p>	河野 通浩	附属病院第二病棟2階多目的室

分 類：臨床医学Ⅲ
授業科目名：眼・視覚（ophthalmology）
対象学年：4年次必修
時間割コード：71633022
開設学期等：第7週～第10週（毎週木曜日1-10時限）
単位数：1

1. 主任教員

岩瀬剛（教授、眼科学講座、6164）

2. 担当教員

岩瀬剛（教授、眼科学講座、6164）

西山俊吾（医員、眼科学講座、6167）

阿部早苗（非常勤講師、市立秋田総合病院）

鎌田竜馬（非常勤講師、真生会富山病院）

早川宏一（非常勤講師、秋田厚生連秋田厚生医療センター 診療部長）

安川力（非常勤講師、名古屋市立大学大学院医学研究科視覚学科 准教授）

岩瀬千絵（非常勤講師、名古屋大学眼科学教室）

岩川雅哉（非常勤講師、南秋田眼科医院 院長）

佐藤徳子（非常勤講師、なべしま眼科クリニック 副院長）

兼子裕規（非常勤講師、名古屋大学医学部 病院講師）

内山博之（非常勤講師、医療法人うちやま眼科医院 理事長）

藤原聡之（非常勤講師、いとう眼科 副院長）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

（ねらい）

眼・視覚系の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

- (1) 眼球と付属器の構造と機能の説明。
- (2) 視覚情報の受容のしくみと伝導路の説明。
- (3) 眼球運動のしくみの説明。
- (4) 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能の説明。
- (5) 基本的眼科検査（視覚検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査）
- (6) 屈折異常（近視、遠視、乱視）と調節障害の病態生理の説明。
- (7) 感染性角結膜疾患の症候、診断と治療の説明。
- (8) 白内障の病因、症候、診断と治療の説明。
- (9) 緑内障の病態を列挙し、それらの発症機序、症候と治療の説明。
- (10) 裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療の説明。
- (11) 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化の説明。
- (12) ぶどう膜炎の病因、症候、診断と治療の説明。
- (13) 視神経炎（症）・うっ血乳頭の病因、症候と診断の説明。
- (14) アルカリ、酸による化学損傷の症候と救急処置の説明。
- (15) 網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療の説明。
- (16) 網膜芽細胞腫の症候、診断と治療の説明。

4. 教科書・参考書

現代の眼科学（改訂第 13 版 所敬監修 吉田晃敏/谷原秀信 編）金原出版
標準眼科学（第 12 版 木下茂/中澤満/天野史郎 編）医学書院

5. 成績評価の方法

出席率並びに小テストの結果より評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

列記した講義内容にのっとり参考図書で予習。
講義後、小テストに向けて各自復習を行うこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	5月25日 (木)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：網膜疾患から目を守る 1 講演タイトル：網膜疾患から目を守る！(目のサイエンスと AI 時代の眼科医療)</p> <p>講演内容：冒頭で、眼科学の重要性、特に、視覚における身体障害の主要原因疾患の多くが網膜疾患であることを解説し、次に、網膜の生理機能と加齢黄斑変性などの代表疾患の病態について、各論ではなく視野を広げて概説する。次に、実臨床における問題点（アンメットニーズ）について学生とともに考え、そこからさらなる病態解明と新規治療法開発の必要性について考える。そして、現在の基礎研究から臨床研究のトピックについて紹介する。最後に、最近、人工知能（AI）が第3次ブームとなり、医療業界においても画像認識による自動診断の試みや、電子カルテのビッグデータの解析、音声認識によるコミュニケーションロボットを活用した医療業務のサポートなどで実用化されつつある。今後の医療人は AI が行う単純作業のみでは精度や処理速度で存在価値がなくなるため、ますます人間らしい AI にない Creativity や Hospitality の育成が求められる。医学生にこれらについて考える機会を与え、未来型の医師育成に役立つことを目標に講義を行う。</p>	安川力	病院多目的室
2	5月25日 (木)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：網膜疾患から目を守る 2 講演タイトル：網膜疾患から目を守る！(目のサイエンスと AI 時代の眼科医療)</p> <p>講演内容：冒頭で、眼科学の重要性、特に、視覚における身体障害の主要原因疾患の多くが網膜疾患であることを解説し、次に、網膜の生理機能と加齢黄斑変性などの代表疾患の病態について、各論ではなく視野を広げて概説する。次に、実臨床における問題点（アンメットニーズ）について学生とともに考え、そこからさらなる病態解明と新規治療法開発の必要性について考える。そして、現在の基礎研究から臨床研究のトピックについて紹介する。最後に、最近、人工知能（AI）が第3次ブームとなり、医療業界においても画像認識による自動診断の試みや、電子カルテのビッグデータの解析、音声認識によるコミュニケーションロボットを活用した医療業務のサポートなどで実用化されつつある。今後の医療人は AI が行う単純作業のみでは精度や処理速度で存在価値がなくなるため、ますます人間らしい AI にない Creativity や Hospitality の育成が求められる。医学生にこれらについて考える機会を与え、未来型の医師育成に役立つことを目標に講義を行う。</p>	安川力	病院多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
3	5月25日 (木)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：検査学 1 診断には検査が必要である。内科からオーダーされる採血、採尿、心電図は臨床検査部で検査を行う。糖尿病による眼筋麻痺を発症した場合、採血、採尿、CTもしくはMRIといった画像検査が必要になる。 眼科検査は臨床検査部等に依頼することは非常に少なく、眼科外来内で行われるためあまり目にすることがないが検査数にすると50種類以上の検査がある。 この講義では検査結果からどのように検査が行われ、その結果がどうであるか臨床配属で役に立つよう要点を絞って解説する。</p> <p>Laboratory tests are necessary for diagnosis. Blood samples, urine samples, and EKGs ordered by the internist are performed in the clinical laboratory. In the case of diabetic ophthalmoplegia, blood and urine samples and imaging studies such as CT or MRI are necessary. Ophthalmologic examinations are rarely ordered from clinical laboratories and are performed in the ophthalmology outpatient department, so you may not see them very often, but there are more than 50 different examinations. In this lecture, we will explain how the tests are performed and their results, focusing on the main points that will be useful in clinical assignments.</p> <p>Visual acuity testing (uncorrected and corrected visual acuity) Refraction examination (objective and subjective refraction) Lacrimal fluid examination Intraocular pressure test Fundus examination (photograph and OCT) Visual field test, color vision test, light perception test Visual field examination, color vision examination, light perception examination, pupil examination Pupil examination Eye position examination Eye movement test Stereoscopy</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視力検査（裸眼視力検査・矯正視力検査） ・屈折検査（他覚的屈折検査・自覚的屈折検査） ・涙液検査 ・眼圧検査 ・眼底検査（写真・OCT） ・視野検査、色覚検査、光覚検査 ・調節検査、瞳孔検査 ・眼位検査 ・眼球運動検査 ・両眼視機能検査 	岩瀬千絵	病院多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
4	5月25日 (木)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：検査学2 診断には検査が必要である。内科からオーダーされる採血、採尿、心電図は臨床検査部で検査を行う。糖尿病による筋麻痺を発症した場合、採血、採尿、CTもしくはMRIといった画像検査が必要になる。 眼科検査は臨床検査部等に依頼することは非常に少なく、眼科外来内で行われるためあまり目にすることがないが検査数にすると50種類以上の検査がある。 この講義では検査結果からどのように検査が行われ、その結果がどうであるか臨床配属で役に立つよう要点を絞って解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視力検査（裸眼視力検査・矯正視力検査） ・屈折検査（他覚的屈折検査・自覚的屈折検査） ・涙液検査 ・眼圧検査 ・眼底検査（写真・OCT） ・視野検査、色覚検査、光覚検査 ・調節検査、瞳孔検査 ・眼位検査 ・眼球運動検査 ・両眼視機能検査 	岩瀬千絵	病院多目的室
5	5月25日 (木)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：神経眼科・視神経・視路疾患、外眼筋疾患 眼は中枢神経系、自立神経系、および脳神経機能の表現器である、と言われている。 講義では、眼球自体の診察や検査だけではなく、その結果から直接目にする事の出来ない眼球より後方の眼窩内疾患や頭蓋内疾患について常に意識する大切さや、緊急に対処しなければならない疾患についても紹介する。 「小さな臓器である眼球から何を考えなければいけないのか？」今後に役立つ知識の習得を目的とする。</p>	岩川雅哉	病院多目的室
6	6月1日 (木)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：視機能とその検査 視機能は視力のみならず、様々な眼科検査で評価される。本講義では、各種ある視機能検査の中から視野、色覚、光覚の検査方法とその評価方法について学習する。 また、近年パソコンやスマートフォン、タブレットなどのデジタル機器が私たちの生活に広く浸透したことにより、眼精疲労や“スマホ老眼”などの症状を訴える患者が増加している。眼精疲労の原因や、調節に影響する瞳孔の生理と観察方法、瞳孔に異常をきたす疾患についても講義する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視野 ・色覚 ・光覚 ・眼性疲労 ・瞳孔 	佐藤徳子	病院多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
7	6月1日 (木)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：結膜疾患、角膜・強膜疾患</p> <p>結膜と角膜は眼球表面の重要な構成要素である、細菌やウイルス、抗原などに対する生体防御機能を有する。この防御機能が破綻すれば感染症やアレルギー性疾患の原因となり、多彩な症候、検査所見を呈することになる。本講義では、主に角結膜の感染症、アレルギー性疾患治療を取り上げ、重点的に取り上げて解説する。</p>	鎌田竜馬	病院多目的室
8	6月1日 (木)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：小児眼科・斜視</p> <p>「小児眼科」</p> <p>生直後の視力は光覚程度と言われている。その後、視力は徐々に発達し8歳頃までに完成する。視覚の発達時期に、眼疾患があると視機能は十分に発達しない。そのため、早期に眼疾患を見つけ、早期に治療することが重要である。また、小児は胎生期の問題や遺伝子の異常で、成人にはない特有の眼疾患を来すことがある。</p> <p>本講義では小児の視機能の発達、小児特有の眼疾患、成人との違いなどについてお話をしたい。</p> <p>「複視」</p> <p>ものが二つに見えることを複視という。複視には単眼性と両眼性複視に分けられる。本講義では両眼性複視をさらに、核・核下性、核上性、視神経筋接合部性、筋原性及び機会的眼球運動制限にわけ解説する。更に、アメリカで小児・斜視の専門医として働いた経験を元に、眼科医療についてもふれることができればと思っている。</p>	岩瀬千絵	
9	6月1日 (木)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：休講</p>		病院多目的室
10	6月1日 (木)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：ぶどう膜疾患</p> <p>ぶどう膜の疾患ではぶどう膜炎が重要である。ぶどう膜炎を起こす疾患で重要なサルコイドーシス、Vogt-小柳-原田病、ベーチェット病を中心に、ぶどう膜炎の総論、各ぶどう膜炎の病名の由来、原因や疫学、自覚症状、眼科所見、眼外所見、診断法、治療（局所治療・全身治療）について学ぶ。また秋田大学にゆかりのある急性網膜壊死（桐沢型ぶどう膜炎）についても学ぶ。</p>	早川宏一	病院多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	6月8日 (木)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：網膜硝子体疾患 1</p> <p>日本における失明の半数以上を網膜硝子体疾患が占めており、網膜硝子体疾患の理解は良好な視機能の保持において重要である。</p> <p>代表的な疾患としては、網膜に裂孔を生じる網膜剥離、夜盲を来し難治性である網膜色素変性、糖尿病の合併症である糖尿病網膜症、動脈硬化等が原因で出血をきたす網膜静脈閉塞症、網膜血管が閉塞して発症する網膜動脈閉塞症、ウイルスが原因で発症し急激な視力低下を生じるウイルス性網膜疾患、未熟児に発症し早急に加療を行わないと失明に至る未熟児網膜症などがある。また、網膜の中でも一番視力に大きな影響を及ぼすのは黄斑部であり、この部位が障害されると病変の大きさは小さいが大きく視力が低下する。その黄斑部に円孔を生じる黄斑円孔、黄斑部に薄い膜が張ってしまう黄斑上膜、食事の欧米化に伴い日本でも増加傾向にある加齢黄斑変性、またその類似疾患などがある。それら種々の網膜硝子体疾患の病態について解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網膜剥離 ・網膜色素変性 ・糖尿病網膜症 ・網膜静脈閉塞症 ・網膜動脈閉塞症 ・ウイルス性網膜疾患 ・未熟児網膜症 ・黄斑円孔 ・黄斑前膜 ・加齢黄斑変性およびその類似疾患 <ul style="list-style-type: none"> ・視野 ・色覚 ・光覚 ・眼性疲労 ・瞳孔 	岩瀬剛	病院多目的室
12	6月8日 (木)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：網膜硝子体疾患 2</p> <p>様々な網膜硝子体疾患が存在することを網膜硝子体疾患 1 で解説した。現代では、疾患の病態生理の理解が深まってきている背景により、手術加療も含めて新しい治療法が登場してきている。下記の疾患における加療の変遷や現代の加療法について解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網膜剥離 ・網膜色素変性 ・糖尿病網膜症 ・網膜静脈閉塞症 ・網膜動脈閉塞症 ・ウイルス性網膜疾患 ・未熟児網膜症 ・黄斑円孔 ・黄斑前膜 ・加齢黄斑変性およびその類似疾患 	岩瀬剛	病院多目的室
13	6月8日 (木)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：休講</p>		病院多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
14	6月8日 (木)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：アルカリ、酸による化学損傷の症候と救急処置</p> <p>化学外傷により引き起こされる眼部における組織変化や深達度は、化学薬品の種類や濃度によって異なる。眼化学外傷の重症度や予後、緊急時の対応について学ぶ。</p>	西山俊吾	病院多目的室
15	6月8日 (木)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：網膜治療の cutting edge と future</p> <p>近年の科学技術の進歩に伴い、再生医療・AI・VR等の技術が網膜の治療にもどんどん応用されてきている。</p> <p>1. 網膜疾患の手術治療の cutting edge 最初に現在の網膜硝子体手術の基本的な流れを供覧し、さらに最新の網膜疾患の手術治療のトピックを手術動画を交えながら紹介する。</p> <p>2. 人工視覚 次に重篤な視覚障害者のために開発された人工視覚システムのしくみと将来の可能性について解説し、そこからあらためて感覚器としての眼とその中の網膜の役割について理解を深めたい。</p> <p>3. Heads up Surgery と Robotics 最後に、顕微鏡の鏡筒を覗かずにゴーグルを装着して3Dモニターを見ながら行う硝子体手術、いわゆるHeads up Surgeryを紹介し、現代のVRワールドの根幹をなす立体覚について再考し、この手術の可能性と、Roboticsと組み合わせた眼科VR手術の近未来について語りたい。</p>	藤原聡之	病院多目的室
16	6月15日 (木)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：眼瞼疾患、涙器疾患</p> <p>眼瞼は眼球の上下を覆っているだけでなく、顔面の一部として表情の形成に関与するなど重要な役割を果たす。さらに眼瞼は、内部にはマイボーム腺を含み、涙液に油層を供給する。涙器は、涙腺と涙道からなる。涙腺は涙液の主成分である液相を供給する。涙液は眼瞼の瞬目によって、角結膜表面を潤した後、涙小管から涙嚢、鼻涙管へと排泄される。このように、眼瞼と涙器は互いに関わって、眼表面を保護している。本講義では、眼瞼と涙器の構造と機能、さらに先天・後天疾患に関して、症候、検査所権、治療を解説する。</p>	鎌田竜馬	病院多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
17	6月15日 (木)	3-4時限	講義	<p>テーマ：緑内障 日本における失明原因の第1位は緑内障であり、重要な疾患である。この疾患の有病率は年齢とともに増加するので、高齢化とともに今後ますます患者数は増加し、この疾患の診断治療は社会的にも重要である。緑内障の分類としては下記のようになっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原発緑内障 原発開放隅角緑内障(広義) 正常眼圧緑内障 原発閉塞隅角緑内障 2. 続発緑内障 3. 小児緑内障 <p>緑内障の症状には、眼痛、頭痛、霧視、視野欠損があり、診断に必要な検査として細隙灯顕微鏡で行う検査、眼圧検査、隅角鏡検査、眼底検査、視野検査(動的、静的視野検査)などがあり、その詳細について解説する。</p> <p>緑内障の治療は眼圧下降治療が主なものであり、薬物治療(点眼薬)、レーザー治療、手術治療があり、その詳細についても解説する。</p> <p>緑内障治療薬の分類(点眼薬)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コリン作動薬 2. アドレナリン作動薬 3. β遮断剤 4. プロスタグランジン製剤 5. 炭酸脱水酵素阻害剤 6. α遮断薬 7. $\alpha 2$作動薬 	阿部早苗	病院多目的室
18	6月15日 (木)	5-6時限	講義	<p>テーマ：水晶体疾患 白内障は高齢者の視力低下の原因となる最もポピュラーかつ重大な疾患である。 本講義では、水晶体の解剖・生理をはじめとして、特殊な白内障を含めた多様な水晶体疾患を解説し、診察の仕方や治療方法を学ぶ。</p>	阿部早苗	病院多目的室
19	6月15日 (木)	7-8時限	講義	<p>テーマ：屈折異常と調節異常の病態生理 「屈折異常と調節異常の病態生理」 屈折って何のこと？近視は遠くが見えなくて、遠視は近くが見えないの？視力のこと、白内障のこと、そして研修医が救急外来で注意すべき疾患についてもお話しします。 キーワード：白内障、屈折、視力、救急</p>	兼子裕規	病院多目的室
20	6月15日 (木)	9-10時限	試験	<p>テーマ：眼形成 眼瞼下垂や眼瞼内反症などの治療について解説します。</p>	内山博之	病院多目的室

分類：臨床医学Ⅲ
授業科目名：麻酔（Anesthesia and Intensive Care Medicine）
対象学年：4年次必修
時間割コード：71633024
開設学期等：第11週～第12週
単位数：0.5

1. 主任教員

新山 幸俊（教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

2. 担当教員

新山 幸俊（教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

木村 哲（准教授、医療安全管理部、6173、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

安部 恭子（助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

佐藤 浩司（助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

堀越 雄太（助教、救急・集中治療医学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

厨川 千香（医員、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい：全身麻酔、局所麻酔の基本を学ぶ。麻酔管理に必要な知識、技術は広く医療全般に有用であることを理解し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を獲得する（1-1～1-2, 2-1～2-3, 2-6～2-7, 3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2）。

概要：以下の項目を習得することを目標とする。

1. 麻酔の概念、種類と麻酔・手術に伴う生体反応を説明できる（3-1～3-7, 2-1～2-8）。
2. 吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、合併症を概説できる（3-1～3-2, 4-1～4-4）。
3. 筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる（3-1～3-2, 4-1～4-4）。
4. 気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる（3-1～3-2, 4-1～4-4）。
5. 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる（3-1～3-2, 3-5, 4-1～4-7）。
6. 麻酔管理を安全に行うための呼吸・循環管理を概説できる（3-1～3-2, 4-1～4-4）。
7. 動脈血液ガス分析と酸塩基平衡について概説できる（3-1～3-2, 4-1～4-4）。
8. 周術期の輸液、輸血療法について概説できる（3-1～3-2, 4-1～4-4）。
9. 痛みの特徴とその対処法について概説できる（3-1～3-4, 4-1～4-4, 5-1～5-3）。
10. 妊産婦の特性と麻酔管理について概説できる（3-1～3-4, 4-1～4-4）。
11. 無痛分娩について概説できる（3-1～3-4, 4-1～4-4）。
12. 小児の特性と麻酔管理について概説できる（3-1～3-4, 4-1～4-4）。
13. 患者の意識が消失し、意思疎通ができない環境において医師として必要な倫理、医療行動を学ぶ（1-1～1-2, 2-1～2-8）。
14. 麻酔関連の合併症が生じた場合の対応を医療安全の概念を踏まえて、概説できる（3-4～3-7, 4-5～4-7）。
15. 最近の麻酔および周術期管理に関するエビデンスやガイドラインについて概説できる（3-3, 4-3）。
16. 関連するプロフェッショナリズムを学ぶ（1-1～1-2, 2-1～2-8）。

4. 教科書・参考書

臨床麻酔科学書（中山書店）

標準麻酔科学 第7版（医学書院）

Miller's Anesthesia 9th edition（Elsevier）

5. 成績評価の方法

統一試験、客観試験、レポート、出席など

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 事前に授業内容を教科書で予習し、授業後には理解できなかった点を復習してください。
2. 疑問点はいつでも担当教員に質問してください。
3. 講義資料は後日、当教室の HP に掲載する予定です。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	6月19日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：オリエンテーション～麻酔学総論 学修目標 1. 麻酔とは何かを概説できる。 2. 麻酔にはどのような種類があるかを概説できる。 3. 麻酔・手術に伴う生体反応を概説できる。	新山 幸俊	附属病院 第二病棟2 階多目的室
2	6月19日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：麻酔関連薬剤と麻酔管理1 学修目標 1. 静脈麻酔薬および吸入麻酔薬の特徴、適応、禁忌、合併症を概説できる。 2. オピオイドの特徴、適応、禁忌、合併症を概説できる。	新山 幸俊	附属病院 第二病棟2 階多目的室
3	6月20日 (火)	7-8時限	講義	テーマ：麻酔関連薬剤と麻酔管理2 1. 筋弛緩薬の特徴、適応、禁忌、合併症を概説できる。 2. 麻酔導入について概説できる。	新山 幸俊	附属病院 第二病棟2 階多目的室
4	6月20日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：気道確保と呼吸管理 学修目標 1. 気管挿管を含む気道確保の意義、方法を概説できる。 2. 麻酔管理を安全に行うための呼吸管理を概説できる。	佐藤 浩司	附属病院 第二病棟2 階多目的室
5	6月22日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：モニタリング 学修目標 1. 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。	安部 恭子	附属病院 第二病棟2 階多目的室
6	6月22日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：循環管理 学修目標 1. 麻酔管理を安全に行うための循環管理を概説できる。	安部 恭子	附属病院 第二病棟2 階多目的室
7	6月26日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：動脈血液ガス分析と酸塩基平衡 学修目標 1. 動脈血液ガス分析について概説できる。 2. 酸塩基平衡について概説できる。	木村 哲	附属病院 第二病棟2 階多目的室
8	6月26日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：周術期の輸液、輸血療法 学修目標 1. 周術期の輸液、輸血療法の基本を概説できる。	木村 哲	附属病院 第二病棟2 階多目的室
9	6月27日 (火)	7-8時限	講義	テーマ：ペインクリニック【総論】と神経ブロック 1. 術後急性痛管理について概説できる。 2. 慢性痛の診断・治療について概説できる。 3. 神経ブロックの特徴、適応、禁忌、合併症を概説できる。	木村 哲	附属病院 第二病棟2 階多目的室
10	6月27日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：総括～麻酔科医の矜持～ 学修目標 1. 手術および周術期管理における麻酔科医の役割を概説できる。 2. 地域医療における麻酔科医の役割を概説できる。 3. 医師として必要な倫理、医療行動を概説できる。	新山 幸俊	附属病院 第二病棟2 階多目的室
11	6月29日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：小児の麻酔管理 学修目標 1. 小児の生理学的特徴と麻酔管理を概説できる。	堀越 雄太	附属病院 第二病棟2 階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
12	6月29日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：妊産婦の麻酔管理と無痛分娩 学修目標 1. 妊産婦の生理学的特徴と（帝王切開の）麻酔管理を概説できる。 2. 無痛分娩について概説できる。 3. 無痛分娩における麻酔科医の立ち位置について概説できる。	厨川 千香	附属病院 第二病棟2 階多目的室

分類：臨床医学Ⅲ

授業科目名：薬物治療の基本原則（Knowledge for basic medical care）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633025

開設学期等：第8週～第10週（毎週火曜日1-10時限）

単位数：1

1. 主任教員

三浦 昌朋（教授、薬物動態学講座、6439）

2. 担当教員

三浦 昌朋（教授、薬物動態学講座、6439）

柴田 浩行（教授、臨床腫瘍学講座、6262）

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183）

三島 和夫（教授、精神科学講座、6119）

菅原 正伯（講師、消化器内科学・脳神経内科学講座、6104）

森井 宰（講師、代謝・内分泌内科学講座、6769）

赤嶺由美子（講師、薬剤部、6462）

藤山 信弘（講師、臨床研究支援センター、6259）

能登 舞（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153）

福田 翔（助教、消化器内科学・脳神経内科学講座、6104）

杉本 侑孝（助教、緩和ケアセンター、6223）

白崎 聖子（非常勤講師、薬剤部、6309）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【ねらい】

診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、有害事象、投与時の注意事項）を学ぶ。

また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（薬機法）、EBMについて学ぶ。

【概要】

1) 薬物（オピオイドを含む）の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

2) 主な薬物アレルギーの症候、診察、診断を列挙し、予防策と対処法を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

3) 薬物によるアナフィラキシーショックの症候、診断、対処法を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

4) 各臓器系統（中枢・末梢神経、循環器、呼吸器、消化器、腎泌尿器、血液、内分泌等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

5) 抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

6) 抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

7) 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

8) 主な薬物の有害事象を概説できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

9) 年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

10) 薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

11) 処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。(2-1～2-8, 3-7, 4-6～4-8)

12) 分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

13) 漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

14) ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用（アンチ・ドーピング等）を説明できる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5, 6-1～6-2)

15) 関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（薬機法）、EBMについて説明できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4)

4. 教科書・参考書

基本がわかる漢方医学講義、羊土社、日本漢方医学教育協議会編集

5. 成績評価の方法

統一試験、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

授業時間外の学習内容：到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	5月30日 (火)	1-2時限	講義	テーマ：薬作用・薬物動態 薬物（オピオイドを含む）の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。 年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。	三浦 昌朋	第二病棟2階・多目的室
2	5月30日 (火)	3-4時限	講義	テーマ：服薬アドヒアランスと DDS 製剤 処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。	三浦 昌朋	第二病棟2階・多目的室
3	5月30日 (火)	5-6時限	講義	テーマ：副作用の種類・機序・対策 主な薬物の有害事象を概説できる。 薬物によるアナフィラキシーショックの症候、診断、対処法を説明できる。 ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用を説明できる。 抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	赤嶺由美子	第二病棟2階・多目的室
4	5月30日 (火)	7-8時限	講義	テーマ：消化器疾患と漢方 漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。	白崎 聖子	第二病棟2階・多目的室
5	5月30日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：糖尿病治療薬 各臓器系統（内分泌等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	森井 宰	第二病棟2階・多目的室
6	6月6日 (火)	1-2時限	講義	テーマ：漢方総論・急性期の漢方 漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。	中永士師明	第二病棟2階・多目的室
7	6月6日 (火)	3-4時限	講義	テーマ：向精神薬・精神疾患治療薬 各臓器系統（中枢神経等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	三島 和夫	第二病棟2階・多目的室
8	6月6日 (火)	5-6時限	講義	テーマ：免疫抑制薬 各臓器系統（腎泌尿器等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	藤山 信弘	第二病棟2階・多目的室
9	6月6日 (火)	7-8時限	講義	テーマ：薬剤アレルギーと予防 主な薬物アレルギーの症候、診察、診断を列挙し、予防策と対処法を説明できる。	能登 舞	第二病棟2階・多目的室
10	6月6日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：疼痛薬物治療 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 薬物（オピオイドを含む）の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。	杉本 侑孝	第二病棟2階・多目的室
11	6月13日 (火)	1-2時限	講義	テーマ：薬物相互作用 薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。	三浦 昌朋	第二病棟2階・多目的室
12	6月13日 (火)	3-4時限	講義	テーマ：ファーマコゲノミクス 各臓器系統に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用を説明できる。	三浦 昌朋	第二病棟2階・多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
13	6月13日 (火)	5-6時限	講義	テーマ：神経内科疾患の治療薬 各臓器系統（中枢・末梢神経等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	菅原 正伯	第二病棟2階・多目的室
14	6月13日 (火)	7-8時限	講義	テーマ：抗腫瘍薬 抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。	柴田 浩行	第二病棟2階・多目的室
15	6月13日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：消化器作用薬 各臓器系統（消化器等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	福田 翔	第二病棟2階・多目的室

分類：臨床医学Ⅲ

授業科目名：外科治療と周術期管理（Surgery and Perioperative management）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633026

開設学期等：第11週～第12週

単位数：0.5

1. 主任教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座 ・内6127）

2. 担当教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座 ・内6127）

有田淳一（教授、消化器外科学講座 ・内6215）

角浜孝行（准教授、心臓血管外科学講座 ・内6134）

今井一博（准教授、胸部外科学講座 ・内6132）

佐藤雄亮（病院准教授、胸部外科学講座 ・内6132）

矢野道広（講師、小児科 ・内6273）

奈良美保（講師、輸血部 ・内6116）

中川康彦（講師、消化器外科 ・内6126）

渡邊剛（助教、消化器外科 ・内6125）

桐生健太郎（助教、心臓血管外科 ・内6135）

面川進（非常勤講師、秋田県赤十字血液センター 所長）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 一般目標（GIO）

- ・ 外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。
- ・ 食事と輸液療法の基本を学ぶ。
- ・ 医療機器と人工臓器の基本を学ぶ。
- ・ 輸血と移植の基本を学ぶ。
- ・ 基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。

2. 到達目標（SBOs）

- 1) 手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。
- 2) 主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。
- 3) 創傷治癒機転とそれに影響する因子を説明できる。
- 4) 補液、経静脈栄養と経腸栄養の適応、方法と合併症を説明できる。
- 5) 主な医用機器と人工臓器の種類と原理を概説できる。
- 6) 輸血の適応と合併症、交差適合試験、血液製剤の種類と適応を説明できる。
- 7) 同種輸血、自己輸血、成分輸血と交換輸血を説明できる。
- 8) 臓器移植の種類と適応を説明できる。
- 9) 採血の手順、部位と合併症を説明できる。
- 10) 清潔と不潔の区別を説明できる。

4. 教科書・参考書

標準外科学（医学書院）、講義プリント等の配布

5. 成績評価の方法

出席状況および授業態度、統一試験の成績により評価します。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

「標準外科学」、配布プリントで予習・復習をしてください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	6月19日 (月)	1-2時限	講義	テーマ：肝臓手術 学修目標：肝臓の手術の方法と工夫について学ぶ。 到達目標：肝切除の手順と術後の注意点について説明出来る。	有田淳一	多目的室
2	6月19日 (月)	3-4時限	講義	テーマ：肝臓手術 学修目標：膵臓腫瘍に対する術式と臓器の特性について学ぶ。 到達目標：膵頭十二指腸切除と膵体尾部切除の手順と術後の注意点について説明出来る。	有田淳一	多目的室
3	6月19日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：動脈硬化と外科 (学修・到達目標) 1) 動脈硬化に起因する脈管疾患の診断法・病態生理を理解し、鑑別することができる。 2) 予防医学の重要性和内科的・外科的治療についての理解を深める。	角浜孝行	多目的室
4	6月20日 (火)	1-2時限	講義	テーマ：外科と免疫、外科的基本手技・外科的感染症 (学修・到達目標) 1) 手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。 2) 基本的バイタルサインの意義とモニターの方法を説明できる。 3) 主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。	今井一博	多目的室
5	6月20日 (火)	3-4時限	自主学习	テーマ：		多目的室
6	6月20日 (火)	5-6時限	講義	テーマ：周術期管理 (学修・到達目標) 外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。	渡邊 剛	多目的室
7	6月22日 (木)	1-2時限	講義	テーマ：輸血療法の概要と検査 (学修目標)自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標)血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験を説明できる。	奈良美保	多目的室
8	6月22日 (木)	3-4時限	講義	テーマ：血液製剤の種類と輸血 (学修目標)自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標)血液製剤・血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。	奈良美保	多目的室
9	6月22日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：輸血副作用と対策 (学修目標)自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標)輸血副反応、不適合輸血の防止手順を説明できる。	奈良美保	多目的室
10	6月26日 (月)	1-2時限	講義	テーマ：大動脈疾患	桐生健太郎	多目的室
11	6月26日 (月)	3-4時限	講義	テーマ：人工臓器 学修目標：医用機器と人工臓器の基本を学ぶ。 到達目標：主な医用機器および人工臓器の種類と原理を概説できる。	桐生健太郎	多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
12	6月26日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：腹部術後合併症・周術期管理	中川康彦	多目的室
13	6月27日 (火)	1-2時限	講義	テーマ：呼吸器外科のガイドライン (学修・到達目標) 呼吸器外科の基本的臨床の目的および最新の診療と適応、禁忌、合併症を学び、考え方を理解できるようにする。	今井一博	多目的室
14	6月27日 (火)	3-4時限	講義	テーマ：食道癌手術と合併症、外科と栄養・免疫 (学修・到達目標) 1) 食道癌術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。 2) 補液、経静脈栄養と経腸栄養の適応、方法と合併症を説明できる。	佐藤雄亮	多目的室
15	6月27日 (火)	5-6時限	自主学习	テーマ：		多目的室
16	6月29日 (木)	1-2時限	講義	テーマ：血液に係わる法規、輸血と移植 (学修目標) 自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標) 献血の理念と仕組みを説明できる。 1) 血液事業の概要を学ぶ。 2) 献血の種類を説明できる。 3) 輸血療法関連法規の概要を理解する。	面川 進	多目的室
17	6月29日 (木)	3-4時限	講義	テーマ：輸血の実際と自己血輸血 (学修目標) 自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標) 1) 自己血輸血の種類と適応を説明できる。 2) 各種自己血輸血法の利点、欠点を理解できる。 3) 輸血療法の実際を学ぶ。	面川 進	多目的室
18	6月29日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：小児への輸血 (学修・到達目標) 1) 輸血治療に関する小児の生理的特性を理解する。 2) 小児への輸血実施について、インフォームド・アセントの意義を理解する。	矢野道広	多目的室

令和5年度秋田大学医学部医学科授業計画

分類：臨床医学Ⅲ
授業科目名：救急疾患（Emergency Medicine）
対象学年：4年次必修
時間割コード：71633028
開設学期等：第1週～第6週（毎週火曜日5-10時限）
単位数：0.5

1. 主任教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

2. 担当教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）
奥山学（准教授、救急・集中治療医学講座、6184、オフィスアワー：8：30-17：00）
佐藤佳澄（助教、救急・集中治療医学講座）
白幡毅士（助教、高度救命救急センター）
北村俊晴（特任助教、総合診療医センター）
平澤暢史（特任助教、総合診療医センター）
今明秀（非常勤講師、八戸市立市民病院）
師井淳太（非常勤講師、秋田県立循環器・脳脊髄センター）
佐藤誠（非常勤講師、北秋田市民病院）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

救急・災害医療の病態を理解し、その診断・治療を学ぶ。

- 1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。(1-1,2, 2-1,)
- 2) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。(2-4, 4-5,7)
- 3) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(1-1, 2-1,5, 4-5,7)
- 4) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。(2-7)
- 5) 重症救急疾患の病態生理を説明できる。(3-2)
- 6) 救急現場における医療安全・医療倫理を説明できる。(3-5)
- 7) 病院前救急診療医学を説明できる。(3-5,6,7, 4-7,8)
- 8) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4)
- 9) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(3-3, 4-4, 5-1,2,3,4,)
- 10) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(4-5)
- 11) 医療安全に配慮した基本的な手技が実践できる。(3-5,6, 4-2,6)
- 12) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を実践できる。(3-7, 4-8)
- 13) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解し、実践することができる。(5-1,2,3,4,)
- 14) 絶えず進歩する医学・医療について適切な情報収集能力と解析力を持ち、生涯にわたり自ら学び、自己研鑽を続けることができる。(5-1,2,3,4,5, 6-1,2)

4. 教科書・参考書

1. Up to Date
2. 救急診療指針
3. BLS ヘルスケアプロバイダーマニュアル
4. ACLS プロバイダーマニュアル
5. 外傷初期診療ガイドライン

5. 成績評価の方法

出席状況、受講態度、統一試験などに基づいて総合的に評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 講義日程は変更になる場合があります。
2. 教科書・参考書をもとに予習しておくこと。また、配布資料をもとに繰り返し復習しておくこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月11日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：臨床に即した救急1</p> <p>1) 救急初期対応について説明できる。(1-1,2, 3-1,2,3, 4-1,2,3,4,)</p> <p>2) 救急初期対応時に付随する家族対応の注意点をあげることができる。(2-1,2,3,)</p> <p>3) 適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3, 4-2,3,4,5)</p> <p>4) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4)</p> <p>5) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(2-4,3,6, 4-5,7)</p> <p>6) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。(3-5,6, 4-2,6)</p>	佐藤佳澄	Zoom (予定)
2	4月11日 (火)	9-10時限	講義	<p>テーマ：臨床に即した救急2</p> <p>1) 救急初期対応について説明できる。(1-1,2, 3-1,2,3, 4-1,2,3,4,)</p> <p>2) 救急初期対応時に付随する家族対応の注意点をあげることができる。(2-1,2,3,)</p> <p>3) 適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3, 4-2,3,4,5)</p> <p>4) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4)</p> <p>5) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(2-4,3,6, 4-5,7)</p> <p>6) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。(3-5,6, 4-2,6)</p>	佐藤佳澄	Zoom (予定)
3	4月18日 (火)	5-6時限	講義	<p>テーマ：劇的救命</p> <p>1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。(1-1,2)</p> <p>2) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。(1-1,2, 2-1,2,3,4,5,)</p> <p>3) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。(2-5,6)</p> <p>4) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(2-5)</p> <p>5) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる(2-7)</p>	今 明秀	Zoom (予定)
4	4月18日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：外傷1</p> <p>1) 外傷の病態生理を概説できる。(3-1,2,3,4,)</p> <p>2) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列挙できる。(3-1,2,)</p> <p>3) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4)</p>	奥山 学	Zoom (予定)

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
5	4月18日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：外傷2 1) 災害医療供給体制を概説できる。(3-6,7) 2) 災害医療におけるトリアージを理解できる。(4-1,2,3,4,5,6) 3) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4)	奥山 学	Zoom (予定)
6	4月25日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：内科救急の ABCD 1) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。(2-7) 2) 内科救急疾患の病態生理を説明できる。(3-1,2) 3) 救急現場における医療安全・医療倫理を説明できる。(1-1,2) 4) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患をあげることができる。(3-1,2,3,4, 4-1) 5) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4) 6) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4) 7) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(2-4,3,6, 4-5,7) 8) 医療安全に配慮した基本的な手技が実践できる。(3-5, 4-6)	佐藤 誠	Zoom (予定)
7	5月9日 (火)	5-6時限	講義	テーマ：多職種連携 1) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4) 2) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(2-4,3,6, 4-5,7) 3) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を理解できる。(2-5,6,7, 3-7, 4-8) 4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3)	北村俊晴	Zoom (予定)
8	5月9日 (火)	7-8時限	講義	テーマ：BPS モデル 1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動することを理解する。(1-1,2, 2-1,2,3,4,5,) 2) 総合診療における医療安全・医療倫理を説明できる。(3-5) 3) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4) 4) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。(1-1,2) 5) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。(重複) 6) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。(2-5,6) 7) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(2-5) 8) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。(2-8)	北村俊晴	Zoom (予定)

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
9	5月9日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：急性期脳卒中治療 1) 脳卒中の病態生理を説明できる。(3-1,2,3,4) 2) 脳卒中における医療安全・医療倫理を説明できる。(3-5) 3) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患をあげることができる。(3-1,2,3,4, 4-1) 4) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4) 5) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4)	師井 淳太	Zoom (予定)
10	5月16日 (火)	5-6時限	講義	テーマ：再接着 1) 重度四肢外傷の初期治療について説明できる。(3-1,2,3,4) 2) 切断肢・指の治療について説明できる(3-1,2,3,4)。 3) 切断肢・指の再接着後の機能回復を目指して総合的な治療を計画できる。(3-1,2,3,4, 4-2,3,)	白幡 毅士	Zoom (予定)
11	5月16日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：病院前救護と救急医療体制 1) 病院前救急診療医学を概説できる。(3-5,6,7, 4-7,8) 2) ドクターヘリについて理解できる。(3-5,6,7, 4-7,8) 3) ドクターカーについて理解できる。(3-5,6,7, 4-7,8) 4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4)	平澤 暢史	Zoom (予定)

分類：臨床医学Ⅲ

授業科目名：物理・化学的因子による疾患（Physical or chemical factor induced disease）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633029

開設学期等：第1週～第6週（毎週火曜日5-10時限）

単位数：0.5

1. 主任教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

2. 担当教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

奥山 学（准教授、救急・集中治療医学講座、6184、オフィスアワー：8：30-17：00）

亀山 孔明（特任助教、総合診療医センター）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

物理・化学的因子による疾患と損傷の受傷機転・病態を理解し、その診断と治療を学ぶ。

- 1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。(1-1,2, 2-1,)
- 2) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。(2-4, 4-5,7)
- 3) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(1-1, 2-1,5, 4-5,7)
- 4) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。(2-7)
- 5) 化学的因子による疾患の受傷機転と病態生理を説明できる。(3-2)
- 6) 救急現場や集中治療室における医療安全・医療倫理を説明できる。(3-5)
- 7) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患をあげることができる。(3-1,2,3,4, 4-1)
- 8) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4)
- 9) 人工呼吸管理、急性血液浄化療法、体外式膜型人工肺（ECMO）などの生命維持装置の概要を学ぶ。(3-1,2,3,4,5, 4-2,3,4)
- 10) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(4-5)
- 11) 医療安全に配慮した基本的な手技が実践できる。(3-5,6, 4-2,6)
- 12) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を実践できる。(3-7, 4-8)
- 13) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解し、実践することができる。(5-1,2,3,4,)
- 14) 絶えず進歩する医学・医療について適切な情報収集能力と解析力を持ち、生涯にわたり自ら学び、自己研鑽を続けることができる。(5-1,2,3,4,5, 6-1,2)

4. 教科書・参考書

Up To Date

5. 成績評価の方法

出席状況、受講態度、統一試験などに基づいて総合的に評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 講義日程は変更場合があります。
2. 教科書・参考書をもとに予習しておくこと。また、配布資料をもとに繰り返し復習しておくこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月11日 (火)	5-6時限	講義	<p>テーマ：熱傷</p> <p>1) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(1-1, 2-1,5, 4-5,7)</p> <p>2) 熱傷の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>3) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列挙できる。(3-1,2,3,4, 4-1)</p> <p>4) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4)</p> <p>5) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4)</p> <p>6) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。(3-5, 4-6)</p> <p>7) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を理解できる。(2-5,6,7, 3-7, 4-8)</p>	中永士師明	Zoom (予定)
2	4月25日 (火)	5-6時限	講義	<p>テーマ：薬物中毒、熱中症と低体温症</p> <p>1) 薬物中毒の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>2) 熱中症の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>3) 低体温症の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>4) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列挙できる。(3-1,2,3,4, 4-1)</p> <p>5) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4)</p>	中永士師明	Zoom (予定)
3	4月25日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：災害医療</p> <p>1) 災害医療供給体制を概説できる。(3-6,7)</p> <p>2) 災害医療におけるトリアージを理解できる。(4-1,2,3,4,5,6)</p> <p>3) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を理解できる。(2-5,6,7, 3-7, 4-8)</p> <p>4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4,5)</p>	奥山 学	Zoom (予定)
4	5月16日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：集中治療</p> <p>1) 各種臓器障害患者の病態生理を概説できる。(3-1,2,)</p> <p>2) 人工呼吸管理を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>3) 急性血液浄化療法を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>4) ECMOの適応を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>5) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4,5)</p>	亀山 孔明	Zoom (予定)

分 類：臨床医学Ⅲ

授業科目名：基本的診療技能（Basic Clinical Skill）－主治医チームの一員として診療に参加するための医療面接、身体診察、臨床

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633031

開設学期等：第1週～第12週

単位数：4

1. 主任教員

長谷川 仁志 (教授、医学教育学講座、6097、オフィスアワー：要アポイント)

2. 担当教員

長谷川 仁志 (教授、医学教育学講座、6097、オフィスアワー：要アポイント)
各講座 担当教員 ()

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

6年間の医学教育の集大成である各分野の診療参加型臨床実習を始めるための重要な実践演習期間として位置づけられる。

スチューデントドクターとして医師法上の違法性が阻却される診療参加型臨床実習に参加するために、基本診療に関する知識・技術・態度を演習し、一定のレベルで修得する。レクチャーおよび学生同士のロールプレイ、シミュレーション教育等の演習やデジタル教材の活用により、将来、どの分野の医師にも必要となる主要41症候や主な病態に対する詳細な病歴聴取、身体診察、検査による臨床推論力を向上するとともに、カルテ記載、基本手技等を修得する。さらに、医療行動科学を理解し、患者・家族、医療者と良好な人間関係を築く技術を演習するとともに、プロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療法（制度）を意識してチームの一員として安全に診療参加するための実践力を身につける。

学修目標

1. 医師法上の違法性が阻却される医学生の診療参加型臨床実習について理解し、どのような準備が必要か説明できる。さらに、それに向かっての下記2～7の実践演習を実施できる。

(1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-6、4-1～4-8、5-1～5-3、5-5、6-1～6-29)

【臨床参加型臨床実習の到達目標】

- 1) 正確な医療面接ができる。
- 2) 十分な身体診察・精神的診察ができる。
- 3) 一般的な検査計画、一般的な対応ができる。
- 4) 正確で系統だった臨床推論を行った上に、様々な患者背景を総合的に判断して、その後の方針が提案できる。
- 5) POMRに沿った実際のカルテ記載ができる（主治医のサインが必須）。
- 6) 患者さん、家族とラポールを形成するような人間関係が構築できる。
- 7) EBMの意義を正確に理解して問題解決のために実践できる。
- 8) 治療計画の立案、予防・健康教育ができる。
- 9) チーム医療を理解し実践できる。
- 10) ICTを活用して、日々の臨床に必要な事項の検索や生涯学習の技術を修得し実践できる。

すなわち、検査や処方最終指示は出せない以外は、指導医の責任のもと、ほぼ研修医に近い業務を行うことができる。

- 1) 新入院・新患患者の医療面接、身体診察、臨床推論（clinical reasoning）
- 2) 診療記録記載（指導医のカウンターサイン必要）
- 3) 検査計画立案、検査に参加
- 4) 治療計画立案、治療に参加

- 5) 患者・家族への説明会 同席（指導医の指導・責任監視の下、説明することもある）
- 6) 許容されている手技を指導医の責任のもと行う
- 7) プレゼンテーション、日々の指導医への報告、入院・外来カンファ、科長回診など

2. 問題志向型システムと臨床推論（3-1～3-6、4-1～4-6、5-1～5-3）

- 1) 基本的診療知識に基づき、主要症候や病態を呈する症例に関する情報を十分に収集し、常に一般的なピットフォールに留意しながら分析できる。
- 2) 得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。
- 3) 病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。
- 4) 主な症候・病態・疾患の症例に関して、臨床推論・診断・治療計画を立案できる。

3. 医療面接（1-1～1-2、2-1～2-8、4-1～4-6、5-1～3）

- 1) 適切な身だしなみ、表情、言葉遣いなどを含め、共感的で思いやりのある態度で患者に接することができる。
- 2) 医療行動科学を理解し、医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。
- 3) 病歴（主訴、現病歴（OPQRSTUV）、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー）を聴き取り、情報を整理して臨床推論できる。
- 4) 適切な体位でしっかりと診察できる。
- 5) 診察で得た所見、臨床推論、必要な検査について、様々な患者背景を含めて総合的に判断することの重要性を理解できる。
- 6) 一般的なピットフォールに留意しながら上級医に説明、報告できる。

4. 診療録（カルテ）（4-5、1-1～1-2、3-5、5-3）

- 1) 適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録 **POMR** を作成できる。
- 2) 診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画 **SOAP** で記載できる。
- 3) 症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。
- 4) プライバシー保護とセキュリティに充分配慮できる。

5. 臨床判断（3-1～3-4、4-1～4-6、5-1～5-3）

- 1) 臨床疫学的指標（感度・特異度、尤度比等）を考慮して、必要十分な検査を挙げ、症例における検査結果の臨床的意義を解釈できる。
- 2) 科学的根拠を検索して、それに基づいた診断、検査、治療と、その解釈についての総合的な判断を述べることができる。
- 3) エビデンスを批判的に吟味して、個々の患者に適切に適応できる。
- 4) 常に一般的なピットフォールに留意して判断できる。
- 5) 様々な視点で総合的に判断することの意義を理解できる。

6. 身体診察（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-5、4-1～4-7、5-1～5-3、6-1～6-2）

1) 基本事項

- (1) 患者を尊重し、共感と思いやりをもって対応することにより、信頼を得ることができる。
- (2) 患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。
- (3) 患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。
- (4) 感染を予防するため、診察前後の標準予防策 (standard precautions) ができる。
- (5) 身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。
- (6) 患者の状態から診察が可能かどうかを判断し、状態に応じた診察ができる。

- 2) 全身状態とバイタルサイン：以下が実施でき、主な基本的異常所見を説明できる。

- (1) 身長・体重を測定し、body mass index **BMI** の算出、栄養状態を評価できる。
 - (2) 上腕で触診、聴診法により血圧を測定できる。
 - (3) 経皮的酸素飽和度 (SPO₂) を測定できる
 - (4) 両側の橈骨動脈で脈拍を診察できる。
 - (5) 呼吸数を測定し、呼吸の異常の有無を確認できる。
 - (6) 腋窩で体温を測定できる。
 - (7) 下肢の動脈の触診等、下腿の血圧測定 (触診法)、大腿の血圧測定 (聴診法) を実施できる。
 - (8) 全身の外観 (体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声) を評価できる。
- 3) 頭頸部:以下の診察が実施でき、主な基本的異常所見を説明できる。
- (1) 頭部 (顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋) の診察ができる。
 - (2) 眼 (視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜) の診察ができる。
 - (3) 耳 (耳介、聴力) の診察ができる。
 - (4) 耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。
 - (5) 音叉を用いて聴力試験を実施できる。
 - (6) 口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。
 - (7) 鼻腔、副鼻腔の診察ができる。
 - (8) 鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。
 - (9) 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。
 - (10) 頭頸部リンパ節の診察ができる。
- 4) 胸部:以下の診察が実施でき、主な異常所見を説明できる。
- (1) 胸部の視診、触診、打診ができる。
 - (2) 呼吸音と副雑音の聴診ができる。
 - (3) 心音と心雑音の聴診ができる。
 - (4) 背部の叩打痛を確認できる。
 - (5) 乳房の診察を実施できる (シミュレータでも可とする)。
- 5) 腹部:以下の診察が実施でき、主な基本的異常所見を説明できる。
- (1) 腹部の視診、聴診ができる。
 - (2) 区分に応じて腹部の打診、触診ができる。
 - (3) 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御の有無を判断できる。
 - (4) 腹水の有無を判断できる。
 - (5) 腸雑音、血管雑音の聴診ができる。
 - (6) 直腸 (前立腺を含む) 指診を実施できる (シミュレータでも可とする)。
- 6) 神経:以下の診察が実施でき、主な基本的異常所見を説明できる。
- (1) 意識レベルを判定できる。
 - (2) 脳神経系の診察ができる (眼底検査を含む)。
 - (3) 腱反射の診察ができる。
 - (4) 小脳機能・運動系の診察ができる。
 - (5) 感覚系 (痛覚、温度覚、触覚、深部感覚) の診察ができる。
 - (6) 髄膜刺激所見 (項部硬直、Kernig 徴候) を確認できる。
- 7) 四肢と脊柱:以下の診察が実施でき、主な基本的異常所見を説明できる。
- (1) 四肢と脊柱 (彎曲、疼痛) の診察ができる。
 - (2) 関節 (可動域、腫脹、疼痛、変形) の診察ができる。
 - (3) 筋骨格系の診察 (徒手筋力テスト) ができる。

- 8) 小児の診察:以下の診察が実施でき、主な基本的異常所見を説明できる。
- (1) 主訴からの診断推論を組み立てられる、又はたどることができる。
 - (2) 疾患の病態や疫学を理解する。
 - (3) 治療の立案・実施に可能な範囲で参加できる。
 - (4) 保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加できる。
 - (5) 小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加できる。
 - (6) 基本的な小児科診察ができる。
 - (7) どのように小児科にコンサルテーションすればよいか説明できる。

7. 基本的臨床手技：以下の手技を安全に実施できる。(1-1~1-2, 2-1~2-7, 3-1~3-6, 4-1~4-7, 5-1~5-3)

1) 一般手技

- (1) 皮膚消毒を実施できる。
- (2) 合併症に配慮して、静脈採血をシミュレータで安全に実施できる。
- (3) 手指衛生等の標準予防策 (standard precautions) を実施できる。

2) 検査手技

- (1) 尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。
- (2) 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。
- (3) 微生物学検査（Gram 染色を含む）を実施できる。
- (4) 12 誘導心電図を記録できる。
- (5) 経皮的酸素飽和度（SPO2）を測定できる。
(近年は、上記バイタルの一つととらえられてきている。)

3) 外科手技

- (1) 無菌操作を実施できる。
- (2) 手術や手技のための手洗いができる。
- (3) 手術室におけるガウンテクニックができる。

4) 救命処置

- (1) 緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。
- (2) 一次救命処置を実施できる。
- (3) 一般的なピットフォールに留意できる。

4. 教科書・参考書

診療参加型臨床実習実技テキスト（OSCE・クリクラガイドブック：本学作成：PDF）

秋田大学医学部附属病院 医療安全対策マニュアル PDF

秋田大学医学部附属病院 感染制御マニュアル PDF

5. 成績評価の方法

出席、実習・演習態度

4 年次共用試験機構 OSCE、4 年次統一試験

(本授業・演習内容は、5 年次卒業中間試験、6 年次卒業試験、6 年次 PCC-OSCE にも大きく含まれる。)

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

この基本的診療技能の授業は、安全で充実した各分野診療参加型臨床実習に必須の内容であり、5 年次卒業中間統一試験、

講義内容・具体的到達目標・学修目標					
開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所

令和5年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類：臨床医学Ⅲ

授業科目名：総合診療・臨床検査（Clinical Laboratory Medicine and Medical Diagnosis）－病態診断学と総合診療－

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633030

開設学期等：第1週～第9週（毎週金曜日1-4時限）

単位数：1

1. 主任教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

2. 担当教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

嵯峨知生（病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8：30～17：00）

守時由起（准教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

嵯峨亜希子（助教、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

藤岡優樹（助教、中央検査部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

北村俊晴（特任助教、総合診療医センター、6428、オフィスアワー：8：30～17：00）

平澤暢史（特任助教、総合診療医センター、6428、オフィスアワー：8：30～17：00）

佐々木智子（特任助教、総合診療医センター、6428、オフィスアワー：8：30～17：00）

岡田唯男（非常勤講師、亀田ファミリークリニック館山）

萱場広之（非常勤講師、秋田赤十字病院）

伊藤亘（非常勤講師、流山東部診療所）

玉木真実（非常勤講師、玉木内科クリニック）

面川歩（非常勤講師、協和病院）

特別講師（非常勤講師）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

総合内科的な症状に対する診断アプローチと基本的な臨床検査データを解釈することができる。（3-2～3-4, 4-1～4-4）

1）発熱、体重減少、浮腫、発疹、頭痛、めまい、意識障害などの主要症候の鑑別診断ができる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

2）検査の基準値・カットオフ値、感度・特異度、偽陽性・偽陰性など検査の特性を説明できる。（3-3, 4-2～4-4）

3）検査の正、異常が何を意味するのか説明できる。（3-2～3-3, 4-1～4-2）

4）末梢血液検査の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

5）血液生化学検査の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

6）炎症マーカー（血清・免疫学的検査）の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

7）腫瘍マーカー（血清・免疫学的検査）の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

8）特殊抗体（血清・免疫学的検査）の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

9）血液凝固系検査の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

10）一般検査（尿・便・髄液検査）の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

11）微生物学的検査の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-4, 4-1～4-4）

12）肺機能検査の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

13）動脈血液ガス分析検査の目的・適応および所見を説明し、結果を解釈できる。（3-2～3-3, 4-1～4-4）

4. 教科書・参考書

新臨床内科学、ハリソン内科学書、新・総合診療医学家庭医療学編、新・総合診療医学病院総合診療医学編、異常値の出るメカニズム、病気の成り立ちと臨床検査、標準臨床検査医学、臨床検査法提要

5. 成績評価の方法

統一試験、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

関連分野の復習を行っておくとよい。検査の解釈は実習を含むので主体的に参加してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月14日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：臨床検査医学総論・統計学 臨床検査医学の概要と診断学に必要な統計学の基礎を説明できる。	植木重治	第二病棟 2F・多目的室
2	4月14日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：血液・凝固・線溶系検査と臨床 末梢血液・凝固・線溶系検査検査によって得られる情報の理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	植木重治	第二病棟 2F・多目的室
3	4月21日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：検査診断ケースカンファランス 臨床検査値の変化を統合して理解し、解釈できる。	嵯峨班希子	第二病棟 2F・多目的室
4	4月21日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：特別講義・総合診療 総合診療の実態を理解し説明できる。	特別講師	第二病棟 2F・多目的室
5	4月28日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：生化学検査と臨床 生化学検査によって得られる情報の理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	植木重治	第二病棟 2F・多目的室
6	4月28日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：一般検査と臨床 一般検査によって得られる情報の理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	植木重治	第二病棟 2F・多目的室
7	5月12日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：免疫の基礎と臨床応用 臨床免疫の理解と、検査を中心とした臨床的な意義を説明できる。	守時由起	第二病棟 2F・多目的室
8	5月12日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：検体採取の実際・検査値解釈におけるピットフォール 検体採取の実際・検査値解釈におけるピットフォールを説明できる。	植木重治	第二病棟 2F・多目的室
9	5月19日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：炎症の評価・蛋白分画検査と臨床 炎症の評価法・蛋白分画検査によって得られる情報の理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	植木重治	第二病棟 2F・多目的室
10	5月19日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：統計利用と尤度比 統計利用と尤度比の理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	面川歩	第二病棟 2F・多目的室
11	5月26日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：特殊抗体検査・蛋白分画 自己抗体検査・蛋白分画検査によって得られる情報の理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	面川歩	第二病棟 2F・多目的室
12	5月26日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：渡航医学とワクチン活用 渡航医学とワクチンの理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	嵯峨知生	第二病棟 2F・多目的室
13	6月2日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：総合診療総論 総合診療の実態を理解し説明できる。	植木重治	第二病棟 2F・多目的室
14	6月2日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：検査診断ケースカンファランス 臨床検査値の変化を統合して理解し、解釈できる。	萱場広之	第二病棟 2F・多目的室
15	6月9日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：腫瘍マーカーと臨床 腫瘍マーカー検査によって得られる情報の理解と解釈、臨床的な意義を説明できる。	守時由起	第二病棟 2F・多目的室
16	6月9日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：特別講義・総合診療 総合診療の実態を理解し説明できる。	岡田唯男	第二病棟2 F・多目的室

分類：臨床医学Ⅲ
授業科目名：精神（Psychiatry）
対象学年：4年次必修
時間割コード：71633011
開設学期等：第1週～第6週
単位数：2

1. 主任教員

三島 和夫（教授、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

2. 担当教員

三島 和夫（教授、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

竹島 正浩（講師、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

伊藤 結生（助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

吉沢 和久（助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

馬越 秋瀬（助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

石川 勇仁（医員、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

平野 梨聖（医員、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

藤原 大（医員、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

渡邊 真由美（、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

伏見 雅人（非常勤講師、秋田大学保健管理センター 教授）

綾部 直子（非常勤講師、秋田大学教育文化学部地域文化学科 講師）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. ねらい

精神障害は児童思春期から老年期に至る全てのライフステージにおいて発症しうる、心理-社会-生物学的疾患である。脳の機能障害や遺伝子異常などの生物学的要因だけではなく、心理的要因や社会的要因が相互に作用して発症する。精神障害の治療においても薬物療法やニューロモデュレーションなどの生物学的介入のほか、精神療法や精神分析などの心理的介入や、作業療法や認知リハビリテーションなどの社会療法が有効である。そのため、精神障害の患者の診療を行う際には生物・心理・社会的要因について多面的に評価を行い、適切な治療介入を行うことが重要である。

本講義では様々な精神障害の病態生理、疫学、診断、治療（薬物療法、心理療法、修正電気けいれん療法など）、予防、医療行動科学、EBMを学習する。加えて、総合的に患者をみる姿勢、つまり精神障害そのものだけでなく患者の抱える問題を包括的、全人的に捉えた上で、個々の患者の心理社会的背景やニーズに応じて柔軟に診療を行う姿勢の重要性についても学ぶ。本講義ではコミュニケーション能力についても学習する。なぜなら全人的医療を行う上で、コミュニケーション能力は重要であり、良好な医師-患者間の治療関係を確立するだけではなく、多職種連携において医師がチーム医療の一員として他の職種と協調し、良好な関係を構築するために必要なスキルだからである。精神障害患者は理解力や判断力が低下していることがあるため、日本では患者の人権や健康を守るために様々な法律や医療制度、福祉制度が定められている。この講義ではこれらについての知識を習得する。その他、リサーチマインドや問題解決能力、自己研鑽・生涯学習のため、オンラインでの文献検索など ICT 教育も行う。(1-1、2-1～2-3、2-5～2-7、3-1～3-4、3-7、4-1～4-4、4-7～4-8、5-1～5-3、6-1)

2. 概要（学修目標）

以下の精神疾患の概念と診断、治療に関する基本的知識を習得する。

(1) 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。(1-2、2-1～2-3)

(2) 診察・検査を通じて精神障害の診断・治療の流れを理解できる。(4-1～4-4)

(3) 精神障害の診断基準である DSM-5 や ICD-10、睡眠障害国際分類について説明できる。(3-3)

(4) 精神保健福祉法に基づく入院形態の区分と適応について理解できる。(3-7)

- (5) 以下の精神疾患の主要症状、診断、治療について理解できる。(3-2～3-3)
- a. 統合失調症 b. うつ病 c. 双極性障害 (躁うつ病)
 - d. 症状精神病 e. 認知症 f. 物質使用障害
 - g. 不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群
 - h. 身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群
 - i. 睡眠-覚醒障害 j. 解離性障害 k. パーソナリティ障害
 - l. 知的能力障害
 - m. 自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動障害、運動障害群
- (6) 精神療法 (心理社会的治療法) と薬物療法を主とした身体療法について、適応、方法、問題点について理解できる。(3-3、4-3)
- (7) 睡眠脳波や睡眠潜時反復検査などを含む脳波検査について理解できる。(3-2～3-3)
- (8) 精神科医療の法と倫理に関する必須項目 (精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント、共同意思決定) について習得する。(1-2、2-1、2-3、2-7、3-7)
- (9) コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。(2-4～2-7、4-7)
- (10) 精神科医にならない場合にも必要な精神科領域の診療能力について習得し、必要に応じて精神科へコンサルテーションする技法について理解する。(3-3、4-1～4-3、4-7)
- (11) 本領域に関連するプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、医療法 (制度)、EBM について説明・実践できる。(1-1～1-2、3-5、3-7、4-4)

4. 教科書・参考書

- ・標準精神医学 (尾崎紀夫 他編 医学書院)
- ・カプラン臨床精神医学テキスト (井上令一 監修 メディカル・サイエンス・インターナショナル社)
- ・DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル (高橋三郎、尾崎紀夫 他訳 医学書院)
- ・ICD-10 精神及び行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン (融 道男 他訳 医学書院)
- ・ICD-11 「精神, 行動, 神経発達の疾患」分類と病名の解説シリーズ (日本精神神経学会)
https://www.jspn.or.jp/modules/advocacy/index.php?content_id=90
- ・Tasman's Psychiatry, Allan Tasman, Michelle B. Riba, et al. eds, Springer International Publishing, 2023.

5. 成績評価の方法

統一試験により、成績を評価する。ただし、統一試験を受験するには、精神医学の講義を 2/3 以上出席していることを前提とする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・指定教科書は事前に指示するので、講義初日までに用意し、予習して受講すること。
- ・指定教科書に授業の重要ポイントを記載するなどして学修すると、講義後の復習に役立つ。
- ・配布された資料を繰り返し復習すること。
- ・担当教員の予定などにより、講義内容、講義時間を若干変更する場合がある。
- ・疑問点はいつでも担当教員に質問することができる。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月10日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：精神疾患の概念、精神医療の潮流 精神疾患の概念、精神医療の歴史、今後の課題について理解し、説明できる。精神疾患患者が虐げられてきた歴史やその背景にある偏見、社会状況を学ぶ。脳科学の発展とともに精神現象や精神疾患に関する理解、診断学、治療学がどのように変遷したか理解する。国の医療計画で5疾病の一つに位置づけられる現代の精神医療の状況、自殺や長期入院、入院医療から在宅医療への転換などの課題について理解する。(1-1～1-2、3-5、3-7)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
2	4月10日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：精神症候学1 患者に生じている異常体験を心理学的所見として取り出し、診断のために再構成する精神症候学について理解し、説明できる。精神症状の基本スペクトラムである、自我意識、人格・性格、知覚、思考、感情、意思・欲動、記憶、知能について理解し、精神疾患の症候を正しく記載できる。各精神症候を呈しうる代表的な精神疾患を説明できる。(3-2～3-3、4-6)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
3	4月10日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：精神症候学2 患者に生じている異常体験を心理学的所見として取り出し、診断のために再構成する精神症候学について理解し、説明できる。精神症状の基本スペクトラムである、自我意識、人格・性格、知覚、思考、感情、意思・欲動、記憶、知能について理解し、精神疾患の症候を正しく記載できる。各精神症候を呈しうる代表的な精神疾患を説明できる。(3-2～3-3、4-6)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
4	4月13日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：精神症候学3 患者に生じている異常体験を心理学的所見として取り出し、診断のために再構成する精神症候学について理解し、説明できる。精神症状の基本スペクトラムである、自我意識、人格・性格、知覚、思考、感情、意思・欲動、記憶、知能について理解し、精神疾患の症候を正しく記載できる。各精神症候を呈しうる代表的な精神疾患を説明できる。(3-2～3-3、4-6)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
5	4月13日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：公衆衛生・精神保健、地域精神医療 公衆衛生における予防の概念（一次予防、二次予防、三次予防）や日本の健康施策、精神疾患の疫学、精神保健、地域での精神医療および公衆衛生上の課題について理解し、説明できる。(3-4、3-7)	伏見 雅人	第二病棟2階多目的室
6	4月13日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：精神保健福祉法・司法精神医学（心神喪失者等医療観察法の適用場面） 精神保健福祉法の目的、定められた経緯や歴史的背景、精神保健福祉法で定められた入院形態（任意入院、医療保護入院、応急入院、措置入院、緊急措置入院）や行動制限（隔離、身体的拘束）、人権を守る枠組み（精神医療審査会）を説明できる。(1-1、3-5、3-7、4-3) 心神喪失者等医療観察法の目的や仕組み、対象となる重大な他害行為を説明できる。(3-5、3-7、4-3) 成年後見法の目的、3類型（後見、保佐、補助）を説明できる。(3-5、3-7、4-3) 同意能力の判断基準やインフォームド・コンセント、共同意思決定について説明できる。(1-1～1-2、2-1～2-2、2-4、2-7、3-5)	竹島 正浩	第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
7	4月17日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：精神科診断学 外因・内因・心因論的診断体系から現在主流となった操作型診断基準への精神科診断分類法の変遷を学び、その利点と欠点を説明できる。代表的な操作型診断基準である精神障害の診断・統計マニュアル第5版(DSM-5)および国際疾病分類の第11回改訂版(ICD-11)における精神疾患の分類構造を理解し、診断手法を説明できる。(3-3～3-4、4-1、4-6)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
8	4月17日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：精神科薬物療法・身体療法 主要な向精神薬(抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬、抗不安薬・睡眠薬、ADHD治療薬、抗認知症薬、抗てんかん薬など)の適応疾患と薬理学的特性(作用機序、効果、副作用など)を理解し、精神科薬物療法の基本を説明できる。修正型電気けいれん療法、高照度光療法、経頭蓋磁気刺激療法の適応疾患と作用機序、効果、副作用について理解する。(3-1～3-3、4-6)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
9	4月17日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：認知行動療法／精神分析学／精神療法 精神療法、心理療法(精神分析療法、来談者中心療法、認知行動療法)の分類、基本理論と適用疾患、有効性について説明できる。(3-3、3-6)特に認知行動療法については、認知行動論的ストレスマネジメント、不眠症に対する認知行動療法(CBT-I)、第三世代の認知行動療法のそれぞれについて、理論と構成、実施上の留意点を概説することができる。(2-1～2-3)	綾部 直子	第二病棟2階多目的室
10	4月20日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：統合失調症1 統合失調症および関連障害群について、症候(陰性症状、陽性症状)、病型、診断、疫学的事項、遺伝要因、病態仮説、治療(薬物療法、電気けいれん療法、精神療法、リハビリテーション等のその他の治療)を説明できる。ケーススタディを通じて、統合失調症の診断と治療の経過について理解する。(3-1～3-4、4-1～4-4)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
11	4月20日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：統合失調症2 統合失調症および関連障害群について、症候(陰性症状、陽性症状)、病型、診断、疫学的事項、遺伝要因、病態仮説、治療(薬物療法、電気けいれん療法、精神療法、リハビリテーション等のその他の治療)を説明できる。ケーススタディを通じて、統合失調症の診断と治療の経過について理解する。(3-1～3-4、4-1～4-4)	三島 和夫	第二病棟2階多目的室
12	4月20日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：うつ病 大うつ病および関連障害群について、症候、診断、疫学的事項、治療(精神療法、薬物療法、電気けいれん療法等のその他の治療)を説明できる。(2-1、2-3～2-4、3-1～3-4、4-1～4-4)精神疾患に関連する自殺について、リスク因子の評価、対応上の注意点を説明できる。(2-1、2-3～2-4、3-5～3-6)	吉沢 和久	第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
13	4月24日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：不安症（パニック症・社交不安症、過換気症候群など） 不安症/不安症群（パニック症、社交不安症、全般不安症など）、過換気症候群について、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法）、医療行動科学を説明できる。（2-1、2-3～2-4、3-1～3-4、3-6、4-1～4-4）	竹島 正浩	第二病棟2階多目的室
14	4月24日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：身体症状症、病氣不安症（心身症を含む） 身体症状症および関連症群（身体症状症、病氣不安症）、心身症について、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法）、医療行動科学を説明できる。（2-1、2-3～2-4、3-1～3-4、3-6、4-1～4-4）	竹島 正浩	第二病棟2階多目的室
15	4月24日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：双極性障害・気分変調症（産褥期うつ病、月経前不快気分障害を含む） 双極性障害（躁うつ病）、気分変調症および関連障害群（産褥期うつ病、月経前不快気分障害）について、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法）を説明できる。（2-1、2-3～2-4、3-1～3-4、4-1～4-4）	吉沢 和久	第二病棟2階多目的室
16	4月27日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：神経発達症1 児童思春期の精神発達と診察上の留意点について概説できる。（2-1～2-3）児童思春期の心理的発達の障害（アスペルガー症候群・レット症候群を含む広汎性発達障害、学習障害）と行動および情緒の障害（注意欠如・多動障害、素行障害、愛着障害、分離不安障害、社交不安障害、選択性緘黙、チック障害）について、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法）を説明できる。（3-1～3-4、4-1～4-4）児童思春期の診察における多職種、地域との連携について概説できる。（2-6、4-8）	馬越 秋瀬	第二病棟2階多目的室
17	4月27日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：神経発達症2 児童思春期の精神発達と診察上の留意点について概説できる。（2-1～2-3）児童思春期の心理的発達の障害（アスペルガー症候群・レット症候群を含む広汎性発達障害、学習障害）と行動および情緒の障害（注意欠如・多動障害、素行障害、愛着障害、分離不安障害、社交不安障害、選択性緘黙、チック障害）について、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法）を説明できる。（3-1～3-4、4-1～4-4）児童思春期の診察における多職種、地域との連携について概説できる。（2-6、4-8）	馬越 秋瀬	第二病棟2階多目的室
18	4月27日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：心的外傷およびストレス因関連障害（PTSD・適応障害） 心的外傷およびストレス因関連障害（PTSD・適応障害）について、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法）、医療行動科学を説明できる。（2-1、2-3～2-4、3-1～3-4、3-6、4-1～4-4）	藤原 大	第二病棟2階多目的室
19	5月1日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：摂食障害 摂食障害の症候、各病型（摂食制限型、過食・排出型）の特徴、器質的疾患の除外を含めた診断、疫学的事項、治療（栄養療法、精神療法、薬物療法）を説明できる。（3-1～3-4、4-1～4-4）またその心理的背景と診察上の留意点を概説できる。（2-1～2-3）	馬越 秋瀬	第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
20	5月1日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：症状性精神障害（化学物質中毒を含む） 主要な症状性精神障害の症候、身体所見、鑑別診断と治療法を説明できる（3-1～3-3）。症状性精神障害の病因となりうる、感染症や内分泌疾患、代謝性障害、膠原病、化学物質中毒、医原性精神障害について、臨床特徴や診断方法、治療法について説明できる。（4-2～4-4）	平野 梨聖	第二病棟 2階多目的室
21	5月1日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：リエゾン精神医学・せん妄 コンサルテーション・リエゾン精神医学を理解し、せん妄や抑うつ反応などリエゾン精神医学の対象になる精神疾患について、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法など）を説明できる。（3-1～3-4、4-1～4-4）リエゾン精神医学の診療においてチーム医療の重要性を理解し、他職種、地域との連携について概説できる。（2-6、4-7～4-8）	伊藤 結生	第二病棟 2階多目的室
22	5月8日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：認知症／器質性精神障害 1 認知症／器質性精神障害の疾患概念、特徴について説明できる。（3-1～3-3）主な認知症疾患（アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症）について、症状（中核症状・周辺症状）、疫学、病理学的特徴、検査所見（HDS-R・MMSEなどの心理検査、頭部CT・MRI・SPECTなどの画像検査）、治療（薬物療法、非薬物療法）について説明できる。（3-1～3-4）認知症を取り巻く社会の現状、我が国の認知症施策、他職種連携による地域での支援の枠組みについて説明できる。（1-2、2-2、2-6、3-7）	石川 勇仁	第二病棟 2階多目的室
23	5月8日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：認知症／器質性精神障害 2 認知症／器質性精神障害の疾患概念、特徴について説明できる。（3-1～3-3）主な認知症疾患（アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症）について、症状（中核症状・周辺症状）、疫学、病理学的特徴、検査所見（HDS-R・MMSEなどの心理検査、頭部CT・MRI・SPECTなどの画像検査）、治療（薬物療法、非薬物療法）について説明できる。（3-1～3-4）認知症を取り巻く社会の現状、我が国の認知症施策、他職種連携による地域での支援の枠組みについて説明できる。（1-2、2-2、2-6、3-7）	石川 勇仁	第二病棟 2階多目的室
24	5月8日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：物質関連障害および嗜癖性障害、非物質関連障害（アルコール使用障害、ギャンブル障害など） アルコール使用障害などの物質関連障害および嗜癖性障害、ギャンブル障害などの非物質関連障害について、症候、診断、疫学、治療（精神療法、薬物療法）、医療行動科学を説明できる。（2-1、2-3～2-4、3-1～3-4、3-6、4-1～4-4）	藤原 大	第二病棟 2階多目的室
25	5月11日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：睡眠-覚醒障害 日本における睡眠習慣の問題（睡眠不足、夜型生活、交代勤務および社会に与える影響）を理解する。各種の睡眠-覚醒障害（不眠症、睡眠関連呼吸障害、過眠症、レム睡眠行動障害など）について症候、診断、疫学的事項、治療（薬物療法および非薬物療法など）を説明できる。主な睡眠薬、覚醒刺激薬の作用機序、依存性、適正使用について説明できる。（3-1～3-4、3-7、4-1～4-4）	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
26	5月11日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：精神機能評価法・心理検査法 知能検査（Wechsler 式）、人格検査における質問紙法（Minnesota 多面人格目録）および投射法（ロールシャッハ・テスト）、神経心理検査（記憶検査、前頭葉機能検査）等の心理検査法を説明できる。神経発達症のアセスメントに用いられる心理検査法を理解する。（3-3、4-2～4-3、4-7）	渡邊 真由美	第二病棟2階多目的室
27	5月11日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：精神科面接・構造化面接法／家族・生活歴・社会機能評価の重要性 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を理解する。（2-1～2-2、2-7、4-1～4-2）また言語表現のみならず非言語表現を用いて、困難な状況下における患者・家族とのコミュニケーションを大切にしている患者-医師との良好な信頼関係の構築について説明できる。（2-3、2-7、4-1～4-2）家族歴、生活歴、社会機能の評価の重要性について説明できる。（4-1、4-8）他職種とのコミュニケーションも大切にし、精神科臨床がチーム医療であること、それに伴うチームの組織化とリーダーシップの遂行が重要であることを概説できる。（2-6、4-7～4-8）	伊藤 結生	第二病棟2階多目的室
28	5月15日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：てんかん1 てんかんおよび関連障害群について、疫学、症候、発作型（全般発作、単純部分発作、複雑部分発作、二次性全般化発作）を説明できる。（3-1～3-4、4-1）	竹島 正浩	第二病棟2階多目的室
29	5月15日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：てんかん2 てんかんおよび関連障害群の診断法、治療（薬物療法、外科手術、迷走神経刺激療法）、てんかん重責発作時の緊急処置、てんかんと道路交通法について説明できる。（2-4、3-3～3-4、3-7、4-1～4-4）	竹島 正浩	第二病棟2階多目的室
30	5月15日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：精神腫瘍学・緩和ケア 精神腫瘍学（サイコオンコロジー）と緩和ケアについて、症候、診断、疫学的事項、治療（精神療法、薬物療法など）を説明できる。（3-1～3-4、4-1～4-4）がん患者・家族と良好な信頼関係を構築し、患者・家族の適切な心のケアについて説明できる。（2-1～2-3、2-7、3-3～3-4、4-1～4-4）。緩和ケアの診療においてチーム医療の重要性を理解し、他職種、地域との連携について概説できる。（2-6、4-7～4-8）	伊藤 結生	第二病棟2階多目的室
31	5月18日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：強迫症／解離症 強迫症および関連症群と解離症群（解離性同一症、解離性健忘、離人感・現実感消失症など）について、症候、診断、疫学、治療（精神療法、薬物療法）、医療行動科学を説明できる。（2-1、2-3～2-4、3-1～3-4、3-6、4-1～4-4）	竹島 正浩	第二病棟2階多目的室
32	5月18日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：人格障害／性行動異常、性別違和 性格・人格の基本類型を説明できる。人格障害について、症候、類型化（古典的分類、クラスター分類）、診断、疫学、治療（精神療法、薬物療法）を理解する。性別違和について、症候、診断、疫学、治療（精神療法、薬物療法、性別適合手術）を理解する。性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律について理解する。（3-1～3-4、3-7、4-1～4-4）	三島 和夫	第二病棟2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
33	5月18日 (木)	9-10 時限	形成評価	<p>テーマ：秩序破壊的・衝動制御・素行症群／総括・講評（形成評価）</p> <p>素行症、間欠性爆発性障害および反抗挑発症の症候、その他の精神疾患（パーソナリティ障害、ADHD、うつ病、双極性障害、物質使用障害など）との合併、診断、疫学、治療（精神療法、薬物療法）を理解する。講義の後半では、精神科の講義全般に関する振り返りと講評を行う。(3-1～3-4、4-1～4-4)</p>	三島 和夫	第二病棟2階多目的室

分 類：医療・社会・行動科学 IV
授業科目名：診療情報 (Medical Informatics)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71583009
開設学期等：第1週～第3週 (毎週火曜日 1-4 時限)
単 位 数：0.5

1. 主任教員

片平 昌幸 (准教授、医療情報学講座 (基礎棟 1F)、6095、オフィスアワー：17:00-18:00)

2. 担当教員

片平 昌幸 (准教授、医療情報学講座 (基礎棟 1F)、6095、オフィスアワー：17:00-18:00)

大佐賀 敦 (准教授、医療情報学講座 (附属病院第1病棟 B1F)、6422)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

情報科学の基礎、情報管理とプライバシー保護に関する必要な知識を学ぶとともに、診療記録の作成・利活用、医療記録の電子化についての理解を深め、社会制度を踏まえた医師としての素養を高める。また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法制度、E BMについて学ぶ。

- 1) 情報科学の基本的事項とセキュリティに関する技術的事項を説明できる。(1-1)
- 2) 社会における情報インシデントを事例を通じて理解し、自らが注意すべき事項を説明できる。(1-1～1-2, 3-5, 3-7)
- 3) 診療録について、法的背景を含め医師が理解しておくべき事項を説明できる。(1-1～1-2, 3-5, 3-7)
- 4) 医療現場における記録の重要性、および診療録改竄の違法性を説明できる。(1-1～1-2, 2-4, 2-6～2-7, 3-5, 3-7, 4-5, 4-7～4-8)
- 5) 診療録の記載内容、管理・保存、診療情報開示を説明できる。(1-1～1-2, 2-5, 3-5, 3-7, 4-5)
- 6) 問題志向型医療記録を説明でき、実際に作成できる。(1-1～1-2, 2-5, 3-3, 3-5, 4-5)
- 7) SOAP形式による経過記録を説明でき、実際に記載できる。(1-1～1-2, 3-5, 4-5)
- 8) 診療に関する諸記録 (処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約、等) を説明できる。(1-1～1-2, 2-6～2-7, 3-5, 3-7, 4-5)
- 9) 必要に応じて医療文書を作成できる。(1-1～1-2, 4-5)
- 10) 診療情報の電子化に関する社会背景や現状、諸制度について説明できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4, 4-7～4-8, 5-3)
- 11) 電子化された診療情報の作成ができ、法的要件も含めた管理を説明できる。(1-1～1-2, 3-7, 4-5, 4-8)
- 12) 情報システムを利用する際に留意すべき事項を理解し、情報の授受を適切に行うことができる。(1-1～1-2, 2-5～2-7, 3-5, 3-7, 4-5, 4-7～4-8, 5-3)
- 13) 医療における個人情報保護の重要性や留意点を説明でき、プライバシー保護とセキュリティに十分配慮できる。(1-1～1-2, 2-4, 3-5, 3-7)
- 14) 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。(1-1～1-2, 2-4, 3-5, 3-7)
- 15) 電子化された診療情報の管理に必要な事項を説明できる。(1-1～1-2, 3-5, 3-7, 4-4～4-5, 4-8, 5-3)
- 16) 症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。(1-1～1-2, 2-4, 2-6～2-7, 4-5, 4-7)
- 17) 医療情報に関連する標準化の必要性や、規格・規約を説明できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-7, 4-8, 5-3, 5-5)
- 18) 本領域が関連する、医療倫理、医療安全、法的制度について説明できる。(1-1～1-2, 2-4～2-5, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4, 4-8)

4. 教科書・参考書

医療情報第7版 医療情報システム編 篠原出版新社

5. 成績評価の方法

統一試験、形成試験、レポートにより、総合的に評価します。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

本授業では、講義資料の提示やレポート提出・形成評価に Webclass を利用します。WebClass にアップロードする資料を用いて、授業時間外の準備学習および復習を行ってください。授業期間終了後も Webclass を一定期間開放して、インターネットを利用した復習もできるようにする予定です。

また、本道 PC 実習室利用の都合上、本授業の3週目のみ水曜日になりますので、注意してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月11日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：情報セキュリティ</p> <p>講義内容 情報システムを利用する医師として知っておくべき情報科学の基本的事項，およびセキュリティについて総括的に解説し，医学生および医療者として注意すべき点について詳説する。</p> <p>具体的到達目標・学修目標 1) 情報科学の基本的事項とセキュリティに関する技術的事項を説明できる。(1-1) 2) 社会における情報インシデントを事例を通じて理解し，自らが注意すべき事項を説明できる。(1-1～1-2, 3-5, 3-7)</p>	片平 昌幸	第二病棟 2階多目的室
2	4月11日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：診療記録と法的背景</p> <p>講義内容 医療機関で取り扱う診療録等の各種記録について，関連法規をはじめとする法的背景および医療者として注意すべき点について解説する。それを踏まえ，診療録に関する基礎知識，問題指向型医療記録，SOAP形式による診療録の記載について詳説する。</p> <p>具体的到達目標・学修目標 1) 診療録について，法的背景を含め医師が理解しておくべき事項を説明できる。(1-1～1-2, 3-5, 3-7) 2) 医療現場における記録の重要性，および診療録改竄の違法性を説明できる。(1-1～1-2, 2-4, 2-6～2-7, 3-5, 3-7, 4-5, 4-7～4-8) 3) 診療録の記載内容，管理・保存，診療情報開示を説明できる。(1-1～1-2, 2-5, 3-5, 3-7, 4-5) 4) 問題志向型医療記録(POMR)を説明でき，実際に作成できる。(1-1～1-2, 2-5, 3-3, 3-5, 4-5) 5) SOAP形式による経過記録を説明でき，実際に記載できる。(1-1～1-2, 3-5, 4-5) 6) 診療に関する諸記録(処方箋，入院診療計画書，検査・画像・手術の記録，退院時要約，等)を説明できる。(1-1～1-2, 2-6～2-7, 3-5, 3-7, 4-5) 7) 必要に応じて医療文書を作成できる。(1-1～1-2, 4-5)</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室
3	4月18日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：診療記録の電子化</p> <p>講義内容 診療情報の電子化に関する社会背景や現状・諸制度について解説し，電子カルテに代表される病院情報システムの診療場面における利活用について詳説する。</p> <p>具体的到達目標・学修目標 1) 診療情報の電子化に関する社会背景や現状，諸制度について説明できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4, 4-7～4-8, 5-3) 2) 電子化された診療情報の作成ができ，法的要件も含めた管理を説明できる。(1-1～1-2, 3-7, 4-5, 4-8)</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
4	4月18日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：情報システムの適切な利用，医療と個人情報保護</p> <p>講義内容 情報システムの利用に際して留意すべき点について，社会の動向も踏まえて詳説する。また，医療における個人情報の保護と患者プライバシー保護について，法や公的ガイドラインを踏まえつつ，診療現場での留意点を説明する。</p> <p>具体的到達目標・学修目標 1) 情報システムを利用する際に留意すべき事項を理解し，情報の授受を適切に行うことができる。(1-1～1-2, 2-5～2-7, 3-5, 3-7, 4-5, 4-7～4-8, 5-3) 2) 医療における個人情報保護の重要性や留意点を説明でき，プライバシー保護とセキュリティに十分配慮できる。(1-1～1-2, 2-4, 3-5, 3-7) 3) 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し，適切な取扱いができる。(1-1～1-2, 2-4, 3-5, 3-7)</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室
5	4月26日 (水)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：電子化された診療情報の活用・管理と標準化</p> <p>講義内容 病院情報システムによる診療記録の管理，医療機関における情報システムの導入や地域医療連携で重要となる「標準化」について，その概念および代表的な標準規格について講義する。</p> <p>具体的到達目標・学修目標 1) 電子化された診療情報の管理に必要な事項を説明できる。(1-1～1-2, 3-5, 3-7, 4-4～4-5, 4-8, 5-3) 2) 症例を適切に要約する習慣を身に付け，状況に応じて提示できる。(1-1～1-2, 2-4, 2-6～2-7, 4-5, 4-7) 3) 医療情報に関連する標準化の必要性や，規格・規約を説明できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-7, 4-8, 5-3, 5-5)</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室
6	4月26日 (水)	3-4 時限	形成評価	<p>テーマ：病院情報システム操作説明・全体討議・形成評価</p> <p>前半は，第二病棟 2階多目的室において，臨床実習で使用する附属病院の病院情報管理システム（電子カルテ）の操作方法を概説する。続けて全体討議を行い，レポート課題について説明する。 後半は 5B 実習室へ移動し，形成試験を実施する。</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室・5B 実習室

分 類：医療・社会・行動科学 IV

授業科目名：医療における安全性確保（Safety Management in Healthcare）－ヒューマンエラーとシステム構築－

対象学年：4年次必修

時間割コード：71583011

開設学期等：第5週～第7週（毎週火曜日1-10時限）

単位数：0.5

1. 主任教員

木村 哲（准教授、医療安全管理部、6222、オフィスアワー：8:30-17:00）

2. 担当教員

木村 哲（准教授、医療安全管理部、6222、オフィスアワー：8:30-17:00）

美作宗太郎（教授、法医学講座、6094、オフィスアワー：随時（要アポイント））

長谷川仁志（教授、医学教育学講座、6096、オフィスアワー：随時（要アポイント））

奈良美保（講師、輸血部、6312、オフィスアワー：8:30-17:00）

笹 渕 航 平（非常勤講師、医療安全管理部、6222、オフィスアワー：8:30-17:00）

小 林 育 子（非常勤講師、医療安全管理部、6222、オフィスアワー：8:30-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい（大まかな全体目標）

医療現場で安全で質の高い診療を実践していくために、医療上の事故等（インシデントを含む）は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。（3－5）

また、関連するプロフェッショナリズム、医療倫理、医療行動学、医療法（制度）、EBMについて学ぶ。（1－1～1－2、4－4）

概要（大まかな学修目標・項目）

1) 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。（3－5）

2) 医療機関における医療安全管理体制の在り方（インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度）を概説できる。（3－5）

3) 医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。（3－5）

4) 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。（2－6、3－5）

5) 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。（2－4、3－5、4－5）

6) 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。（3－5、6－1）

7) 医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やっつけいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。（3－5、5－3）

8) 医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。（3－5、4－5）

9) 真摯に疑義に応じることができる。（1－1～1－2、2－7）

10) 医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。（3－5）

11) 医療事故における異状死と司法解剖について概説できる。（3－5）

12) 基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。（3－5）

13) 血液・血液製剤の副作用や有害事象とその対策について説明できる。（3－3、3－5）

- 1 4) 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。(2-3~2-6、3-5)
- 1 5) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。(2-1~2-8)
- 1 6) 本領域が関連するプロフェッショナリズム、医療倫理、医療法（制度）、EBM について説明できる。(1-1~1-2、3-3、3-5、4-4)

4. 教科書・参考書

医療におけるヒューマンエラー（医学書院）
医療安全とリスクマネジメント（ヌーヴェルヒロカワ）
診療科目別正しい診療録の書き方（朝倉書店）
診療録の記載とプレゼンテーションのコツ（メジカルビュー社）

5. 成績評価の方法

統一試験、出席、その他（全体討論でのプレゼンテーション）

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・日本医療安全調査機構が随時提示している「医療事故の再発防止に向けた提言」を閲覧し、内容を把握しておいてください。
- ・講義日程と担当教官が変更になることがあります。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	5月9日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：医療安全管理の概要 1) 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。（3－5） 2) 医療機関における医療安全管理体制の在り方（インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度）を概説できる。（3－5）	木村 哲	附属病院第 二病棟 2 階 多目的室
2	5月9日 (火)	3-4 時限	チュートリアル	テーマ：インシデント事例検討 医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。（3－5）	木村 哲	実習棟 2 階 チュートリアル室
3	5月16日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：医療安全のためのコミュニケーション 1) 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。（2－6、3－5） 2) 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。（2－4、3－5、4－5） 3) 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。（3－5、6－1）	長谷川仁志	附属病院第 二病棟 2 階 多目的室
4	5月16日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：医薬品の安全管理 医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やっつけはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。（3－5、5－3）	笹渕航平	附属病院第 二病棟 2 階 多目的室
5	5月23日 (火)	1-2 時限	全体討議	テーマ：インシデント事例検討 1) 医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。（3－5、4－5） 2) 真摯に疑義に応じることができる。（1－1～1－2、2－7）	木村 哲	附属病院第 二病棟 2 階 多目的室
6	5月23日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：法医学からみた医療事故と医療過誤 1) 医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。（3－5） 2) 医療事故における異状死と司法解剖について概説できる。（3－5）	美作宗太郎	附属病院第 二病棟 2 階 多目的室
7	5月23日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：患者誤認防止対策 基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルブルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。（3－5）	小林育子	附属病院第 二病棟 2 階 多目的室
8	5月23日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：血液製剤の安全管理 血液・血液製剤の副作用や有害事象とその対策について説明できる。（3－3、3－5）	奈良美保	附属病院第 二病棟 2 階 多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
9	5月23日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：ノンテクニカルスキル 1) 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。(2-3~2-6、3-5) 2) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。(2-1~2-8) 3) 本領域が関連するプロフェッショナリズム、医療倫理、医療法（制度）、EBMについて説明できる。(1-1~1-2、3-3、3-5、4-4)	木村 哲	附属病院第二病棟2階多目的室

分 類：医療・社会・行動科学IV

授業科目名：人の死・死と法（Forensic Medicine）－法医学・法医学実習－

対象学年：4年次必修

時間割コード：71583010

開設学期等：第1週～第6週

単位数：1

1. 主任教員

美作宗太郎（教授、法医学講座、6092、オフィスアワー：随時（要アポイント））

2. 担当教員

美作宗太郎（教授、法医学講座、6092、オフィスアワー：随時（要アポイント））

大谷真紀（助教、法医学講座、6093、オフィスアワー：随時（要アポイント））

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

・個体の死について理解し、異状死体の取り扱いについて理解する。また、関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBMについて学ぶ。

概要

- ・個体の死を理解する。(1-1, 2-1, 2-7, 3-1～3-4,3-7)
- ・死の判定や死亡診断と死体検案を理解する。(1-1, 3-2, 3-3, 3-4, 4-2, 4-5, 4-6)
- ・中毒と環境要因によって生じる疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。(3-2, 3-3, 3-4, 4-2, 4-3, 4-6)
- ・患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守する。(1-1, 2-1, 2-4, 2-7, 3-5, 3-6, 3-7, 4-5)
- ・本領域が関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明・実践できる。(1-1, 2-1, 2-4, 2-7, 3-5, 3-6, 3-7, 4-4, 4-5)

4. 教科書・参考書

- ・池田典昭・木下博之編「標準法医学 第8版」医学書院（2022年）
- ・福島弘文監修「法医学改訂4版」南山堂（2022年）
- ・高取健彦監修「NEW エッセンシャル法医学 第6版」医歯薬出版（2019年）
- ・美作宗太郎監修「臨床法医学入門」明石書店（2017年）

5. 成績評価の方法

統一試験、その他（提出課題、死亡診断書・死体検案書作成実習で作成する書類）

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・指定教科書に沿って講義を進める。
- ・指定教科書は事前に指示するので、講義初日までに用意し、予習して受講すること。
- ・指定教科書に授業の重要ポイントを記載するなどして学習すると、講義後の復習に役立つ。
- ・必要に応じて、配布資料を用意することがある。
- ・担当教員の予定により、若干変更する場合がある。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月10日 (月)	1-2時限	講義	テーマ：法医学総論(1) ・病理解剖、法医解剖(司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖)を説明できる。 ・死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。 ・植物状態と脳死の違いを説明できる。 ・植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定について説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
2	4月10日 (月)	3-4時限	講義	テーマ：法医学総論(2) ・医師の法的義務を列挙し、例示できる。 ・医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。 ・異状死・異状死体の取扱いと死体検案を説明できる。 ・医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
3	4月13日 (木)	1-2時限	講義	テーマ：死体検案・死後画像診断学 ・異状死・異状死体の取扱いと死体検案を説明できる。 ・死後CTの概要・所見を説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
4	4月13日 (木)	3-4時限	講義	テーマ：死体現象 ・死体現象の種類を説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
5	4月17日 (月)	1-2時限	講義	テーマ：内因性急死(1) ・内因死について説明できる。 ・突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患(乳幼児突然死症候群<SIDS>を含む)を列挙できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
6	4月17日 (月)	3-4時限	講義	テーマ：内因性急死(2) ・内因死について説明できる。 ・突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患(乳幼児突然死症候群<SIDS>を含む)を列挙できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
7	4月20日 (木)	1-2時限	講義	テーマ：外因死(1) ・外因死の種類について説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
8	4月20日 (木)	3-4時限	講義	テーマ：外因死(2) ・外因死の種類について説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
9	4月24日 (月)	1-2時限	講義	テーマ：損傷(1) ・外因死のうち損傷死について説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
10	4月24日 (月)	3-4時限	講義	テーマ：損傷(2) ・外因死のうち損傷死について説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
11	4月25日 (火)	1-2時限	講義	テーマ：損傷(3) ・外因死のうち損傷死について説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
12	4月25日 (火)	3-4時限	講義	テーマ：損傷(4) ・外因死のうち損傷死について説明できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
13	4月27日 (木)	1-2時限	講義	テーマ：個人識別(1) ・個人識別の方法を説明できる。	大谷真紀	第2病棟多目的室
14	4月27日 (木)	3-4時限	講義	テーマ：個人識別(2) ・個人識別の方法を説明できる。	大谷真紀	第2病棟多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
15	5月1日 (月)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：法中毒学 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。 ・有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。 ・重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。 ・アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。 ・医薬品による中毒を説明できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
16	5月1日 (月)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：法中毒学 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。 ・有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。 ・重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。 ・アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。 ・医薬品による中毒を説明できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
17	5月2日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：小児法医学 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児突然死症候群 (sudden infant death syndrome <SIDS>) を説明できる。 ・患者の死後の家族ケア (悲嘆のケア (グリーフケア)) を説明できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
18	5月2日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：小児法医学 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児突然死症候群 (sudden infant death syndrome <SIDS>) を説明できる。 ・患者の死後の家族ケア (悲嘆のケア (グリーフケア)) を説明できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
19	5月8日 (月)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：虐待 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待を概説できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
20	5月8日 (月)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：虐待 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待を概説できる。 ・DV (Domestic Violence) を概説できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
21	5月11日 (木)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：死亡診断書・死体検案書 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。 ・診断書、検案書、証明書 (診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書) を説明できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
22	5月11日 (木)	3-4 時限	実習	<p>テーマ：死亡診断書・死体検案書 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
23	5月15日 (月)	1-2 時限	実習	<p>テーマ：死亡診断書・死体検案書 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
24	5月15日 (月)	3-4 時限	実習	<p>テーマ：死亡診断書・死体検案書 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。 	美作宗太郎	第2病棟多目的室
25	5月18日 (木)	1-2 時限	その他	<p>テーマ：予備日</p> <p>講義・実習の進捗状況により調整する。</p>	美作宗太郎	第2病棟多目的室
26	5月18日 (木)	3-4 時限	その他	<p>テーマ：予備日</p> <p>講義・実習の進捗状況により調整する。</p>	美作宗太郎	第2病棟多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
25	5月18日 (木)	1-2 時限	その他	テーマ：予備日 講義・実習の進捗状況により調整する。	美作宗太郎	第2病棟多 目的室
26	5月18日 (木)	3-4 時限	その他	テーマ：予備日 講義・実習の進捗状況により調整する。	美作宗太郎	第2病棟多 目的室

分 類：臨床医学Ⅳ

授業科目名：医学医療総合講義Ⅰ（Integrated Clinical Clerkship Conference 1）ークリニカルクラークシップ統合カンファレンスⅠ：Ⅰ

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643001

開設学期等：第23週～第42週（毎週金曜日7-10時限）

単位数：2

1. 主任教員

長谷川 仁志（教授、医学教育学講座、6067、オフィスアワー：要アポイント）

2. 担当教員

長谷川 仁志（教授、医学教育学講座、6067、オフィスアワー：要アポイント）

各回の担当教員（各講座）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

CC2および卒後臨床研修の充実に向けて、医学生時代に経験すべき何科の医師としても必修の主要症候・病態に対する臨床推論および基本対応、総合的な判断力の質を、CC1の期間中に向上することを目標とする。

CC1期間中の毎週金曜日14時20分から大講義室に集まり、臨床実習班ごとに着席して行われるチーム基盤型カンファレンス。

下記の主要41症候のうち、その週に割りあてられた症候を有する症例を担当教員が提示し、その都度、医療面接、身体診察、一般検査などの臨床推論の過程や基本対応を個人や実習班ごとに考えながら進める。

これにより、個人および臨床実習班ごとの症例検討に関するモチベーションを高めるとともに、各科臨床実習中に必ずしもすべて経験できない主要症候に対する医療面接、身体診察、鑑別診断、各種検査、結果解釈、治療選択、EBMの批判的吟味、病状説明（医師・患者・家族とのコミュニケーション、）等の他、下記の2.基本診療に関連する重要事項について、CC2や卒後臨床実習の際に知っておくべき一般的なピットフォールを含めて経験保証する。

この際、常にプロフェッショナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、EBM、医療法（制度）についても意識して学び経験値を高める。

学修目標（1-1～1-2、2-1～2-7、3-1～3-6、4-1～4-7、5-1～5-3）

1. 主要41症候の臨床推論（医療面接、身体診察、各種検査の適応と解釈）と、初期対応・基本的対応ができる。

- 1) 頭痛
- 2) 胸痛
- 3) 腹痛
- 4) 背部痛
- 5) 腰痛
- 6) 呼吸困難
- 7) 咳・痰・血痰・咯血
- 8) 動悸
- 9) めまい
- 10) 失神
- 11) 意識障害
- 12) 痙攣
- 13) 運動麻痺・筋力低下
- 14) しびれ
- 15) 構語障害

- 16) 視力障害
- 17) 複視
- 18) 不随運動・振戦
- 19) ショック
- 20) 発熱
- 21) 全身倦怠感
- 22) 貧血
- 23) リンパ節腫脹
- 24) 関節痛・関節腫脹
- 25) 悪心・嘔吐・食欲不振
- 26) 嚥下障害
- 27) 体重減少・体重増加
- 28) 発疹
- 29) 胸水
- 30) 浮腫
- 31) 尿量・排尿の異常
- 32) 血尿・タンパク尿
- 33) 黄疸
- 34) 吐血・下血
- 35) 便秘・下痢
- 36) 腹部膨隆（含・腹水）・腫瘤
- 37) 月経異常
- 38) 不安・抑うつ
- 39) せん妄
- 40) 物忘れ・認知能の障害
- 41) 外傷・熱傷

2. 基本診療に関連する重要事項

(1-1~1-2、2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8、5-1~5-5、6-1~6-2)

症例ベースの課題を検討・解決していく過程で、下記の基本診療に関連する重要事項の経験値を高めるとともに、その際の医療行動科学、倫理的な行動について考える。

- 1) 外来診療のポイント
- 2) 各科検査について
- 3) 各科手術について
- 4) 医療安全
- 5) 患者・家族への説明
- 6) 文献・情報ネット検索
- 7) EBM の適応（エビデンスの批判的吟味）
- 8) 輸液
- 9) 感染症・抗生剤
- 10) 検査・術前後リスク評価・管理
- 11) 抗血栓薬
- 12) 緩和ケア、ターミナルケア、ACP(Advance Care Planning)
- 13) 外来化学療法
- 14) 地域包括ケア、在宅医療
- 15) 医療福祉、関係書類
- 16) ポリファーマシー

- 17) フレイル、サルコペニア
- 18) トラベルメディスン
- 19) 外国人患者への対応（含・疾患の国際化）
- 20) 飛行機内、乗り物内等での対応
- 21) 災害医療
- 22) 困難な患者
- 23) 看取り（終末期、予期せぬ急変）
- 24) 病理解剖
- 25) 死亡診断書、死体検案書
- 26) 法医解剖

本科目は、各分野専門的な実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

内科診断学（医学書院）、聞く技術（日経 BP 社）、

5. 成績評価の方法

出席態度、学習態度（個人・チーム）。

CC1 終了後の 5 年次夏の卒業中間統一試験を中心に、CC2 終了後の 6 年次秋の卒業統一試験および卒業時 PCC-OSCE 自学課題の試験範囲にもなる。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

主要症候や病態への対応について、初診外来、外来診療、救急、入院中、検査前後、手術前・後の対応など、日常的な重要症例ベースの場面設定で実践的に学習します。各回の主要症候の臨床推論について復習してくる。当日は、臨床実習班ごとに指定された席に着席すること。

日程および各回の担当教員等の詳細については後日、お知らせします。

講義内容・具体的到達目標・学修目標					
開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所

分 類：臨床医学アドバンスコース
授業科目名：整形外科学（Orthopedics）－整形外科アドバンスコース－
対象学年：4年次選択
時間割コード：71604002
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

宮腰尚久（教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

2. 担当教員

宮腰尚久（教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

本郷道生（准教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

粕川雄司（准教授、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

野坂光司（講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

永澤博幸（医学部講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

齊藤英知（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

木島泰明（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

白幡毅士（助教、高度救命救急センター、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

土江博幸（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

工藤大輔（助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

木村竜太（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

斉藤公男（医員、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

河野哲也（医員、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【授業のねらい】

3年次運動器コアカリキュラムで講義で学んだ重要事項の確認を行い、さらに最新の知識を学び、整形外科学に対する理解を深める。縫合実習ならびにギプス巻き実習を通して、整形外科診療の基本的な手技を理解し実践する。また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBMについて学ぶ。

【概要】

A-1-1 医の倫理と生命倫理

・医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。(5-1～5-5)

A-2-2 学修の在り方

・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(5-1～5-5)

A-6-1 安全性の確保

・医療の安全性に関する情報を共有し、事後に役立つための分析の重要性を説明できる。(3-5,3-6,4-3,4-6)

A-8-1 医学研究への志向の涵養

・患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。(5-1～5-5)

B-1-8 保健・医療・福祉・介護の制度

・障害者福祉の現状と制度を説明できる。(3-6,3-7,4-8)

D-4-1 構造と機能

- ・骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。(3-1)
- ・脊柱の構成と機能を説明できる。(3-1)
- ・四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。(3-1)
- ・骨盤の構成と性差を説明できる。(3-1)
- ・骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。(3-1,3-2)
- ・姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。(3-1)
- ・抗重力筋を説明できる。(3-1)

D-4-2 診断と検査の基本

- ・筋骨格系画像診断(エックス線撮影、コンピュータ断層撮影(CT)、磁気共鳴画像法(MRI)、超音波検査、骨塩定量)の適応を概説できる。(3-3,5-3)

D-4-3 症候

- ・運動麻痺・筋力低下(3-2,4-2)
- ・関節痛・関節腫脹(3-2,4-2)
- ・腰背部痛(3-2,4-2)

D-4-4(1) 運動器系の一般的疾患

- ・四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。(3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,3-5,4-2,4-3,4-6)
- ・骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。(3-2~3-4,3-7,4-2~4-4,4-8)
- ・関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-1~4-3,4-6)
- ・変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・絞扼性末梢神経障害(手根管症候群、肘部管症候群等)を列挙し、その症候を説明できる。(3-2,3-3,4-2,4-3)
- ・頸椎症性脊髄症(脊柱靭帯骨化症を含む)・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。(3-1~3-3,4-1~4-3)
- ・脊髄損傷の診断・治療を説明できる。(3-1~3-7,4-1~4-4)
- ・腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。(3-2~3-4,4-1~4-3)
- ・腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。(3-2~3-4,4-1~4-3)
- ・腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。(3-2~3-4,4-1~4-3)
- ・運動器慢性疼痛(腰背部痛、頸部痛、肩こり)の病態、診断と治療を説明できる。(3-2~3-4,4-1~4-4)
- ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。(3-3,3-4,4-3,4-4)

D-4-4(2) 感染性疾患

- ・化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-1~4-3,4-6)
- ・椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-1~4-3,4-6)

D-4-4(3) 腫瘍性疾患

- ・原発性骨腫瘍(骨肉腫、Ewing肉腫)の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。(3-2~3-4,3-7,4-2~4-4,4-7)
- ・転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。(3-2~3-4,4-1~4-4)
- ・悪性軟部腫瘍(脂肪肉腫)の診断、病理所見、治療を概説できる。(3-3,3-4,4-1~4-4)

F-2-7 超音波を用いる診断と治療

- ・超音波を用いる治療を概説できる。(3-1~3-3,4-3,4-6)

F-2-14 リハビリテーション

- ・リハビリテーションの概念と適応を説明できる。(3-3,3-7)
- ・リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。(4-7,4-8)
- ・理学療法、作業療法を概説できる。(3-3,3-7)

関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)

4. 教科書・参考書

特に指定しないが、3年次運動器コアカリキュラムと同じものを参照すること。

5. 成績評価の方法

口頭試問を行い、60点以上を合格とする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

8時50分までに集合。場所は別途通知。

受入人数：10名程度

授業を受ける前に指定された教科書、参考書を読んでくること。

授業が終わった後、配布資料を見ながら復習すること。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：関節疾患の重要事項とトピックス 関節疾患に対する治療法、特に最近の手術療法について理解を深める。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-4-(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる</p>	野坂光司	北臨床棟 2階カンファランスルーム
2	7月3日 (月)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：代謝疾患の重要事項とトピックス 骨代謝異常による各種疾患について、診断・薬物療法・手術療法を学ぶ。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 D-4-4-(1) 骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。</p>	宮腰尚久	北臨床棟 2階カンファランスルーム
3	7月3日 (月)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：骨折の重要事項 四肢骨折の分類、治療法、手術適応、手術療法、内固定金属に関する重要事項の復習を行い理解を深める。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 F-2-14 理学療法・作業療法を概説できる。</p>	齊藤英知	北臨床棟 2階カンファランスルーム

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
4	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：四肢再建 手指を含む四肢の外傷や悪性腫瘍切除後の、骨や軟部組織欠損に対する再建方法の実際を学ぶ。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-4(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。</p>	白幡毅士	北臨床棟2階カンファランスルーム
5	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：腰痛 腰痛をきたす疾患の鑑別および各種腰椎疾患に対する手術療法について学ぶ。</p> <p>A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 腰背部痛 D-4-4(1) 腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる D-4-4(1) 運動器慢性疼痛の病態、診断と治療を説明できる。</p>	宮腰尚久	北臨床棟2階カンファランスルーム
6	7月4日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：創外固定法 創外固定法の進歩と、四肢変形矯正に対する創外固定を用いた手術療法について理解を深める。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-4(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。</p>	野坂光司	北臨床棟2階カンファランスルーム

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
7	7月4日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：骨軟部腫瘍手術の最前線 骨軟部腫瘍に対する手術療法について、特に近年開発された新たな手術療法や補助療法について解説する。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 C-4-6 腫瘍の分類、分化度、グレード、ステージを概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4(3) 原発性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。</p>	土江博幸	北臨床棟2階カンファランスルーム
8	7月4日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：股関節鏡手術の進歩 股関節鏡手術手技の進歩や、基本的操作方法について解説する。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4(1) 関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。</p>	河野哲也	北臨床棟2階カンファランスルーム
9	7月4日 (火)	7-8 時限	実習	<p>テーマ：ギプス巻実習 ギプスによる外固定の適応および、実際のギプス固定法(手技、注意すべきポイント)について学習する。</p> <p>A-6-1 医療の安全性に関する情報を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 D-4-4(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4(1) コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。 F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる。</p>	粕川雄司	附属病院整形外科外来

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
10	7月4日 (火)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：小児脊柱変形 小児脊柱変形の診断、装具療法および手術療法について、歴史的経緯を踏まえて近年のトピックスを学習する。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。</p>	本郷道生	北臨床棟 2階カンファランスルーム
11	7月5日 (水)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：膝関節バイオメカニクス 骨・軟骨・靭帯・半月板等で構成される膝関節のバイオメカニクスを学び、力学特性に応じた治療方針について理解する。</p> <p>A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。 F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる。</p>	斉藤公男	北臨床棟 2階カンファランスルーム
12	7月5日 (水)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：脊椎内視鏡手術の実際 脊椎低侵襲手術の種類および、内視鏡手術の進歩と適応を学習する。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(1) 腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。</p>	工藤大輔	北臨床棟 2階カンファランスルーム

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
13	7月5日 (水)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：成人脊柱変形 成人脊柱変形の手術療法について、脊椎アライメントを考慮した手術適応について学習する。</p> <p>A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(1) 腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。</p>	工藤大輔	北臨床棟 2階カンファランスルーム
14	7月5日 (水)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：整形外科手術療法ビデオ 整形外科の代表的な手術療法について、手術手技ビデオを用いた局所解剖および手術操作の要点について学習する。</p> <p>A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-6-1 医療の安全性に関する情報を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。</p>	土江博幸	北臨床棟 2階カンファランスルーム
15	7月5日 (水)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：脊椎の重要事項とトピックス 脊柱疾患全般にわたる項目について、コアカリキュラムの復習および近年のトピックスを学習する。</p> <p>A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。</p>	粕川雄司	北臨床棟 2階カンファランスルーム

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
16	7月6日 (木)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：整形外科の超音波 運動器疾患の超音波診断ならびに、超音波ガイド下に行われる治療についての理解を深める。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 F-2-7 超音波を用いる治療を概説できる。 F-2-14 理学療法・作業療法を概説できる。</p>	木村竜太	北臨床棟2階カンファランスルーム
17	7月6日 (木)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：骨軟部腫瘍の重要事項 骨軟部腫瘍の重要事項、基本的手術療法、新しい手術手技について学習する。</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 C-4-6 腫瘍の分類、分化度、グレード、ステージを概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4(3) 原発性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。 D-4-4(3) 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。 D-4-4(3) 悪性軟部腫瘍の診断、病理所見、治療を概説できる。</p>	永澤博幸	北臨床棟2階カンファランスルーム
18	7月6日 (木)	5-6 時限	実習	<p>テーマ：縫合実習 整形外科領域の縫合法(皮膚、皮下組織、筋膜など)の基礎と、瘢痕の形成メカニズムについて学習する。</p> <p>A-6-1 医療の安全性に関する情報を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 D-4-4(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4(1) コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。</p>	斉藤公男	北臨床棟2階カンファランスルーム

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
19	7月6日 (木)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：運動器リハビリテーション 運動器疾患に対するリハビリテーションの概説と、装具療法や障害者福祉制度について学習する。</p> <p>A-2-2 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 B-1-8 障害者福祉の現状と制度を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-1 抗重力筋を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。 F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる。 F-2-14 リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。 F-2-14 理学療法、作業療法を概説できる。</p>	斉藤公男	北臨床棟 2階カンファランスルーム
20	7月6日 (木)	9-10 時限	試験	テーマ：口頭試問	木島泰明	北臨床棟 2階カンファランスルーム

分 類：臨床医学アドバンスコース
授業科目名：リハビリテーション (Rehabilitation medicine)
対象学年：4年次選択
時間割コード：71604017
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

粕川雄司 (准教授、リハビリテーション科、6213、オフィスアワー：9:00-17:00)

2. 担当教員

粕川雄司 (准教授、リハビリテーション科、6213、オフィスアワー：9:00-17:00)

工藤大輔 (助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

斉藤公男 (医員、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

【授業のねらい】

3年次コアカリキュラムで学んだリハビリテーション医学に関する重要事項を確認し、さらに最新の知識を学び、ロボットの活用など先進的な取り組みに対する理解を深める。また、関連するプロフェッショナルリズム、多職種連携、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて学ぶ。

【概要】

A-1-1 医の倫理と生命倫理

・医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。(5-1～5-5)

A-2-2 学修の在り方

・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(5-1～5-5)

A-6-1 安全性の確保

・医療の安全性に関する情報を共有し、事後に役立つための分析の重要性を説明できる。(3-5,3-6,4-3,4-6)

A-6-1 医療の安全性の確保 多職種が多段階の医療業務内容に関与していることが具体的に説明できる。(2-5～2-6, 4-7)

A-7-1 地域医療への貢献 地域における医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性を説明できる。(2-5～2-7, 3-7, 4-7～4-8)

A-8-1 医学研究への志向の涵養

・患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。(5-1～5-5)

B-1-8 保健・医療・福祉・介護の制度

・障害者福祉の現状と制度を説明できる。(3-6,3-7,4-8)

D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患

・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。(3-3,3-4,4-3,4-4)

F-2-14 リハビリテーション

・リハビリテーションの概念と適応を説明できる。(3-3,3-7)

・リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。(4-7,4-8)

・理学療法、作業療法を概説できる。(3-3,3-7)

関連するプロフェッショナルリズム、多職種連携、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)

4. 教科書・参考書

リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版（公益社団法人日本リハビリテーション医学会 監修，医学書院発行，
定価 4,400 円（本体 4,000 円+税 10 %）
整形外科 術後理学療法プログラム 第3版（メジカルビュー社）

5. 成績評価の方法

口頭試問を行い，60 点以上を合格とする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

8 時 50 分までに集合。場所は別途通知。
受入人数：10 名程度

授業を受ける前に指定された教科書，参考書を読んてくること。
授業が終わった後，配布資料を見ながら復習すること。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月7日 (金)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：ロボットリハビリテーション 【学習目標】 新たに開発されているリハビリテーションロボットなど、最先端のリハビリテーション医療について学習する。(1-1～1-2、2-5～2-6、3-5～3-7、4-3～4-4、4-6～4-7、5-1～5-5)</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる。</p>	粕川雄司	北臨床棟 2階カンファランスルーム
2	7月7日 (金)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：脳血管障害リハビリテーション 【学習目標】 脳血管障害の急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる。(2-1～2-8、3-1～3-7、4-2～4-8)</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に，教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し，疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる。 F-2-14 リハビリテーション・チームの構成を理解し，医師の役割を説明できる。 F-2-14 理学療法、作業療法を概説できる。</p>	粕川雄司	北臨床棟 2階カンファランスルーム
3	7月7日 (金)	5-6 時限	自主学習	<p>テーマ：自主学習</p>		北臨床棟 2階カンファランスルーム
4	7月7日 (金)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：内部障害リハビリテーション 【学習目標】 内部障害に対するリハビリテーションの概念と適応を説明できる。(2-1～2-8、3-1～3-7、4-2～4-8)</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に，教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し，疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる。 F-2-14 リハビリテーション・チームの構成を理解し，医師の役割を説明できる。 F-2-14 理学療法、作業療法を概説できる。</p>	粕川雄司	北臨床棟 2階カンファランスルーム

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
5	7月7日 (金)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：脊髄損傷リハビリテーション</p> <p>【学習目標】 脊髄損傷のリハビリテーションを概説できる。(2-1～2-8, 3-1～3-7、4-2～4-8)</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる。 A-8-1 患者や疾患の分析を基に，教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し，疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる。 F-2-14 リハビリテーション・チームの構成を理解し，医師の役割を説明できる。 F-2-14 理学療法・作業療法を概説できる。</p>	工藤大輔	北臨床棟 2 階カンファ ランス ルーム

分 類：臨床医学アドバンスコース
授業科目名：歯科口腔外科学 (Oral Surgery) (Oral Surgery)
対象学年：4年次選択
時間割コード：71614001
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

福田 雅幸 (病院教授、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金／16:00～17:00)

2. 担当教員

福田 雅幸 (病院教授、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金／16:00～17:00)

高野 裕史 (病院准教授、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金／16:00～17:00)

五十嵐秀光 (助教、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金／16:00～17:00)

今野 泰典 (助教、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金／16:00～17:00)

福地 峰世 (助教、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金／16:00～17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 目的 (GIO)

将来医師として必要な種々の口腔外科的疾患に対する検査、診断、処置の基本を修得するとともに、それらの知識を使用して患者に適切な情報提供ができる能力を身につける。また、医療に応用されている生体材料および再生医療の特性を理解する。さらに、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法 (制度)、EBM 等について学ぶ。

2. 到達目標 (SBOs)

- 1) 歯および口腔の診察ができる。(4-1～4-2, 4-5)
- 2) 顎・口腔の炎症性疾患の原因、診断、治療法を説明できる。(3-1～3-3, 4-2～4-4)
- 3) 顎・顔面の外傷の症状、治療法を説明できる。(3-1～3-3, 4-2～4-4)
- 4) 顎・口腔に発生する嚢胞性疾患の種類、診断、治療法を説明できる。(3-1～3-3, 4-2～4-4)
- 5) 顎・口腔に発生する腫瘍の種類、診断、治療法を説明できる。(3-1～3-3, 4-2～4-4)
- 6) 顎・口腔に発生する奇形、症候群の種類、発現頻度、診断、治療法を説明できる。(3-1～3-3, 4-2～4-4)
- 7) 口腔粘膜疾患の発生機序、症状、治療を説明できる。(3-1～3-3, 4-2～4-4)
- 8) 顎変形症の疾患特性、診断、手術法を説明できる。(3-1～3-4, 4-2～4-4)
- 9) 歯科疾患 (う蝕、歯周病等) とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。(3-1～3-5)
- 10) 歯科的救急疾患の診断法と処置を説明できる。(3-1～3-3, 4-2～4-4)
- 11) 生体材料の物理的、化学的および生物学的所要性質を列挙できる。(5-2～5-3)
- 12) 生体材料の種類 (高分子材料、セラミックス材料、金属材料) とその特性、用途を説明できる。(5-2～5-3)
- 13) 再生医療の三要素を列挙し、それぞれの要素について説明できる。(5-2～5-3)

4. 教科書・参考書

教科書：指定しない

参考書：「口の中が分かる ビジュアル 歯科口腔科学読本」

全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 監修、クインテッセンス出版 2017.

「医師・歯科医師のための口腔診療必携」高戸毅 編、金原出版 2010.

5. 成績評価の方法

講義・実習終了後のレポートと出席点で評価する。

レポート（60点）＋出席点（40点）を合わせた100点満点で、60点以上を合格とする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

受講受入人数：6名

7/5（水）14:00より開始します。

（その時間までに医局に集合して下さい）

実習に歯ブラシを使用します。各自、自分の歯ブラシ・手鏡を持参して下さい。

外来実習時には白衣・内履きを着用して下さい。

*手術の内容により、講義内容が変更になる事があります。

・予め参考書等で歯科口腔外科の診療内容について目を通しておく。

・講義・実習終了後は内容を参考書等で復習のこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ： 歯と歯周組織の疾患	今野泰典	医局
2	7月5日 (水)	9-10 時限	実習	テーマ： う蝕リスクテスト	今野泰典	医局
3	7月6日 (木)	1-4 時限	その他	テーマ：手術見学 * 9時に口腔外科の医局に集合	今野泰典	手術場
4	7月6日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ： 上顎骨と下顎骨再建 歯科インプラント	五十嵐秀光	医局
5	7月6日 (木)	7-10 時限	実習	テーマ： 歯垢染め出しとブラッシング指導 歯型の印象	五十嵐秀光	外来
6	7月7日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ： 顎顔面の外傷 顔面先天奇形と顎変形症	高野裕史 福地峰世	医局
7	7月7日 (金)	3-4 時限	実習	テーマ： 歯型模型の評価 う蝕リスクテストの判定	高野裕史 福地峰世	医局
8	7月7日 (金)	5-6 時限	形成評価	テーマ： 形成的評価	福田雅幸	医局

分類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：心臓血管外科学（Cardiovascular surgery Analysis of Aortic Dissection）－急性大動脈解離を紐解く－

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604003

開設学期等：第13週（毎週月曜日1-10時限）

単位数：0.5

1. 主任教員

角浜孝行（准教授、心臓血管外科、6135）

2. 担当教員

角浜孝行（准教授、心臓血管外科、6135）

高木大地（講師、心臓血管外科、6135）

山浦玄武（助教、心臓血管外科、6135）

桐生健太郎（助教、心臓血管外科、6135）

板垣吉典（医員、心臓血管外科、6135）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. ねらい

救急診療として重要な「急性大動脈解離」という疾患を通して、診療を実践していくために必要な、構造と機能、診断と検査の基本をについて統合的に理解する。また、関連する医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法（医療制度）、EBMについて実践的に学ぶ。

2. 概要（大まかな学習目標・項目）

様々な症状を呈しうる「急性大動脈解離」という疾患を通して、症候から鑑別診断を考え、心臓超音波検査やコンピューター断層撮影（CT）などの基本的な画像検査の読み方を学び、ガイドラインを用いた治療方針の決定を行い、診断から治療までに必要な診療を経験することを目標とする。

1) 症候・病態 臨床推論

(1) 意識障害・失神

(2) ショック

(3) 胸痛

(4) 腹痛

(5) 腰背部痛

(6) 心停止

2) 診断と検査の基本

(1) 胸部単純エックス線撮影写真の主な所見を説明できる

(2) 心臓超音波検査の主な所見を説明できる

(3) コンピューター断層像（CT）の主な所見を説明できる

3) 医療行動学、医療倫理、医療安全、医療法、EBMについて

(1) データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる

(2) 得られた情報の批判的吟味ができる

(3) 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる

(4) 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを述べるができる

4. 教科書・参考書

2020年改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン（日本循環器学会）

5. 成績評価の方法

プレゼンテーションおよび口頭試問により、学習目標・項目に対する理解度を評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

事前に、「2020年度改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン」をダウンロードし、大動脈解離に関する項目に目を通しておくが良い。時間が限られている場合は、「定義・病態・疫学」および「症状・検査・診断」の章を読むことが好ましい（10ページ程度）。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	チュートリアル	テーマ：オリエンテーション・プレテスト 国家試験の過去問題を中心に自己の振り返りを行う。	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
2	7月3日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：急性大動脈解離～症候・診断・治療～ 診断に必要な症候，診察，画像診断などについて網羅する。	角浜孝行	心臓血管外科医局カンファレンス室
3	7月3日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：画像総論 急性大動脈解離の初期対応に必要な知識として、CT・心臓超音波検査を実技を含め学ぶ。	桐生健太郎	心臓血管外科医局カンファレンス室
4	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：画像総論 急性大動脈解離の初期対応に必要な知識として、CT・心臓超音波検査を実技を含め学ぶ。	桐生健太郎	心臓血管外科医局カンファレンス室
5	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：Case 発表 オリエンテーション 2-3人1組で症例（1-2例）を担当し、最終日にプレゼンテーションを行ってもらう。ガイドラインの使用方法など、最終日の発表に必要な知識について概説し、残り時間は準備時間とする。	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
6	7月4日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：手術練習：結紮と縫合 医師全般に必要な結紮・縫合の練習を行う。	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
7	7月4日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：手術練習：人工血管吻合 人工血管吻合にチャレンジする。	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
8	7月4日 (火)	5-6 時限	実習	テーマ：発表準備 準備時間	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
9	7月4日 (火)	7-8 時限	実習	テーマ：発表準備 準備時間	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
10	7月4日 (火)	9-10 時限	全体討議	テーマ：発表準備 準備時間	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
11	7月5日 (水)	1-2 時限	講義	テーマ：Case presentation 実際の症例の経過・画像・治療について討議を行う。プレゼンテーションは、病歴・身体所見・画像所見を概説してもらい、初期対応、治療方法をガイドラインなどに照らし合わせながら、担当教官および他の学生に対して行ってもらう。	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室
12	7月5日 (水)	3-4 時限	形成評価	テーマ：口頭試問 コースを通して得た知識について確認を行う。	高木大地	心臓血管外科医局カンファレンス室

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：救急・集中治療医学（Prehospital care and triage in emergency medical system）

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604004

開設学期等：第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

2. 担当教員

中永士師明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

奥山 学（准教授、救急・集中治療医学講座、6184、オフィスアワー：8：30-17：00）

佐藤 佳澄（助教、救急・集中治療医学講座）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 授業の概要及びねらい

1) シミュレーションを通して救急初期対応を学ぶ

シミュレーションセンターで講義とシミュレーションを行う

2. 学習目標

1) 救急外来での初期評価（ABCDE サーベイ）ができる

2) 一次救命処置ができる

3) 二次救命処置を説明できる

4) START 法トリアージと PAT 法トリアージができる

4. 教科書・参考書

外傷初期診療ガイドライン JATEC

JRC 蘇生ガイドライン 2020

BLS プロバイダーマニュアル AHA ガイドライン 2020

AHA 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン 2020

5. 成績評価の方法

出席、シミュレーションの実技評価

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1) 受け入れ人数 6名

2) 9：00 シミュレーションセンター 集合

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：オリエンテーション	奥山 学	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
2	7月3日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：救急対応ABCDEサーベイ	奥山 学	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
3	7月3日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：救急対応ABCDEサーベイ	奥山 学	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
4	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：トリアージ	奥山 学	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
5	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：トリアージ	奥山 学	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
6	7月4日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：一次救命処置・二次救命処置	佐藤 佳澄	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
7	7月4日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：一次救命処置・二次救命処置	佐藤 佳澄	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
8	7月4日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：一次救命処置・二次救命処置	佐藤 佳澄	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
9	7月4日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：一次救命処置・二次救命処置	佐藤 佳澄	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
10	7月4日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：一次救命処置・二次救命処置	佐藤 佳澄	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
11	7月5日 (水)	1-2 時限	講義	テーマ：外傷初期診療ABCDEサーベイ	奥山 学	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ
12	7月5日 (水)	3-4 時限	講義	テーマ：外傷初期診療ABCDEサーベイ	奥山 学	シミュレーションセンター3F 専門手技ラボ

分類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：消化器外科学・消化器内科学・腫瘍内科学・放射線科学・食道外科学（Advanced courses in Gastroenterology）－アドバ

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604005

開設学期等：第13週～第13週

単位数：1

1. 主任教員

有田淳一（教授、消化器外科、6123、オフィスアワー：9:00-17:00）

2. 担当教員

有田淳一（教授、消化器外科、6123、オフィスアワー：9:00-17:00）

飯島克則（教授、消化器内科、6573、オフィスアワー：9:00-17:00）

柴田浩行（教授、腫瘍内科、6262、オフィスアワー：9:00-17:00）

森菜緒子（教授、放射線科、6302、オフィスアワー：9:00-17:00）

後藤隆（准教授、消化器内科、6102、オフィスアワー：9:00-17:00）

石山公一（准教授、放射線科、6179、オフィスアワー：9:00-17:00）

佐藤雄亮（病院准教授、食道外科、6132、オフィスアワー：9:00-17:00）

高橋健一（助教、消化器内科、6104、オフィスアワー：9:00-17:00）

下平陽介（助教、消化器内科、6104、オフィスアワー：9:00-17:00）

渡辺剛（助教、消化器外科、6215、オフィスアワー：9:00-17:00）

中川康彦（助教、消化器外科、6215、オフィスアワー：9:00-17:00）

大嶋重敏（非常勤講師、大曲厚生医療センター）

堀川洋平（非常勤講師、平鹿総合病院）

道免孝洋（非常勤講師、由利組合総合病院）

宮澤秀彰（非常勤講師、秋田赤十字病院）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

消化器病学のトピックス、up-to-dateの診断や治療法を学ぶとともに、基礎医学的知識と研究成果が臨床にどう生かされているのかを理解する

概要

1) functional dyspepsia と irritable bowel syndrome の対処法について説明できる (3-1～3-3)

2) 肝胆膵疾患の超音波による鑑別診断の要点を説明できる (3-1～3-3)

3) 炎症性腸疾患の病因、最新治療について説明できる (3-1～3-3)

4) ウイルス性肝炎についての整理された知識を持ち説明できる (3-1～3-3)

5) 遺伝子異常による消化器疾患の研究手法、現況を理解し説明できる (3-1～3-3)

6) 治療内視鏡の意義について説明できる (3-1～3-3)

7) 肝胆膵疾患の画像診断について整理された知識を持ち説明できる (3-1～3-3)

8) 消化器疾患に対する IVR について正しい知識を持ち説明できる (3-1～3-3)

9) 肝癌治療の実践的な選択法を理解し説明できる (3-1～3-3)

10) 周術期栄養療法の現況を理解し説明できる (3-1～3-3)

11) 主な消化器癌手術の要点について正しい知識を持ち説明できる (3-1～3-3)

12) 消化器癌の非手術的治療法の適応と限界について説明できる (3-1～3-3)

13) 消化器癌の化学療法について正しく理解し説明できる (3-1～3-3)

14) 一般的な消化器疾患に対する治療方針の策定、およびプレゼンテーションができる (2-4, 3-1～3-4, 4-3～4-5, 5-1～5-3)

4. 教科書・参考書

特に指定なし

5. 成績評価の方法

講義やディベートアワーにおける発表内容・質疑応答等で評価する

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

◎受入人数 30－40人

◎7月7日（金）の14:20から、ディベートアワーとして、各班より発表してもらいます。

◎ディベートアワーのグループ指定や症例の配布などは、7月3日（月）10:20から行います。症例データをCD-Rで渡しますので、パソコンがあると便利と思います。

◎ディベートアワーの発表のため、授業時間外の学習などが必須です。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：解剖から腹部画像診断を理解する 腹部の画像診断を、解剖の知識から理解できる	渡辺剛	附属病院第 二病棟2階 多目的室
2	7月3日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：ディベートアワーの症例配布	渡辺剛	附属病院第 二病棟2階 多目的室
3	7月3日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：食道外科の最先端 食道外科領域の最先端の知識を説明できる	佐藤雄亮	附属病院第 二病棟2階 多目的室
4	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：ビデオで見る消化管外科 消化管外科手術の動画から、消化管外科手術を理解 する	宮澤秀彰	附属病院第 二病棟2階 多目的室
5	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：ウイルス性肝炎の総まとめ ウイルス性肝炎に関して説明できる	後藤隆	附属病院第 二病棟2階 多目的室
6	7月4日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：腹腔鏡手術の最先端 腹腔鏡手術の最先端の知識を説明できる	中川康彦	附属病院第 二病棟2階 多目的室
7	7月4日 (火)	3-4 時限	グループ 学習	テーマ：ディベートアワーの発表準備		附属病院第 二病棟2階 多目的室
8	7月4日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：ERCP を応用してできること/診断から治療ま で ERCP 検査の応用的手技・治療に関して説明できる	高橋健一	附属病院第 二病棟2階 多目的室
9	7月4日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：肝癌外科治療の総まとめ 肝癌の外科治療を説明できる	有田淳一	附属病院第 二病棟2階 多目的室
10	7月4日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：消化器癌化学療法 of 意義 消化器癌に対する化学療法に関して説明できる	柴田浩行	附属病院第 二病棟2階 多目的室
11	7月5日 (水)	1-2 時限	グループ 学習	テーマ：ディベートアワーの発表準備		附属病院第 二病棟2階 多目的室
12	7月5日 (水)	3-4 時限	グループ 学習	テーマ：ディベートアワーの発表準備		附属病院第 二病棟2階 多目的室
13	7月5日 (水)	5-6 時限	講義	テーマ：肝胆膵消化管画像診断/CT,MRI を中心に 肝胆膵・消化管の画像診断に関して説明できる	石山公一	附属病院第 二病棟2階 多目的室
14	7月5日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ：上部消化管疾患の画像診断 上部消化管疾患の画像診断に関して説明できる	飯島克則	附属病院第 二病棟2階 多目的室
15	7月5日 (水)	9-10 時限	講義	テーマ：治療内視鏡 内視鏡を用いた治療に関して説明できる	堀川洋平	附属病院第 二病棟2階 多目的室
16	7月6日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：肝癌内科治療の総まとめ 肝癌の内科的治療に関して説明できる	道免孝洋	附属病院第 二病棟2階 多目的室
17	7月6日 (木)	3-4 時限	グループ 学習	テーマ：ディベートアワーの発表準備		附属病院第 二病棟2階 多目的室
18	7月6日 (木)	5-6 時限	グループ 学習	テーマ：ディベートアワーの発表準備		附属病院第 二病棟2階 多目的室
19	7月6日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：ビデオで見る肝胆膵外科 肝胆膵外科手術の動画から、肝胆膵外科手術を理解 する	有田淳一	附属病院第 二病棟2階 多目的室
20	7月6日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：下部消化管疾患の画像診断 下部消化管疾患の画像診断に関して説明できる	下平陽介	附属病院第 二病棟2階 多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
21	7月7日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：肝胆膵領域における超音波診断 肝胆膵領域の疾患の超音波診断に関して説明できる	大嶋重敏	附属病院第 二病棟2階 多目的室
22	7月7日 (金)	3-4 時限	グループ 学習	テーマ：ディベートアワーの発表準備		附属病院第 二病棟2階 多目的室
23	7月7日 (金)	5-6 時限	グループ 学習	テーマ：ディベートアワーの発表準備		附属病院第 二病棟2階 多目的室
24	7月7日 (金)	7-8 時限	全体討議	テーマ：ディベートアワー/消化器癌治療に何を選ぶか 与えられた消化器癌患者さんの情報をもとに、適切な治療に関して議論できる。 (消化器内科の先生も参加します。)	有田淳一 柴田浩行 森菜緒子 佐藤雄亮 渡辺剛	附属病院第 二病棟2階 多目的室
25	7月7日 (金)	9-10 時限	全体討議	テーマ：ディベートアワー/消化器癌治療に何を選ぶか 与えられた消化器癌患者さんの情報をもとに、適切な治療に関して議論できる。 (消化器内科の先生も参加します。)	有田淳一 柴田浩行 森菜緒子 佐藤雄亮 渡辺剛	附属病院第 二病棟2階 多目的室

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：眼科学 (ophthalmology)

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604006

開設学期等：第13週～第13週（毎週月曜日1-10時限）

単位数：0.5

1. 主任教員

岩瀬剛（教授、眼科学講座、6164）

2. 担当教員

岩瀬剛（教授、眼科学講座、6164）

西山俊吾（医員、眼科学講座、6167）

佐藤真理子（医員、眼科学講座、6167）

鎌田竜馬（非常勤講師、真生会富山病院）

佐藤徳子（非常勤講師、なべしま眼科クリニック 副院長）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

緑内障の病態、治療に関する知識深める。

4. 教科書・参考書

現代の眼科学（改訂第13版 所敬 監修 吉田晃敏/谷原秀信 編）金原出版

標準眼科学（第12版 木下茂/中澤満/天野史郎 編）医学書院

5. 成績評価の方法

出席状況、授業態度により評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

教科書・参考書などを利用した予習・復習を心がけてください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：眼科手術 眼科の代表的な手術について、実際の手術動画を用いて詳しく解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白内障手術 ・緑内障手術 ・網膜剥離手術 ・糖尿病網膜症手術 ・斜視手術 	西山俊吾	医学部第二 会議室
2	7月3日 (月)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：眼科手術 眼科の代表的な手術について、実際の手術動画を用いて詳しく解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白内障手術 ・緑内障手術 ・網膜剥離手術 ・糖尿病網膜症手術 ・斜視手術 	西山俊吾	医学部第二 会議室
3	7月3日 (月)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：薬物・薬物治療 薬の種類（薬効や剤形による分類）を学び、病気の原因に効く薬、または病状の改善・コントロールする薬を理解し処方することが出来る。</p>	鎌田竜馬	医学部第二 会議室
4	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：治療・総論 網膜疾患における治療・総論について、理解できるようにする。</p>	岩瀬剛	医学部第二 会議室
5	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：治療・総論 網膜疾患における治療・総論について、理解できるようにする。</p>	岩瀬剛	医学部第二 会議室
6	7月4日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：画像診断 緑内障の発症と病期進行の診断に必要な画像検査とその所見について理解し、説明することができる。</p>	佐藤真理子	医学部第二 会議室
7	7月4日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：視野検査 緑内障における視野検査の方法とその所見について理解し、説明することができる。</p>	佐藤真理子	医学部第二 会議室
8	7月4日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：スクリーニング 弱視の原因となる屈折異常（遠視、乱視、近視）、眼位異常（斜視）について理解し、それを発見することが出来る。</p>	佐藤徳子	医学部第二 会議室
9	7月4日 (火)	7-8 時限	自主学习	テーマ：休講		医学部第二 会議室
10	7月4日 (火)	9-10 時限	自主学习	テーマ：休講		医学部第二 会議室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	7月5日 (水)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：視神経・視野所見</p> <p>緑内障は、視神経と視野に特徴的変化を有する疾患である。診断には、視神経乳頭や網膜神経線維層の形態学的変化や、それに伴う視野障害の検出が重要である。</p> <p>本講義では、緑内障による視神経の機能的構造的異常、視野の検査方法、視野の評価方法、緑内障性視野障害の特徴、視野障害の進行判定、極早期の緑内障性視野障害を検出する特殊視野検査について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑内障性視神経障害 ・視野を読む基本 ・緑内障と視野検査 ・緑内障性視野障害進行の評価 ・特殊視野検査 	佐藤徳子	医学部第二 会議室
12	7月5日 (水)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：前房・隅角の観察</p> <p>緑内障は、他の疾患に原因を求めることのできない原発緑内障、他の疾患あるいは薬物使用が原因で眼圧上昇を生じる続発緑内障、胎生期の隅角發育異常や他の疾患・要因により小児期に眼圧上昇を来す小児緑内障の3病型に分類される。原発緑内障はその眼圧上昇機序から、さらに開放隅角緑内障と閉塞隅角緑内障に分類されるが、いずれも診断には前房・隅角の観察が必要不可欠である。</p> <p>本講義では、隅角の正常な所見、緑内障眼の特徴的な所見、隅角の観察方法について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前房・隅角の構造と役割 ・前房・隅角の観察方法 	佐藤徳子	医学部第二 会議室

分 類：臨床医学アドバンストコース
授業科目名：放射線医学（Medical Imaging and Anatomy）
対象学年：4年次選択
時間割コード：71594002
開設学期等：第13週～第13週（毎週木曜日1-10時限）
単位数：0.5

1. 主任教員

森 菜緒子（教授、北臨床棟1階放射線医学、6179、オフィスアワー：北臨床棟1階放射線科カンファレンスルーム、12時～13時）

2. 担当教員

森 菜緒子（教授、北臨床棟1階放射線医学、6179、オフィスアワー：北臨床棟1階放射線科カンファレンスルーム、12時～13時）

大谷 隆浩（助教、北臨床棟1階放射線医学、6179）

松田 雅純（助教、北臨床棟1階放射線医学、6179）

今野 素子（助教、北臨床棟1階放射線医学、6179）

浅野 友之（医員、北臨床棟1階放射線医学、6179）

古賀 誠（非常勤講師、秋田赤十字病院）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

授業の概要

放射線を用いる画像検査の知識の整理

- 1) 核医学 診断と治療（3－3）
- 2) よく見る疾患の画像診断（3－3）
- 3) 腹部画像診断（3－3）
- 4) 法医CT（3－2）
- 5) 胸部・骨盤の画像診断（3－3）
- 6) 血管造影（3－3）
- 7) 脳・頭頸部の画像診断（3－3）

ねらい

よく見る疾患の画像所見の基本を知る

4. 教科書・参考書

標準放射線医学（医学書院）、必修放射線医学（南江堂）、新臨床X線診断学（医学書院）

5. 成績評価の方法

出席、レポートにより評価する

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

若干の授業変更の可能性があるので、掲示板で確認すること
指定教科書や事前配布資料などで、予習・復習をしておくこと

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月6日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：核医学 診断と治療 核医学検査特に FDG PET-CT の目的、原理、方法、放射性医薬品の物理的・化学的性質等を理解し、これらから得られる核医学画像について臨床的観点から説明できる。	松田 雅純	中央放射線部カンファレンスルーム
2	7月6日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：よく見る疾患の画像診断 遭遇頻度が高く、画像診断が臨床的判断決定において重要な救急疾患を理解し、説明できる。	松田 雅純	中央放射線部カンファレンスルーム
3	7月6日 (木)	5-6 時限	演習	テーマ：小テスト（予習も含め） ・核医学 診断と治療 ・よく見る疾患の画像診断 ・脳頭頸部の画像診断	大谷 隆浩 松田 雅純	中央放射線部カンファレンスルーム
4	7月6日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：腹部画像診断 実際の病院の画像読影システムビューアーを用い、CT 画像 MRI 画像の解剖学的構造、病変部を同定できる。	今野 素子	中央放射線部カンファレンスルーム
5	7月6日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：法医 CT 死後 CT の死因診断における位置づけ、生体と死体とでは CT 検査の正常・異常の差異を理解できる。	浅野 友之	中央放射線部カンファレンスルーム
6	7月7日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：胸部・骨盤の画像診断 胸部、骨盤特に乳腺と婦人科疾患の画像所見を理解し、説明できる。	森 菜緒子	中央放射線部カンファレンスルーム
7	7月7日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：血管造影 血管造影検査および血管内治療の種類、手法と頻度の高い具体例について理解できる。	古賀 誠	中央放射線部カンファレンスルーム
8	7月7日 (金)	5-6 時限	演習	テーマ：小テスト ・胸部・骨盤の画像診断 ・血管造影	森 菜緒子 古賀 誠	中央放射線部カンファレンスルーム
9	7月7日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：脳・頭頸部の画像診断 脳・頭頸部で頻度の高い疾患の画像所見を説明できる。	大谷 隆浩	中央放射線部カンファレンスルーム
10	7月7日 (金)	9-10 時限	演習	テーマ：小テスト ・腹部画像診断 ・法医 CT	今野 素子 浅野 友之	中央放射線部カンファレンスルーム

令和5年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：胸部外科学I (How do We Overcome Lung Cancer?) —呼吸器外科疾患の手術適応と最近の治療法—

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604007

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

南谷佳弘 (教授、胸部外科学講座、6132)

2. 担当教員

南谷佳弘 (教授、胸部外科学講座、6132)

今井一博 (准教授、胸部外科学講座、6132)

高嶋祉之具 (講師、胸部外科学講座、6132)

戸沢香澄 (非常勤講師、由利組合総合病院 呼吸器外科)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

主な呼吸器外科疾患の原因、症候、診断、治療を整理する。

4. 教科書・参考書

標準外科学 (医学書院) など、他

5. 成績評価の方法

出席、学習態度より評価します。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

初日にオリエンテーションを行います。

3年次コアカリ「呼吸器」のプリント (ファイル) を再読してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：オリエンテーション	南谷佳弘	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
2	7月3日 (月)	3-6 時限	講義	テーマ：呼吸器外科手術見学・解説	今井一博	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
3	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：由利組合総合病院の医療	戸沢香澄	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
4	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：最新のトピックス	今井一博	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
5	7月4日 (火)	1-4 時限	実習	テーマ：病棟回診実習・カンファレンスの参加	南谷佳弘	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
6	7月4日 (火)	5-10 時限	演習	テーマ：症例検討、画像診断	今井一博	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
7	7月5日 (水)	1-2 時限	演習	テーマ：縫合実習		臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
8	7月5日 (水)	3-4 時限	演習	テーマ：症例発表、総括		臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：代謝・内分泌内科学（Advance Course of Metabolism and Endocrinology）－内分泌・栄養・代謝疾患の診断技術演習－

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594007

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

協裕典（教授、代謝・内分泌内科学、6769、オフィスアワー：12:00-13:00）

2. 担当教員

協裕典（教授、代謝・内分泌内科学、6769、オフィスアワー：12:00-13:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

糖尿病の病態を理解し、原因、症候、診断と治療を学び画像診断技術を演習し習得する。（3-1～3-4）

4. 教科書・参考書

内科学（朝倉書店）

糖尿病専門医研修ガイドブック（診断と治療社）

内分泌代謝科専門医研修ガイドブック（診断と治療社）

5. 成績評価の方法

レポート、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

3年次臨床医学Ⅱ（加齢と老化、内分泌・栄養・代謝）の講義プリントの内容を復習してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-6時限	講義	テーマ：オリエンテーション	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
2	7月5日 (水)	7-8時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
3	7月5日 (水)	9-10時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
4	7月6日 (木)	1-2時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
5	7月6日 (木)	3-4時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
6	7月6日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
7	7月6日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
8	7月6日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
9	7月7日 (金)	1-2時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
10	7月7日 (金)	3-4時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
11	7月7日 (金)	5-6時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
12	7月7日 (金)	7-8時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)
13	7月7日 (金)	9-10時限	講義	テーマ：耐糖能	脇裕典	カンファレンスルーム (2)

分 類：臨床医学アドバンストコース
授業科目名：小児科学（Clinical genetics）－臨床遺伝学－
対象学年：4年次選択
時間割コード：71594008
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

高橋 勉（教授、小児科学、6157）

2. 担当教員

高橋 勉（教授、小児科学、6157）
高橋 郁子（講師、小児科学、6159）
野口 篤子（医学部講師、小児科学、6159）
小野寺洋平（助教、産婦人科学、6163）
高橋 まや（非常勤講師、市立秋田総合病院 小児科）
納 富 理 絵（非常勤講師、附属病院 看護部）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

臨床現場で必要となる遺伝学の基本的知識を習得する。遺伝学における分子生物学的側面のみならず、倫理的配慮、ヒトの多様性についても多角的に理解し、将来ゲノム医療を実施するに必要な知識と姿勢を身につける。
また、関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBM について学ぶ。

概要（学習目標）

- 1) 染色体異常、メンデル遺伝の様式と代表疾患を説明できる。(3-2, 3-3)
- 2) ミトコンドリア遺伝、トリプレットリピート病、エピソードについてその病態を理解し、代表的疾患を説明できる。(3-2, 3-3)
- 3) 遺伝学的検査の種類と目的について把握する。(4-2)
- 4) 遺伝学における倫理指針、社会的配慮の必要性を理解する。(3-5)
- 5) 生殖細胞変異と体細胞変異の違いを説明できる。(3-2)
- 6) 遺伝カウンセリングの概要を把握する、標準的なルールに準じた家系図を作成できる。(2-1～2-8)
- 7) ゲノムの多様性および多因子遺伝の代表疾患、遺伝要因と環境要因について理解する。代表的な薬理遺伝学における代表的な疾患や薬剤を説明できる。(3-2, 3-3)
- 8) 関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBM について説明できる。(1-1～1-2, 3-1～3-7, 4-1～4-6, 5-1～5-5)

4. 教科書・参考書

- ・トンプソン&トンプソン遺伝医学 福嶋義光 メディカルサイエンスインターナショナル
- ・遺伝医学への招待改訂第5版新川詔夫南江堂
- ・一般外来で遺伝の相談を受けたとき藤田 潤 医学書院
- ・遺伝カウンセラーのための臨床遺伝学講義ノート千代豪昭オーム社

5. 成績評価の方法

出席, レポート

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・受入人数 7～8 人
- ・予習や復習などの準備学習
- ・カリキュラム・場所・担当教員は、変更することがあります。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-6 時限	講義	テーマ：遺伝学 1 出生前診断、NIPT	野口篤子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
2	7月5日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ：遺伝学 2 ミトコンドリア・エピジェネティクス	高橋 勉	南臨床棟 1 階小児科共 用室
3	7月5日 (水)	9-10 時限	講義	テーマ：遺伝学 3 知っておくと役立つ遺伝ガイドライン、指針	高橋 勉	南臨床棟 1 階小児科共 用室
4	7月6日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：遺伝学 4 遺伝カウンセリング	納富理絵	
5	7月6日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：遺伝学 5 産科外来で経験する、出生前診断から分娩までの実際	小野寺洋平	南臨床棟 1 階小児科共 用室
6	7月6日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：遺伝学 6 がんゲノム診療	野口篤子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
7	7月6日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：遺伝学 7 家系図の書き方、ベイズの定理	高橋郁子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
8	7月6日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：遺伝学 8 集団遺伝学、Hardy weinberg の法則	高橋郁子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
9	7月7日 (金)	1-2 時限	実習	テーマ：遺伝学 9 ロールプレイ	高橋まや	南臨床棟 1 階小児科共 用室
10	7月7日 (金)	3-4 時限	実習	テーマ：遺伝学 10 ロールプレイ	高橋まや	南臨床棟 1 階小児科共 用室
11	7月7日 (金)	5-6 時限	自主学习	テーマ：		
12	7月7日 (金)	7-8 時限	自主学习	テーマ：		
13	7月7日 (金)	9-10 時限	自主学习	テーマ：		

分類：臨床医学アドバンスコース

授業科目名：精神科学 (Psychiatry)

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594003

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

三島 和夫 (教授、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

2. 担当教員

三島 和夫 (教授、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

竹島 正浩 (講師、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

今西 彩 (助教、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

伊藤 結生 (助教、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

馬越 秋瀬 (助教、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

小笠原 正弥 (助教、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

石川 勇仁 (医員、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

藤原 大 (医員、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

渡邊 真由美 (、精神科学講座 北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

北島 正人 (非常勤講師、秋田大学教育文化学部地域文化学科 教授)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい

精神障害は児童思春期から老年期に至る全てのライフステージにおいて発症しうる、心理-社会-生物学的疾患である。脳の機能障害や遺伝子異常などの生物学的要因だけでなく、心理的要因や社会的要因が相互に作用して発症する。精神障害の治療においても薬物療法やニューロモデュレーションなどの生物学的介入のほか、精神療法や精神分析などの心理的介入や、作業療法や認知リハビリテーションなどの社会療法が有効である。そのため、精神障害の患者の診療を行う際には生物・心理・社会的要因について多面的に評価を行い、適切な治療介入を行うことが重要である。

治療効果を判定するために精神症状の重症度を評価する必要があるが、精神症状の重症度は身体疾患のように血液検査や脳画像検査では評価ができない。そのため、精神医療では妥当性と信頼性が証明された評価尺度を用いて精神症状を評価する。代表的なものとして、統合失調症では陽性・陰性症状評価尺度、気分障害ではヤング躁病評価尺度 (YMRS) やハミルトンうつ病評価尺度 (HAM-D) などがある。睡眠・覚醒・意識については脳波検査で症状を評価する。これまで睡眠検査のゴールドスタンダードである終夜睡眠ポリグラフは入院下で専門技師のアテンド下でしか実施できなかったが、近年のAI/IoTおよびそれを活用したクラウドコンピューティングの技術革新により、睡眠・活動・生理パラメータを同時かつ非侵襲的、安価に連続測定し、検査結果を短時間で解析して研究や臨床にフィードバックすることが可能となっている。本講義では、精神疾患や睡眠・覚醒障害の診断・評価に必要な診察方法・評価尺度を習得する。(1-1～1-2、2-1～2-3、2-7、3-1～3-3、3-7、4-1～4-4、4-6、5-1～5-3、6-1)

2. 概要 (学修目標)

4・5年次必修講義、臨床実習で学んだ精神科学の内容を基礎にして、精神現象のスペクトラムをより実践的に理解し、その評価法の理論と実際について症例検討・実習等にて習得する。特に、以下の精神疾患の症状評価法とそれに用いる臨床評価尺度を説明できるようにする。(2-1、2-3、3-1～3-3、4-1～4-2、4-4)

(1) 統合失調症

簡易精神症状評価尺度 (Brief Psychiatric Rating Scale; BPRS)

(2) うつ病

ハミルトンうつ病評価尺度 (Hamilton Depression Rating Scale for mood disorders; HAM-D)、ベックうつ病評価尺度 (Beck Depression Inventory; BDI)

(3) 認知症 Mini-Mental State Examination(MMSE)、改訂長谷川式簡易知能評価スケール (Revised Hasegawa Dementia Scale; HDS-R)

(4) 睡眠-覚醒障害

睡眠表、ピッツバーグ睡眠質問票 (Pittsburgh Sleep Quality Index: PSQI)、Morningness-Eveningness Questionnaire (MEQ)、アクチグラフ、終夜脳波、反復睡眠潜時検査 (Multiple Sleep Latency Test(MSLT))

(5) 神経発達障害

Wechsler Intelligence Scale for Children(WISC)、親面接式自閉スペクトラム症評定尺度テキスト改訂版 (PARS-TR)、自閉症スペクトラム指数 (Autism-Spectrum Quotient ; AQ)、ADHD-Rating Scale (ADHD-RS)、The Conners' Adult ADHD Rating Scales (CAARS)

(6) 臨床心理学的検査法

Rorschach テスト、Wechsler Adult Intelligence Scale (WAIS)、Baum-tree テスト

4. 教科書・参考書

4 年次精神科講義資料、診察実習時の資料 (神経疾患診察法)、OSCE クリニカルクラークシップガイドを常に参照できるようにすること。必要に応じて、診断・治療ガイドラインを参照、活用すること。

- ・標準精神医学 (尾崎紀夫 他編 医学書院)
- ・カプラン臨床精神医学テキスト (井上令一 監修メディカル・サイエンス・インターナショナル社)
- ・医学専門雑誌、医学文献・活用を奨励する。

5. 成績評価の方法

レポート発表を行う。レポートは受け持ち患者さんについて指導医から指導を受けながら作成する。

レポート発表の内容を踏まえ、当該患者さんの現症、診断、治療方針等について試問を行う。実習中の服装、参加意欲、態度、理解度も含めて総合的に評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・指定教科書は事前に提示するので、予習して受講すること。
- ・指定教科書に授業の重要なポイントを記載するなどして学修すると、講義後の復習に役立つ。
- ・担当教員の予定により、若干スケジュール等を変更する場合がある。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-6時限	講義	テーマ：睡眠-覚醒障害の病態と診断／デバイス設定と装着 睡眠-覚醒の神経基盤を理解し、睡眠-覚醒障害の病態を説明できる。また、デバイスを用いた睡眠-覚醒の評価技法を理解する。(3-1～3-3、4-1～4-2)	三島 和夫	精神科医局2
2	7月5日 (水)	7-8時限	講義	テーマ：精神疾患の認知・社会機能評価法 精神疾患が与える認知・社会機能への影響を理解し、またその評価方法と使い方を説明できる。(2-1、3-2～3-3)	藤原 大	精神科医局2
3	7月5日 (水)	9-10時限	実習	テーマ：BACS／Cognitrax 精神疾患の病態生理を理解し、認知機能の評価尺度であるBACS/Cognitraxの使い方を説明でき、それらを用いて患者の症状を評価できる。(2-1、3-2～3-3)	藤原 大	精神科医局2
4	7月6日 (木)	1-2時限	講義	テーマ：統合失調症・気分・不安の評価法 統合失調症・気分障害・不安症の病態生理を理解し、臨床評価尺度（陽性・陰性症状評価尺度、ハミルトンうつ病評価尺度、GAD-7など）の使い方を説明でき、それらを用いて患者の症状を評価できる。(2-1、3-2～3-3)	竹島 正浩	精神科医局2
5	7月6日 (木)	3-4時限	実習	テーマ：知能検査・人格検査 心理検査法のうち、Wechsler式知能検査およびロールシャッハ・テストについて、検査内容の実習を通じて実践的理解を深める。(3-3、4-2～4-3、4-7)	渡邊 真由美	精神科医局2
6	7月6日 (木)	5-6時限	実習	テーマ：睡眠覚醒・意識レベルの評価 睡眠-覚醒の神経基盤を理解し、睡眠構造と覚醒度の評価法を説明できる。(3-1～3-3、4-1～4-2)	今西 彩	外来脳波室
7	7月6日 (木)	7-8時限	実習	テーマ：睡眠覚醒・意識レベルの評価 睡眠-覚醒の神経基盤を理解し、睡眠構造と覚醒度の評価法を説明できる。(3-1～3-3、4-1～4-2)	今西 彩	外来脳波室
8	7月6日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：摂食障害の診療と認知行動療法 摂食障害の症状、病態、診断法を理解し、認知行動療法の概略を説明できる。(1-2、2-1～2-3、2-7、3-2～3-3、3-6、4-1～4-4)	馬越 秋瀬	精神科医局2
9	7月7日 (金)	1-2時限	講義	テーマ：児童・思春期の臨床・評価法 神経発達障害の病態生理を理解し、その臨床評価尺度とその使い方を説明できる。(2-1～2-3、3-2～3-3、4-1～4-4)	馬越 秋瀬	精神科医局2
10	7月7日 (金)	3-4時限	講義	テーマ：記憶・記憶力検査 記憶の神経基盤を理解し、記憶力、記憶力の評価尺度と使い方を説明できる。(3-2、4-1～4-2)	北島 正人	精神科医局2
11	7月7日 (金)	5-6時限	講義	テーマ：緩和ケア医療における精神科の役割 緩和ケア医療において必要な知識・技術・態度を理解し、患者・家族と良好な関係を構築するための必要なコミュニケーション能力について概説できる。(2-1、2-3～2-4、2-7、3-1～3-4、4-1～4-3) 緩和ケアにおけるチーム医療の重要性を理解し、精神的支援や他職種との連携等について説明できる。(2-6～2-7、4-7～4-8)	伊藤 結生	精神科医局2

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
12	7月7日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：認知症の評価法 記憶の神経基盤および認知症の病態生理を理解し、認知症の評価尺度 (HDS-R、MMSE、時計描画テストなど) の特徴および用い方について説明できる。(3-2～3-3、4-1～4-3)	石川 勇仁	精神科医 局 2
13	7月7日 (金)	9-10 時限	実習	テーマ：睡眠-覚醒障害の病態と診断／データマイニングと解釈 睡眠-覚醒特性の評価デバイスの使用法とデータ解析法について説明できる。(3-1～3-2、5-1、5-3、6-1～6-2)	小笠原 正弥	精神科医 局 2

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：産婦人科学（Obstetrics and Gynecology）－産婦人科における実地臨床の考え方－

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604014

開設学期等：第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

寺田 幸弘（教授、産婦人科学講座、6160）

2. 担当教員

寺田 幸弘（教授、産婦人科学講座、6160）

熊澤由紀代（准教授、産婦人科学講座、6163）

清水 大（准教授、産婦人科学講座、6163）

三浦 広志（講師、産婦人科学講座、6163）

白澤 弘光（講師、産婦人科学講座、6163）

牧野 健一（助教、産婦人科学講座、6163）

菅原 多恵（助教、産婦人科学講座、6163）

小野寺洋平（助教、産婦人科学講座、6163）

藤嶋 明子（助教、産婦人科学講座、6163）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

一般目標

産婦人科診療において、実践的な知識を身につけることができる。

到達目標

講義の知識を臨床に応用できる。

(2-1～2-7、3-1～3-6、4-1～4-7、5-1～5-4、6-1～6-2)

4. 教科書・参考書

特になし

5. 成績評価の方法

チュートリアルでの評価

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

授業に関連するキーワード

周産期医学、婦人科腫瘍学、生殖内分泌学

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	チュートリアル	テーマ：産科 Dr. によるチュートリアル方式の授業		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム
2	7月3日 (月)	3-4 時限	チュートリアル	テーマ：生殖内分泌 Dr. によるチュートリアル方式の授業		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム
3	7月3日 (月)	5-6 時限	チュートリアル	テーマ：婦人科 Dr. によるチュートリアル方式の 授業		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム
4	7月4日 (火)	1-2 時限	チュートリアル	テーマ：		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム
5	7月4日 (火)	3-4 時限	チュートリアル	テーマ：		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム
6	7月4日 (火)	5-6 時限	チュートリアル	テーマ：		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム
7	7月5日 (水)	1-2 時限	チュートリアル	テーマ：		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム
8	7月5日 (水)	3-4 時限	チュートリアル	テーマ：		第二病棟 5 階カンファ ランス ルーム

分類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：脳神経外科学（Update On New Technology In Clinical Neurosciences）—臨床神経科学における最新テクノロジーの進歩

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604012

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

清水宏明（教授、脳神経外科学講座、6140、オフィスアワー：8:00-17:00）

2. 担当教員

清水宏明（教授、脳神経外科学講座、6140、オフィスアワー：8:00-17:00）

高橋和孝（講師、脳神経外科学講座）

小野隆裕（助教、脳神経外科学講座）

工藤絵里奈（助教、脳神経外科学講座）

富樫俊太郎（助教、脳神経外科学講座）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

臨床神経科学において、近年IT技術の進歩により、高度な先端機器が開発されている。

この実習を通して、実際に体験し、神経科学への興味を深める。

到達目標（SBOs）

(1) 脳波の原理と測定法を理解し、システムの概略を説明できる。(3-2～3-3, 4-1～4-3)

(2) 誘発電位の原理と測定法を理解し、システムの概略を説明できる。(3-2～3-3, 4-1～4-3)

(3) 脳磁図の原理を理解し、測定システムの概略を説明できる。(3-2～3-3, 4-1～4-3)

(4) fMRI・fPETの原理を理解し、測定システムの概略を説明できる。(3-2～3-3, 4-1～4-3)

(5) 神経機能の術中モニタリング法を理解し、臨床応用について説明できる。(3-2～3-3, 4-1～4-3)

(6) コンピューターナビゲーション手術システムの原理を理解し、臨床応用を説明できる。(3-2～3-3, 4-1～4-3)

(7) 関連するプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療法（医療制度）について説明できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5～3-7, 4-4)

4. 教科書・参考書

児玉南海雄 監修：標準脳神経外科学（医学書院）

太田 富雄 編集：脳神経外科学（金芳堂）

田崎 義昭 著：ベッドサイドの神経の診かた（南山堂）

山浦 昌 編集：脳神経外科手術アトラス（医学書院）

Albert L. Rhoton 著：RHOTON Cranial anatomy and surgical approaches 南江堂

宜保浩彦ら 編集：臨床のための脳局所解剖学

5. 成績評価の方法

実習の実施状況で評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習開始までに講義内容を復習してくること。

実習初日は8:20までに第1病棟4Fカンファレンスルームに集合すること。

学生の集合を待ってカンファレンスを開始することはしない。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	実習	テーマ：オリエンテーション	富樫俊太郎	第1病棟4階カンファレンスルーム
2	7月3日 (月)	3-6 時限	実習	テーマ：カンファレンス、手術見学、病棟実習	高橋和孝 小野隆裕 工藤絵里奈 富樫俊太郎	第1病棟4階カンファレンスルーム/手術室
3	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：脳神経外科の実際	清水宏明	医局
4	7月3日 (月)	9-10 時限	全体討議	テーマ：全体討議、実習の内容確認、質疑応答	富樫俊太郎	第1病棟4階カンファレンスルーム
5	7月4日 (火)	1-6 時限	実習	テーマ：カンファレンス、症例検討会、手術見学	高橋和孝 小野隆裕 工藤絵里奈 富樫俊太郎	第1病棟4階カンファレンスルーム/手術室
6	7月4日 (火)	7-8 時限	実習	テーマ：定位放射線治療	高橋和孝 工藤絵里奈	医局
7	7月4日 (火)	9-10 時限	実習	テーマ：顕微鏡実習、ハンズオンセミナーなど	高橋和孝 小野隆裕 工藤絵里奈 富樫俊太郎	医局
8	7月5日 (水)	1-6 時限	実習	テーマ：カンファレンス、症例検討会、手術見学	高橋和孝 小野隆裕 工藤絵里奈 富樫俊太郎	第1病棟4階カンファレンスルーム/手術室
9	7月5日 (水)	7-8 時限	実習	テーマ：血管内治療の実際	富樫俊太郎	医局
10	7月5日 (水)	9-10 時限	全体討議	テーマ：実習総括	富樫俊太郎	医局

分 類：臨床医学アドバンストコース
授業科目名：腎泌尿器科学（Clinical Practice of Urology）
対象学年：4年次選択
時間割コード：71604013
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

羽 瀧 友 則（教授、腎泌尿器科学講座、6154、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）

2. 担当教員

羽 瀧 友 則（教授、腎泌尿器科学講座、6154、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）
成田伸太郎（准教授、腎泌尿器科学講座、6239、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）
齋 藤 満（准教授、血液浄化療法部、6435、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）
沼 倉 一 幸（講師、腎泌尿器科学講座、6460、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）
奈 良 健 平（助教、腎泌尿器科学講座、3464、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）
山 本 竜 平（助教、腎泌尿器科学講座、3404、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）
小 林 瑞 貴（助教、腎泌尿器科学講座、3404、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 目的 (GIO)

泌尿器科学の臨床における重要な疾患についての症候、病態、治療法に関する理解を深める。

2. 到達目標 (SBOs) (3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5)

泌尿器科診断に必要な画像診断を実践的に理解する。

主な泌尿器科疾患の診断と治療に関する decision making を実践的に理解する。

主な泌尿器科手術の基本を理解する。

主な泌尿器疾患の現在の課題を抽出し、科学的手法で解決策を検討する。さらに見出した解決策を国内外で発信することを目標にする。

4. 教科書・参考書

Campbell 's Urology 11th ed. Alan J. Wein, et al. (eds), Saunders
ベッドサイド泌尿器科学改訂第4版吉田修南江堂
講義録泌尿器科学荒井陽一, 小川修メジカルビュー社
腎移植のすべて高橋公太メジカルビュー社

5. 成績評価の方法

出席や実習態度により総合的に評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

髪、服装、身だしなみに注意すること。サンダル履きは不可。

水曜日 13:00 に泌尿器科医局に集合。

評価は金曜日外来実習時に行う。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-10 時限	講義	テーマ：泌尿器科講義 泌尿器腫瘍学講義 泌尿器科手術	成田伸太郎	手術室
2	7月6日 (木)	1-4 時限	全体討議	テーマ：泌尿器科カンファランス 泌尿器科外来画像カンファランス 泌尿器科症例カンファランス リサーチカンファランス 抄読会	成田伸太郎	泌尿器科カンファランスルーム
3	7月6日 (木)	5-10 時限	講義	テーマ：泌尿器科講義 泌尿器腫瘍学講義 泌尿器科手術	沼倉一幸	手術室
4	7月7日 (金)	1-4 時限	講義	テーマ：腎代替療法・泌尿器科診療 腎移植、透析療法について理解を深める 泌尿器科外来診療について理解を深める	齋藤 満	血液浄化療法部、外来
5	7月7日 (金)	5-10 時限	演習	テーマ：泌尿器低侵襲手術 腹腔鏡手術縫合実技 ロボット手術シミュレーター	齋藤 満	シミュレーションセンター

分 類：臨床医学アドバンストコース
授業科目名：胸部外科学Ⅱ（Recent topics in the breast disease）
対象学年：4年次選択
時間割コード：71604009
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座、6127）

2. 担当教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座、6127）

寺田かおり（講師、乳腺・内分泌外科、6132）

高橋絵梨子（助教、乳腺・内分泌外科、6132）

山口歩子（医員、乳腺・内分泌外科、6132）

今野ひかり（医員、乳腺・内分泌外科、6132）

森下 葵（医員、乳腺・内分泌外科、6132）

伊藤 亜樹（非常勤講師、秋田赤十字病院 乳腺外科、6132）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

乳腺疾患ならびに最近のトピックスについて知識を深める。

4. 教科書・参考書

標準外科学（医学書院）など、その他

5. 成績評価の方法

出席状況、学習態度、レポート等で評価します。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

初日のオリエンテーション時に、授業の予定を通知します。

3年次必修講義「乳房」で配布しましたプリントを再読してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-6 時限	演習	テーマ：オリエンテーション	寺田かおり	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
2	7月5日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ：乳腺の解剖、生理	寺田かおり	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
3	7月5日 (水)	9-10 時限	講義	テーマ：秋田赤十字病院の乳癌診療について 具体的到達目標：乳腺診療の流れを理解できる 学習目標：秋田赤十字病院における乳癌診療の実際を 学び、考えることができる	伊藤亜樹	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
4	7月6日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：乳腺の画像診断、検査	高橋絵梨子	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
5	7月6日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：乳腺の良性疾患	寺田かおり	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
6	7月6日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：マンモグラフィーについて	寺田かおり	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
7	7月6日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：乳癌の治療	寺田かおり	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
8	7月6日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：乳腺の最近のトピックス	寺田かおり	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
9	7月7日 (金)	1-4 時限	実習	テーマ：外来・病棟実習	高橋絵梨子	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム
10	7月7日 (金)	5-10 時限	実習	テーマ：手術見学	寺田かおり	臨床棟 3F 外科カン ファレンス ルーム

令和5年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：皮膚科学・形成外科学（Dermatology・Plastic surgery）－皮膚科治療学の基本－

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594004

開設学期等：第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

河野 通浩（教授、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

2. 担当教員

河野 通浩（教授、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

野口 奈津子（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

加藤 真紀（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

山川 岳洋（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

能 登 舞（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

豊島 あや（助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

（1）皮膚科にはどういった疾患があるか、皮膚科全般の臨床現場を経験する。【4-2）、4-6）】

（2）皮膚科医の役割についてのオリエンテーションを行い、理解した上で、外来・病棟・手術業務を見学する。【4-2）、4-6）】

（3）（1）～（2）を経験しながら、EBM、医の倫理、医療安全についても学ぶ。【1-1）、3-5）、4-4）】

4. 教科書・参考書

・シンプル皮膚科学（眞鍋 求/梅林芳弘，南江堂）

・あたらしい皮膚科学（清水 宏，中山書店）

・皮膚外科学（日本皮膚外科学会）

5. 成績評価の方法

講義：「出席」

実習：「態度、出席」

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

皮膚科にはどういった疾患があるか、また皮膚科医の役割について予習しておくこと。

担当教員の予定により、若干変更する場合がある。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-6時限	自主学习	テーマ:		
2	7月5日 (水)	7-8時限	自主学习	テーマ:		
3	7月5日 (水)	9-10時限	自主学习	テーマ:		
4	7月6日 (木)	1-2時限	実習	テーマ:オリエンテーション 1. 皮膚科にはどういった疾患があるか【3-1)、3-2)】 2. 開業医院-総合病院-大学病院での連携がどうなっているか【4-8)】 3. 大学病院皮膚科で行っている治療について【3-1)】	山川 岳洋	皮膚科外来 カンファラ ンスルーム
5	7月6日 (木)	3-4時限	実習	テーマ:外科の治療 手術着に着替え、中央手術室にて手術を見学する。【4-2)、4-6)、4-7)】	能登 舞	中央手術室
6	7月6日 (木)	5-6時限	実習	テーマ:外用療法 皮膚科ではステロイド外用薬、抗真菌外用薬、抗潰瘍外用薬など、様々な外用薬を使うので、その使い方について学ぶ。【3-2)】	豊島 あや	皮膚科外来 カンファラ ンスルーム
7	7月6日 (木)	7-8時限	実習	テーマ:外用療法 皮膚科ではステロイド外用薬、抗真菌外用薬、抗潰瘍外用薬など、様々な外用薬を使うので、その使い方について学ぶ。【3-2)】	豊島 あや	皮膚科外来 カンファラ ンスルーム
8	7月6日 (木)	9-10時限	実習	テーマ:外用療法 皮膚科ではステロイド外用薬、抗真菌外用薬、抗潰瘍外用薬など、様々な外用薬を使うので、その使い方について学ぶ。【3-2)】	豊島 あや	皮膚科外来 カンファラ ンスルーム
9	7月7日 (金)	1-2時限	講義	テーマ:皮膚科外来診療 皮膚科外来担当医について、様々な皮膚疾患に対する診療を見学する。【4-2)】	山川 岳洋	皮膚科外来
10	7月7日 (金)	3-4時限	講義	テーマ:皮膚科外来診療 皮膚科外来担当医について、様々な皮膚疾患に対する診療を見学する。【4-2)】	山川 岳洋	皮膚科外来
11	7月7日 (金)	5-6時限	講義	テーマ:皮膚腫瘍 代表的な皮膚腫瘍とその治療について。【3-1)、3-2)】	加藤 真紀	皮膚科外来 カンファラ ンスルーム
12	7月7日 (金)	7-8時限	講義	テーマ:皮膚腫瘍 代表的な皮膚腫瘍とその治療を学ぶ。【3-1)、3-2)】	加藤 真紀	皮膚科外来 カンファラ ンスルーム
13	7月7日 (金)	9-10時限	講義	テーマ:総括 本実習のまとめを行う。【4-5)】	加藤 真紀	皮膚科医局

分類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学（Advanced Course in Rhinology and Head and Neck, Otolaryngology）

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604010

開設学期等：第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

山田武千代（教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6168）

2. 担当教員

山田武千代（教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6168）

鈴木真輔（准教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6169）

川嶋洋平（講師、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171）

小泉洸（助教、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171）

椎名和弘（助教、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171）

高橋辰（非常勤講師、高橋耳鼻咽喉科眼科クリニック）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. アレルギー性鼻炎、鼻・副鼻腔、喉頭、頭頸部疾患の病態・治療に関する知識を深める。（3-1,2,3,5,6）（4-2,3,4,5,6）

1) 花粉症とアレルギー性鼻炎、内視鏡下鼻内副鼻腔手術に必要な鼻・副鼻腔解剖を理解する。

2) 内視鏡を含めた耳鼻咽喉科診察。

3) 音声障害の病態と治療法を理解する。

4) 頭頸部腫瘍の病態と治療法の知識を深める。

2. 難聴および前庭障害の病態を理解するとともに、障害をもたらす社会的影響を把握し、いろいろな対応策について説明できる。

（3-1,2,3,5,6）（4-2,3,4,5,6）

1) 側頭骨解剖を理解する。

2) 耳疾患の検査法とその特徴について説明できる。

3) 難聴への対応を説明できる。

4) 難聴の遺伝子異常について説明できる。

5) 前庭障害の診断と対応を理解する。

4. 教科書・参考書

新図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座

耳鼻咽喉科頭頸部手術アトラス

新耳鼻咽喉科学（南山堂）

めまい 改定第2版 Thomas Brandt 著 診断と治療社 2003

きこえと遺伝子（改訂第2版）：難聴の遺伝子診断とその社会的貢献（金原出版）

よくわかる聴覚障害 難聴と耳鳴のすべて（永井書店）

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問、自己評価的テスト、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学は今や国民病と云われる花粉症、2人に1人となったアレルギー性鼻炎、国民の20～30%が難聴。また頻度の高い咽頭喉頭頸部などの癌を広く扱う科です。また気道（上・下とも）を扱うため救命にも重要な役割を担っています。加えて脳神経すべてを扱うため、人生の幸福やQOLと深く関係しており学問的にも、解剖学、生理学、生化学、癌研究、薬理学、統計学が重要です。実際の臨床を想定して予習と復習を行うことにより医学への興味が増強します。2週間必要な実習が3日間に短縮されました。予習復習で補ってください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2時限	講義	テーマ：頭頸部腫瘍と内視鏡手術 頭頸部腫瘍の病態と治療法の知識を深める。 内視鏡を含めた耳鼻咽喉科診察。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	川嶋洋平	臨床棟2階 カンファレンス室
2	7月3日 (月)	3-4時限	講義	テーマ：アレルギー性鼻炎、鼻副鼻腔疾患、内視鏡下鼻副鼻腔手術 花粉症とアレルギー性鼻炎、内視鏡下鼻内副鼻腔手術に必要な鼻・副鼻腔解剖を理解する。 内視鏡を含めた耳鼻咽喉科診察。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	山田武千代	臨床棟2階 カンファレンス室
3	7月3日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：音声障害 音声障害の病態と治療法を理解する。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	鈴木真輔	臨床棟2階 カンファレンス室
4	7月3日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：頭頸部腫瘍、顔面外傷 頭頸部腫瘍の病態と治療法の知識を深める。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	鈴木真輔	臨床棟2階 カンファレンス室
5	7月3日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：唾液腺疾患の診断と治療 頭頸部腫瘍の病態と治療法の知識を深める。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	川嶋洋平	臨床棟2階 カンファレンス室
6	7月4日 (火)	1-2時限	講義	テーマ：めまいの代表的疾患 前庭障害の診断と対応を理解する。 (3-1,2,3,5,6)	小泉 洸	臨床棟2階 カンファレンス室
7	7月4日 (火)	3-4時限	講義	テーマ：前庭検査 前庭障害の診断と対応を理解する。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	椎名和弘	臨床棟2階 カンファレンス室
8	7月4日 (火)	5-6時限	講義	テーマ：気道疾患と睡眠時無呼吸について学ぶ。	川嶋洋平	臨床棟2階 カンファレンス室
9	7月4日 (火)	7-8時限	講義	テーマ：遺伝子異常と難聴 難聴の遺伝子異常について説明できる。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	椎名和弘	臨床棟2階 カンファレンス室
10	7月4日 (火)	9-10時限	講義	テーマ：難聴とその対応 耳疾患の検査法とその特徴について説明できる。 難聴への対応を説明できる。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	高橋 辰	臨床棟2階 カンファレンス室
11	7月5日 (水)	1-2時限	講義	テーマ：耳科学総論、各論 側頭骨解剖を理解する。 耳疾患の検査法とその特徴について説明できる。 難聴への対応を説明できる。 難聴の遺伝子異常について説明できる。 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)	山田武千代	臨床棟2階 カンファレンス室
12	7月5日 (水)	3-4時限	講義	テーマ：形成評価を行う。	山田武千代	臨床棟2階 カンファレンス室

分類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：小児外科学 (pediatric surgery)

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604011

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

水野 大 (病院教授、小児外科学講座、3447、オフィスアワー：水曜日 15時～16時)

2. 担当教員

水野 大 (病院教授、小児外科学講座、3447、オフィスアワー：水曜日 15時～16時)

森井真也子 (医学部講師、小児外科学講座、6141、オフィスアワー：火曜日 15時～16時)

渡部 亮 (助教、小児外科学講座、6142、オフィスアワー：火曜日 15時～16時)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

授業の狙い

臨床現場で必要となる小児外科疾患の病態を習得して診察を実践していくために、症例カンファランスを通して小児呼吸器外科疾患、消化器外科疾患、肝胆道疾患、悪性固形腫瘍について、基礎医学で学ぶ人体発生学、解剖学と関連付けながら、疾病の発生過程を理解するとともにこれら疾患について診断、治療法を理解する。

また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法 (制度)、EBM について学ぶ。(1-1～1-2、2-3～2-7、3-1～3-7、4-1～4-4、6-1～6-2)

概要

1. 医師の職責を十分に自覚することができる
2. 自分の役割を理解し、班員と友好的な関係性を築き、協力して実習を進めることができる。
3. 班員との対話や口頭試問において、相手の話をよく聞き、問題点を把握することができる。
4. 班員との対話や口頭試問において、話す相手に内容をわかりやすく説明することができる。
5. 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる
6. 染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。
7. 臓器不全を説明できる。
8. 癌の原因や遺伝子変化を説明できる。
9. 癌の診断と治療を概説できる。
10. 肺循環と体循環の違いを説明できる。
11. 胃食道逆流症と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。
12. 肥厚性幽門狭窄症を概説できる。
13. 急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。
14. 大腸の主な先天性疾患を概説できる。
15. 腸重積症を概説できる。
16. 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。
17. ヘルニアの概念、病態と好発部位を説明できる。
18. 鼠径部ヘルニアの病院、病態、診断と治療を説明できる。
19. 体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。
20. 神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍との鑑別点を説明できる。
21. 腫瘍の集学的治療を概説できる。
22. 胎児の循環・呼吸の生理学的特徴と出生時の変化を説明できる。
23. 主な先天性疾患を列挙できる。

24. 新生児の生理的特徴を説明できる。
25. 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。
26. 新生児の呼吸障害の病因を列挙できる。
27. 低出生体重児固有の疾患を概説できる。
28. 乳幼児の生理機能の発達を説明できる。
29. 小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。
30. 本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBM について説明、実践できる。

4. 教科書・参考書

標準小児外科学（医学書院）

スタンダード小児外科手術（メジカルビュー）

スタンダード小児内視鏡外科手術（メジカルビュー）

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問（実習中随時行われる質疑応答）、CC-EPOC 入力状況、ミニ CEX、レポート、出席で総合評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

基礎医学で学ぶ人体発生学、解剖学、生理学を復習しておくこと。

3年時に講義した成長と発達を復習しておくこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	全体討議	テーマ：小児外科症例カンファレンス1 新生児呼吸器外科疾患について症例カンファレンス形式で学習する。 提示された疾患が関わる臓器の正常発生、構造について概説できる。 提示された疾患の発生、病態、症状、診断、治療について概説できる。	水野 大	臨床研究棟 3階 外科 カンファレンスルーム
2	7月3日 (月)	3-4 時限	全体討議	テーマ：小児外科症例カンファレンス2 新生児消化器外科疾患について症例カンファレンス形式で学習する。 提示された疾患が関わる臓器の正常発生、構造について概説できる。 提示された疾患の発生、病態、症状、診断、治療について概説できる。	森井真也子	臨床研究棟 3階 外科 カンファレンスルーム
3	7月3日 (月)	5-6 時限	全体討議	テーマ：小児外科症例カンファレンス3 新生児消化器外科疾患について症例カンファレンス形式で学習する。 提示された疾患が関わる臓器の正常発生、構造について概説できる。 提示された疾患の発生、病態、症状、診断、治療について概説できる。	水野 大	臨床研究棟 3階 外科 カンファレンスルーム
4	7月3日 (月)	7-8 時限	全体討議	テーマ：小児外科症例カンファレンス4 新生児消化器外科疾患について症例カンファレンス形式で学習する。 提示された疾患が関わる臓器の正常発生、構造について概説できる。 提示された疾患の発生、病態、症状、診断、治療について概説できる。	渡部 亮	臨床研究棟 3階 外科 カンファレンスルーム
5	7月4日 (火)	1-2 時限	全体討議	テーマ：小児外科症例カンファレンス5 新生児腹壁異常疾患について症例カンファレンス形式で学習する。 提示された疾患が関わる臓器の正常発生、構造について概説できる。 提示された疾患の発生、病態、症状、診断、治療について概説できる。	水野 大	臨床研究棟 3階 外科 カンファレンスルーム
6	7月4日 (火)	3-4 時限	全体討議	テーマ：小児外科症例カンファレンス6 小児悪性固形腫瘍疾患について症例カンファレンス形式で学習する。 提示された疾患が関わる臓器の正常発生について概説できる。 提示された疾患の発生、病態、症状、診断、治療について概説できる。	渡部 亮	臨床研究棟 3階 外科 カンファレンスルーム
7	7月4日 (火)	5-6 時限	全体討議	テーマ：小児外科症例カンファレンス7 小児胆道外科疾患について症例カンファレンス形式で学習する。 提示された疾患が関わる臓器の正常発生、構造について概説できる。 提示された疾患の発生、病態、症状、診断、治療について概説できる。	森井真也子	臨床研究棟 3階 外科 カンファレンスルーム

令和5年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：総合診療・検査診断学（Clinical Reasoning and Laboratory Medicine）－感染・免疫アレルギー・総合診療アドバンスト

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594005

開設学期等：第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

2. 担当教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

嵯峨知生（病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8：30～17：00）

守時由起（准教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

嵯峨亜希子（助教、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

藤岡優樹（助教、附属病院中央検査部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

佐々木智子（特任助教、総合診療医センター、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

主訴と病歴および患者背景から臨床的問題点を抽出し、可能性のある疾患・病態を列挙でき、適切な臨床検査を選択できる。(3-2～3-3, 4-1～4-2)

さらに、本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明・実践できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4)

4. 教科書・参考書

5. 成績評価の方法

出席、発表および課題提出

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

受入予定人数：6名

診断学、検査学、一般内科を予習しておくとうい。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	グループ 学習	テーマ：オリエンテーション	植木重治	南臨床研究 棟 4 F
2	7月3日 (月)	3-4 時限	グループ 学習	テーマ：ケース・スタディ 1	植木重治	中央検査部 カンファ ランス室
3	7月3日 (月)	5-6 時限	実習	テーマ：総合診療	植木重治	南臨床研究 棟 4 F
4	7月3日 (月)	7-8 時限	グループ 学習	テーマ：ケース・スタディ 2	守時由起	中央検査部 カンファ ランス室
5	7月3日 (月)	9-10 時限	グループ 学習	テーマ：ケース・スタディ 3	藤岡優樹	中央検査部 カンファ ランス室
6	7月4日 (火)	1-2 時限	グループ 学習	テーマ：ケーススタディ 4	嵯峨知生	中央検査部 カンファ ランス室
7	7月4日 (火)	3-4 時限	グループ 学習	テーマ：ケース・スタディ 5	佐々木智子	中央検査部 カンファ ランス室
8	7月4日 (火)	5-6 時限	グループ 学習	テーマ：ケース・スタディ 6	嵯峨亜希子	中央検査部 カンファ ランス室
9	7月4日 (火)	7-8 時限	グループ 学習	テーマ：ケース・スタディ 7	嵯峨知生	中央検査部 カンファ ランス室
10	7月4日 (火)	9-10 時限	自主学習	テーマ：プレゼンテーション 準備	嵯峨知生	中央検査部 カンファ ランス室
11	7月5日 (水)	1-2 時限	グループ 学習	テーマ：ポートフォリオ	植木重治	中央検査部 カンファ ランス室
12	7月5日 (水)	3-4 時限	全体討議	テーマ：フィードバック	植木重治	南臨床研究 棟 4F

分類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：麻酔・蘇生・疼痛管理学 心肺脳蘇生セミナー (Anesthesia and Intensive Care Medicine)

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594006

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

新山 幸俊 (教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

2. 担当教員

新山 幸俊 (教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

木村 哲 (病院教授、医療安全管理部、6173、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

山本 夏子 (助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

中島 麻衣子 (助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

今野 俊宏 (医員、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

越村 裕美 (非常勤講師、市立秋田総合病院、6175)

根本 晃 (非常勤講師、大曲厚生医療センター、6175)

鶴沼 篤 (非常勤講師、市立秋田総合病院、6175)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

ねらい：全身麻酔、局所麻酔の基本を学ぶ。麻酔管理に必要な知識、技術は広く医療全般に有用であることを理解し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を獲得する。

概要：以下の項目を習得することを目標とする。

1. 高齢者の周術期管理について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)
2. 脳死の定義と脳死判定を概説できる。(1-1～1-2, 3-1～3-4, 4-1～4-4)
3. 緩和医療について概説できる。(1-1～1-2, 3-1～3-4, 4-1～4-4)
4. 新しい教育システムについて学ぶ。(6-1～6-2)
5. 術後疼痛管理について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)
6. ペインクリニックにおける最近の話題について学ぶ。(3-1～3-4, 4-1～4-4,)
7. 麻酔科領域における基礎研究について学ぶ。(4-4, 5-1～5-5)
8. 腎移植の麻酔管理について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)
9. 分離肺換気の麻酔管理について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)
10. 硬膜外麻酔と脊髄くも膜下麻酔の手技について学ぶ。(3-1～3-3, 4-1～4-3, 4-6)
11. 麻酔科関連領域について概説できる。(3-7)
12. 最近の麻酔および周術期管理に関するエビデンスやガイドラインについて概説できる。(3-3, 4-3)
13. 関連するプロフェッショナルリズムを学ぶ。(2-1～2-8)

4. 教科書・参考書

臨床麻酔科学書 (中山書店)

標準麻酔科学 第7版 (医学書院)

Miller's Anesthesia 9th edition (Elsevier)

5. 成績評価の方法

統一試験、客観試験、レポート、出席など

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 事前に授業内容を教科書で予習し、授業後には理解できなかった点を復習してください。
2. 疑問点はいつでも担当教員に質問してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-6時限	講義	テーマ：オリエンテーション～高齢者の周術期管理～ 学修目標 1. 高齢者の周術期管理について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)	新山 幸俊	総合研究棟 5 講義室
2	7月5日 (水)	7-8時限	講義	テーマ：脳死と脳死判定 学修目標 1. 脳死の定義と脳死判定を概説できる。(1-1～1-2, 3-1～3-4, 4-1～4-4)	木村 哲	総合研究棟 5 講義室
3	7月5日 (水)	9-10時限	講義	テーマ：緩和医療概論 学修目標 1. 緩和医療について概説できる。(1-1～1-2, 3-1～3-4, 4-1～4-4)	越村 裕美	総合研究棟 5 講義室
4	7月6日 (木)	1-2時限	自主学習	テーマ：自主学習：レポート作成 学修目標 1 ここまでの講義内容を復習し、知識を整理する。 2 講義についてのレポートを作成する。	新山 幸俊	総合研究棟 5 講義室
5	7月6日 (木)	3-4時限	講義	テーマ：新しい教育システム 学修目標 1. われわれが導入を検討している新しい教育システムについて学ぶ。(6-1～6-2)	鷗沼 篤	総合研究棟 5 講義室
6	7月6日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：術後疼痛管理 学修目標 1. 集中治療における麻酔科医の立ち位置について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)	今野 俊宏	総合研究棟 5 講義室
7	7月6日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：ペインクリニック【各論】 学修目標 1. ペインクリニックにおける最近の話題について学ぶ。(3-1～3-4, 4-1～4-4)	根本 晃	総合研究棟 5 講義室
8	7月6日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：麻酔科領域における基礎研究 学修目標 1. 麻酔科領域における基礎研究について学ぶ。(4-4, 5-1～5-5)	根本 晃	総合研究棟 5 講義室
9	7月7日 (金)	1-2時限	自主学習	テーマ：自主学習：レポート作成 学修目標 1 ここまでの講義内容を復習し、知識を整理する。 2 講義についてのレポートを作成する。	新山 幸俊	総合研究棟 5 講義室
10	7月7日 (金)	3-4時限	講義	テーマ：腎移植の麻酔管理 学修目標 1. 腎移植の麻酔管理について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)	山本 夏子	総合研究棟 5 講義室
11	7月7日 (金)	5-6時限	講義	テーマ：分離肺換気の麻酔管理 学修目標 1. 分離肺換気の麻酔管理について概説できる。(3-1～3-4, 4-1～4-4)	中島 麻衣子	総合研究棟 5 講義室
12	7月7日 (金)	7-8時限	実習	テーマ：実習 学修目標 1 硬膜外麻酔と脊髄くも膜下麻酔の手技について学ぶ。(3-1～3-3, 4-1～4-3, 4-6)	新山 幸俊	シミュレーション教育センター 2F 基礎手技室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
13	7月7日 (金)	9-10 時限	講義	テーマ：総括 学修目標 1. 麻酔科関連領域について概説できる。(3-7)	新山 幸俊	シミュレーション教育 センター 2F 基礎 手技室

令和5年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：血液・腎臓・膠原病内科学（Hematology, Nephrology, and Rheumatology）

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594001

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

高橋直人（教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6111、オフィスアワー：8:30-17:00）

2. 担当教員

高橋直人（教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6111、オフィスアワー：8:30-17:00）

奈良美保（講師、輸血部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00）

池田翔（講師、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

北舘明宏（講師、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

山下鷹也（助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

齋藤雅也（助教、臨床研究支援センター、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

阿部史人（助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

齋藤綾乃（助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

小林五十鈴（特任助教、総合臨床教育研修センター、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

金澤達郎（医員、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

血液疾患、腎臓疾患、および膠原病における主要症候を理解し、症候から診断へ結びつけられる基礎的能力を習得する。
(3-1～3-4)

クリニカルクラークシップに向けて、臨床的な思考能力を習得する。(4-1, 5-1～5-5)

4. 教科書・参考書

1) ハリソン内科学

2) 朝倉内科学

3) 症状から診る内科疾患、メジカルビュー社

5. 成績評価の方法

統一試験、形成試験、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

授業で使用するスライドはすべて授業開始前に WebClass に upload します。予習復習を行って下さい。

このコースを通じて、血液、腎臓、膠原病のもっと深い部分を感じていただけたらと思います。この内容は、担当者が変更になることがあります。

(定員: 20 名)

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：オリエンテーション	高橋 直人	基礎棟 1 階 第一会議室
2	7月3日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 骨髄腫	池田 翔	基礎棟 1 階 第一会議室
3	7月3日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 貧血	小林 五十 鈴	基礎棟 1 階 第一会議室
4	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 出血/凝固疾患	奈良 美保	基礎棟 1 階 第一会議室
5	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 白血病/移植	山下 鷹也	基礎棟 1 階 第一会議室
6	7月4日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 膠原病	阿部 史人	基礎棟 1 階 第一会議室
7	7月4日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 膠原病	齋藤 綾乃	基礎棟 1 階 第一会議室
8	7月4日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：ケーススタディ リンパ腫	北舘 明宏	基礎棟 1 階 第一会議室
9	7月4日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 腎	金澤 達郎	基礎棟 1 階 第一会議室
10	7月4日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：ケーススタディ 腎	齋藤 雅也	基礎棟 1 階 第一会議室
11	7月5日 (水)	1-2 時限	講義	テーマ：ケーススタディ CML/CMPD	高橋 直人	基礎棟 1 階 第一会議室
12	7月5日 (水)	3-4 時限	形成評価	テーマ：形成試験と総括	山下 鷹也	基礎棟 1 階 第一会議室

令和5年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類：臨床医学アドバンストコース
授業科目名：循環器内科学（Cardiovascular）
対象学年：4年次選択
時間割コード：71594009
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

渡邊 博之（教授、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

2. 担当教員

渡邊 博之（教授、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

寺田 健（講師、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

鈴木 智人（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

高木 祐介（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

岩川 英弘（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

循環器疾患の基本的技能である心電図・画像所見の読影能力を深め、代表的な検査手技を実際に体験する。

また循環器カンファレンスに参加することでプロフェッショナリズム、医療行動科学、医療安全、医療倫理、EBMについても学ぶ。

（1-1.2, 2-4, 3-1.2.3.4.5.6.7, 4-3, 4.5）

4. 教科書・参考書

内科学（朝倉書店）

内科診断学（南江堂）

内科診断学（医学書院）

Navigate 循環器疾患（医学書院）

病気が見える循環器（メディックメディア）

臨床循環器学（文光堂）

5. 成績評価の方法

出席状況、指導医による評価など。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

授業の前に教科書や参考書で事前に勉強してください。

コース内容や講師については変更となる場合があります。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	7-8 時限	実習	テーマ：カンファレンス聴講 実際の症例から、循環器（心血管）系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と初期対応を中心とした治療を学ぶ。	渡邊 博之	教授室、医局、Web 部屋
2	7月5日 (水)	9-10 時限	実習	テーマ：カンファレンス聴講 実際の症例から、循環器（心血管）系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と初期対応を中心とした治療を学ぶ。	渡邊 博之	教授室、医局、Web 部屋
3	7月6日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：循環器画像診断 1 実際の症例を通して、胸部単純エックス線撮影写真の主な所見を説明できる。 心臓シンチグラフィを説明できる。 冠動脈造影、冠動脈コンピュータ断層撮影 CT 及び心臓磁気共鳴画像法 MRI の主な所見を説明できる。	岩川 英弘	南臨床棟 5 階カンファレンス ルーム
4	7月6日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：循環器画像診断 2 実際の症例を通して、胸部単純エックス線撮影写真の主な所見を説明できる。 心臓シンチグラフィを説明できる。 冠動脈造影、冠動脈コンピュータ断層撮影 CT 及び心臓磁気共鳴画像法 MRI の主な所見を説明できる。	岩川 英弘	南臨床棟 5 階カンファレンス ルーム
5	7月6日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：心電図 1 実際の症例を通して、心電図の主な所見を説明できる。	寺田 健	南臨床棟 5 階カンファレンス ルーム
6	7月6日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：心電図 2 実際の症例を通して、心電図の主な所見を説明できる。	寺田 健	南臨床棟 5 階カンファレンス ルーム
7	7月7日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：構造的な心疾患のカテーテル治療 1 構造的な心疾患のカテーテル治療について、適応と治療を説明できる。	高木 祐介	南臨床棟 5 階カンファレンス ルーム
8	7月7日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：構造的な心疾患のカテーテル治療 2 構造的な心疾患のカテーテル治療について、適応と治療を説明できる。	高木 祐介	南臨床棟 5 階カンファレンス ルーム
9	7月7日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：心臓カテーテル実習 1 実際の症例を通して、冠動脈造影の主な所見を説明できる。 心カテーテル検査（心内圧、心機能、シャント率の測定）と結果の解釈を説明できる。	鈴木 智人	シミュレーション教育センター
10	7月7日 (金)	9-10 時限	講義	テーマ：心臓カテーテル実習 2 実際の症例を通して、冠動脈造影の主な所見を説明できる。 心カテーテル検査（心内圧、心機能、シャント率の測定）と結果の解釈を説明できる。	鈴木 智人	シミュレーション教育センター

分 類：臨床医学アドバンストコース
授業科目名：呼吸器内科学（Respiratory Medicine）
対象学年：4年次選択
時間割コード：71594018
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

中山勝敏（教授、呼吸器内科学講座、7510）

2. 担当教員

中山勝敏（教授、呼吸器内科学講座、7510）
佐藤一洋（特任准教授、呼吸器内科学講座、7510）
竹田正秀（講師、呼吸器内科学講座、7510）
奥田佑道（特任助教、高齢者医療先端研究センター、7510）
浅野真理子（特任助教、高齢者医療先端研究センター、7510）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

呼吸器疾患の基本的技能である肺機能・画像等所見の理解を深め、代表的な検査手技についてシミュレータを通して実際に体験する。また、関連するプロフェッショナリズム（1-1～1-2）、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBMなどについて学ぶ。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-1～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2）

4. 教科書・参考書

内科学（朝倉書店）、内科診断学（南江堂）

5. 成績評価の方法

態度、ミニCEX、出席など

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習が中心となるため10名以内。
実習内容、担当については変更となる場合がある。
実習前・実習後に予習・復習をすること。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月5日 (水)	5-6時限	実習	テーマ：症例検討	中山勝敏	第2病棟7階カンファレンス室
2	7月5日 (水)	7-8時限	実習	テーマ：病棟回診	中山勝敏	第2病棟7階
3	7月6日 (木)	1-2時限	実習	テーマ：気管支鏡実習	竹田正秀	シミュレーション教育センター
4	7月6日 (木)	3-4時限	実習	テーマ：NPPV、胸腔穿刺実習	竹田正秀	シミュレーション教育センター
5	7月6日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：気管支鏡検査	佐藤一洋	中央放射線部透視室
6	7月6日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：気管支鏡検査	佐藤一洋	中央放射線部透視室
7	7月7日 (金)	1-2時限	講義	テーマ：肺機能検査	奥田佑道	第2病棟7階カンファレンス室
8	7月7日 (金)	3-4時限	講義	テーマ：血液ガス分析	奥田佑道	第2病棟7階カンファレンス室

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：臨床腫瘍学（Recent Progress in Clinical Oncology）－臨床腫瘍学特論－最近の話題－

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594010

開設学期等：第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

柴田 浩行（教授、臨床腫瘍学講座、6262、オフィスアワー：17：00）

2. 担当教員

柴田 浩行（教授、臨床腫瘍学講座、6262、オフィスアワー：17：00）

羽 瀧 友 則（教授、腎泌尿器科学講座）

三 浦 昌 朋（教授、薬剤部）

有 田 淳 一（教授、消化器外科学講座）

佐 藤 亘（特任講師、消化器内科学・神経内科学講座）

福 田 耕 二（講師、臨床腫瘍学講座）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 授業の概要

医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解する（5-1～5-5）。

批判的思考を行いながら、学術・研究活動に関与する（6-1, 6-2）。

文献ベースの講義で最新のがん治療の動向について理解する（5-3, 5-4）。

2. 授業のねらい

医療行動科学、医の倫理、医療安全、エビデンス、医療制度を理解し（1-1, 3-5～3-7）

医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲を涵養する（5-1～5-5）。

また、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲を涵養する（6-1, 6-2）。

1. 臨床試験について理解する（5-1～5-5）。

2. 標準治療について理解する（5-1～5-5）。

3. 新しい治療法の開発、新規抗悪性腫瘍薬の作用機序について理解する（5-1～5-5）。

4. 現在のがん治療の問題点について考察し、その打開策を検討する（5-1～5-5）。

5. がん遺伝子診断などの個別化治療について考察する（5-1～5-5）。

4. 教科書・参考書

新臨床腫瘍学（南江堂、改訂第6版、2021年）

入門腫瘍内科学（篠原出版新社、改訂第3版、2020年）

Cancer: Principles & Practice of Oncology, 9th edition (Wolters Kluwer/ Lippincott Williams & Wilkins)

5. 成績評価の方法

出席

ディスカッションやレポートで批判的思考をチェックする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

授業で配布される最新の論文を基にして臨床試験、標準治療、個別化治療、新規抗悪性腫瘍薬、がん遺伝子診断、バイオマーカーなど次世代の癌治療の在り方について考えます。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月3日 (月)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：オリエンテーション／医学論文を読む エビデンスの基になった医学論文2編を読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われることを理解する。 2. 生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。 3. 論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげる。 4. 抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けた科学的研究に参加する素地を作る。 	柴田浩行	基礎棟2階 第2会議室
2	7月3日 (月)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：泌尿器科の腫瘍学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 泌尿器癌について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 前立腺癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。 1-2. 精巣腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。 1-3. 腎癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。 1-4. 膀胱癌を含む尿路上皮癌の症候、診断、治療を説明できる。 2. さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、根拠に基づいた医療 (EBM) を基盤に対応する能力を養う。 	羽淵友則	基礎棟2階 第2会議室
3	7月3日 (月)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：がん薬物療法のトピックス - 最近の話題 - 学会で報告されたばかりの最新の抗癌剤治療について講義をする。そこでは以下のことを学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医学研究と倫理を説明できる。 2. 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。 3. 臨床試験・治験と倫理性 (ヘルシンキ宣言、第I・II・III・IV 相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準 (Good Clinical Practice GCP)、治験審査委員会・倫理審査委員会 (institutional review board IRB)) を説明できる。 4. 薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。 5. 副作用と有害事象の違い、報告の意義 (医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等) を説明できる。 	柴田浩行	基礎棟2階 第2会議室
4	7月3日 (月)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：肺癌の化学療法 - 最近の話題 -</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肺癌について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 肺癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。 1-2. 間質性肺炎 (治療関連性) の病態、診断と治療を説明できる。 2. さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、EBM を基盤に対応する能力を養う。 	柴田浩行	基礎棟2階 第2会議室
5	7月3日 (月)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：がんゲノム診療-最近の話題-</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がんゲノム診療の基礎を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. がんゲノム診療の実際を知る 2. さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、EBM を基盤に対応する能力を養う。 	柴田浩行	基礎棟2階 第2会議室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
6	7月4日 (火)	1-2時限	講義	<p>テーマ：肝細胞がん - 最近の話題 -</p> <p>1. 原発性肝癌について理解する。 病理所見、症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>2. さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、EBMを基盤に対応する能力を養う。</p>	佐藤 亘	基礎棟2階 第2会議室
7	7月4日 (火)	3-4時限	講義	<p>テーマ：抗がん剤の薬理と体内動態</p> <p>抗がん剤のドラッグモニタリングは次世代の癌薬物療法にとって極めて重要な研究課題である。 ゲノム薬理学との接点も含めて、プレシジョン・メディシンの旗手となる領域について理解する。</p> <p>1. 薬物・毒物の濃度反応曲線を描き、その決定因子を説明できる。</p> <p>2. 薬物の受容体結合と薬理作用との定量的関連性及び活性薬・拮抗薬と分子標的薬を説明できる。</p> <p>3. 薬物・毒物の用量反応曲線を描き、有効量・中毒量・致死量の関係を説明できる。</p> <p>4. 薬物・毒物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる</p> <p>5. 年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。</p> <p>さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、EBMを基盤に対応する能力を養う。</p>	三浦昌朋	基礎棟2階 第2会議室
8	7月4日 (火)	5-6時限	講義	<p>テーマ：癌ゲノム診療の実際</p> <p>臨床に導入された癌ゲノムをより深く理解するために</p> <p>1. Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。</p> <p>2. 遺伝型と表現型の関係を説明できる。</p> <p>3. 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。</p> <p>4. DNAの複製と修復を概説できる。</p> <p>5. DNAからRNAへの転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。</p> <p>6. 染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。</p>	柴田浩行	基礎棟2階 第2会議室
9	7月4日 (火)	7-8時限	講義	<p>テーマ：胆道癌の化学療法 - 最近の話題 -</p> <p>1. 胆嚢・胆管癌・乳頭部癌について理解する。</p> <p>1-1. 胆嚢・胆管癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>2. さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、EBMを基盤に対応する能力を養う。</p>	福田 耕二	基礎棟2階 第2会議室
10	7月4日 (火)	9-10時限	講義	<p>テーマ：消化器外科治療 - 最近の話題 -</p> <p>1. 消化器癌について理解する。</p> <p>1-1. 以下の消化器癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。 胃癌、大腸癌、胆嚢・胆管癌・乳頭部癌、原発性肝癌、転移性肝癌、膵癌などの外科的治療を説明できる。</p> <p>2. さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、EBMを基盤に対応する能力を養う。</p>	有田 淳一	基礎棟2階 第2会議室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	7月5日 (水)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：骨転移の診療 - ガイドラインの作成 -</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 骨転移について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 骨転移の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。 2. さらに発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、EBMを基盤に対応する能力を養う。 3. ガイドラインの作成方法について知る。 <ol style="list-style-type: none"> 3-1. EBMの5つのステップを列挙できる。 3-2. Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome PICO (PECO) を用いた問題の定式化ができる。 3-3. 研究デザイン (観察研究 (記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究 (臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析 (メタアナリシス) を概説できる。 3-4. データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。 3-5. 得られた情報の批判的吟味ができる。 3-6. 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。 3-7. 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。 	柴田浩行	基礎棟2階 第2会議室
12	7月5日 (水)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：最新研究報告－創薬研究（基礎研究から TR 研究へ）</p> <p>講座の創薬研究（基礎研究から TR 研究へ）を紹介し、抗癌剤開発の開発過程を理解する。</p> <p>ねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解する。 2. 医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲を涵養する。 	柴田浩行	基礎棟2階 第2会議室

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：消化器内科学(内科学1) 臨床実習(消化器内科学(内科学1) 臨床実習(Gastroenterology))

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-01

1. 主任教員

飯島克則(教授、消化器内科、6573)

2. 担当教員

飯島克則(教授、消化器内科、6573)

後藤隆(准教授、消化器内科、6104)

松橋保(准教授、消化器内科、6104)

佐藤亘(特任講師、消化器内科、6104)

小泉重仁(講師、消化器内科、6104)

下平陽介(助教、消化器内科、6104)

千葉充(助教、消化器内科、6104)

高橋健一(助教、消化器内科、6104)

南慎一郎(特任助教、消化器内科、6104)

福田翔(特任助教、消化器内科、6104)

渡邊健太(特任助教、消化器内科、6104)

3. 授業のねらい及び概要(学修目標)

1. 診療参加型臨床実習CC1の概要・ねらい

チームの一員として病棟や外来患者さんへの診療を通して、将来、どのような分野の医師にも必要な内科領域、特に消化器内科を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実戦力を習得する。プロフェッショナルリズム、倫理、医療行動学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて実践的に学ぶ。(1-1,1-2,2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,4-1,4-2,4-3,4-4,4-5,4-6,4-7)

1) 病棟診療

各学生は各診療チームに2週間配属され、指導医のもと数名の病棟患者さんを担当する。指導医の監督のもとに、日々、病棟担当患者さんの回診を行い、医療面接、身体診察による課題抽出・文献検索による臨床推論、検査・治療方針の提案、日々の診療内容や他科頼診券、ウイークリーサマリー、紹介状などカルテへの記載(指導医の確認必須)、カンファレンス時の各種プレゼンテーション、患者・家族への説明への参加など、チームの一員としてEBMに基づいた基本的な診療を実践的に学ぶ。

2) 外来診療、各種検査、治療への参加

このような病棟の担当患者診療の合間には、外来の新患、再来患者さんの診療や各種検査、治療に参加しながら、診療チームの一員として臨床推論・検査・治療の過程を実践的に学ぶ。

2. 学修目標

上記1の概要・ねらいを中心に実習を進めるが、本診療科で特に経験保証する症候、病態、各種手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態 臨床推論(3-5,4-1,4-2,4-3,4-4,4-5,4-6)

(1) 黄疸(2) 腹痛(3) 悪心・嘔吐(4) 食思不振(5) 便秘・下痢・血便(6) 吐血・下血(7) 腹部膨隆(腹水を含む)・膨満・腫瘤

2) 基本的臨床手技(3-1,3-2,3-3,4-1,4-2,4-3,4-4,4-5,4-6,4-7)

(1) 体位交換、移送ができる (2) 皮膚消毒ができる (3) 静脈採血を実施できる (4) 胃管の挿入と抜去ができる (5) 尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる (6) 注射（皮内、皮下、筋肉、静脈内）を実施できる (7) 末梢静脈の血管確保を実施できる (8) 診療録（カルテ）を作成する。

3) 検査手技 (3-1,3-2,3-3,4-1,4-2,4-3)

(1) 腹部の超音波検査を実施できる。

(2) 経皮的酸素飽和度を測定できる。

(3) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴画像法（MRI）、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。

4) シミュレーション教育 (2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,4-1,4-2,4-3,4-4,4-5,4-6,4-7)

(1) 腹部エコーシミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。

(2) 腹部内視鏡シミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。

5) 医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法（医療制度）、EBMI について (1-1,1-2,3-1,3-2,3-3,3-4,3-5,3-6,3-7,4-1,4-2,4-3,4-4,4-5,4-6,5-1,5-2,5-3,5-4,5-5)

(1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント

(2) 困難な患者 急変患者・家族への説明

(3) 各種侵襲的な検査・治療時の安全性への配慮

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

内科学（朝倉書店）、内科学（西村書店）、標準消化器病学（医学書院）

5. 成績評価の方法

実習中の学習態度、CC-EPOC、口頭試問、miniCEX（実際の患者さんへの診療を評価）、レポート発表、レポート提出、セミナーへの出席状況に基づいて総合的に評価する

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

・ 授業プリントを中心に十分復習してから実習に臨むこと

・ 経験記録、手帳の記載を行うこと

・ 若干のスケジュールの可能性があるので医局で確認すること

消化器内科学（内科学1）臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [9:00-18:00] 副題 担当	9:00-12:00 オリエンテーション/セミナー肝臓/腹部超音波実習 13:00-16:00 入院報告・総回診 16:00-17:00 病棟実習 17:00-18:00 内視鏡カンファレンス
第2回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	9:00-12:00 病棟実習 13:00-15:00 病棟実習 15:00-17:00 肝胆膵検査見学
第3回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	9:00-12:00 下部消化管内視鏡モデル実習 13:30-15:00 セミナー画像診断 15:00-17:00 内視鏡的粘膜下層剥離術見学
第4回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	9:30-12:00 A班：外来実習 B班：病棟実習 13:00-14:30 胆・膵セミナー 14:30-17:00 病棟実習
第5回 金曜日 [9:00-17:10] 副題 担当	9:00-11:00 消化管造影検査見学 11:00-12:00 病棟実習 13:00-14:20 病棟実習 14:20-17:10 医学医療総合講義
第6回 月曜日 [9:00-18:00] 副題 担当	9:00-11:30 病棟実習 13:00-16:00 入院報告・総回診 16:00-17:00 上部消化管内視鏡モデル実習 17:00- 内視鏡カンファレンス
第7回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	9:00-12:00 A班:超音波検査見学 B班:病棟実習 13:00-17:00 病棟実習
第8回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	9:00-11:30 A班:病棟実習 B班:超音波検査見学 13:30-15:00 消化管セミナー 15:00-17:00 病棟実習
第9回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	9:30-12:00 A班：病棟実習 B班：外来実習 13:00-14:00 病棟実習 13:00-16:00 発表会
第10回 金曜日 [9:00-17:10] 副題 担当	9:00-11:00 病棟実習 13:00-14:20 病棟実習 14:20-17:10 医学医療総合講義

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)
授業科目名：神経内科学(内科学1) 臨床実習(Neurology CC1)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-02

1. 主任教員

飯島克則(教授、消化器内科学・神経内科学講座、6099)

2. 担当教員

飯島克則(教授、消化器内科学・神経内科学講座、6099)

菅原正伯(医学部講師、附属病院 脳神経内科、6101、オフィスアワー：8:30-18:00)

華園 晃(助教、消化器内科学・神経内科学講座、6104、オフィスアワー：8:30-18:00)

3. 授業のねらい及び概要(学修目標)

1. ねらい(大まかな全体目標)

チームの一員として病棟や外来患者さんへの診療を通して、将来、どのような分野の医師にも必要な内科領域、特に神経内科学を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実戦力を習得する。また、関連する医療行動科学、医療倫理、医療安全、医療法(医療制度)、EBMについて実践的に学ぶ。

2. 概要(大まかな学修目標(項目))

・神経内科疾患の診療に関する基本的な知識と技能を修得するために、指導医を中心とした医療チームの一員として能動的に実習に取り組む。(4-1~4-7)

・臨床実習の中で自ら情報を収集し、患者さんのニーズ・問題点の抽出、整理、解釈を行い(臨床的推論)、解決法(診断、治療)を立案するための基本的訓練を行う(problem based learning:PBL)。(3-3, 4-4, 5-1~5-5, 6-1~6-2)

・神経内科疾患の診察、検査、治療の実際を体験し、ポートフォリオを作成する。ロールプレイ学習と組み合わせることによって疾患を深く理解し、受け持ち患者さんの特異性を抽出しやすくする。

・ロールプレイ学習で患者役と医師役を演じることによって、テキスト上の知識を実体化し、神経疾患と神経疾患患者についての理解を深める。

・診療チームの日常診療に参加し、神経内科の診察、検査、治療の実際を体験し、ポートフォリオを作成する。

・ロールプレイ学習で得た技能を実際の患者診療に適用できる。

1) 病棟診療

各学生は1週間配属され、指導医のもと病棟の担当患者さんを毎日回診して、診療内容をカルテに記載する。指導医の監督のもとに、医療面接、身体診察を行って、問題を抽出し、作業仮説を立ててEBMに基づいた検証を繰り返す(必要に応じて文献を検索する)。臨床推論に基づいて、診断、鑑別に必要な検査を立案し、担当患者さんの重症度、合併症を勘案して治療方針の選択を試みる。他科頼診券、ウイークリーサマリー、紹介状などのカルテへの記載(指導医の確認必須)、総回診時のプレゼンテーション、患者・家族への説明への参加など、チームの一員として基本的な診療を実践的に学び、医師としてのプロフェッショナルリズムを身に付けるために必要な知識、学習プロセスを身に付ける。(1-1~1-2, 2-1~2-7, 3-1~3-7, 4-1~4-8, 6-1)

2) 外来診療、各種検査、治療への参加

実習期間が5日と短いため、CC1では半日だけ外来診療への参加機会をつくる。(CC2では外来新患の、医療面接、身体診察を指導医のもとで行い、臨床推論に則った検査、治療立案を行う。)

ロールプレイ OSCEを行い、実習最終日に実習の成果を確認する。指導者からのフィードバックの他、動画記録して自己評価、振り返りを行う。

新型コロナウイルス感染症予防のために対面実習が困難な場合は、課題学習とする。質量分析、iPS細胞、オートファジーが病態解明や、治療にどのように応用可能かを検討し、研究立案を試みる。(3-3~3-5, 4-3~4-4, 5-1~5-5, 6-1)

3) 各種検査・手術等の治療への参加

診療チームの一員として各種検査、治療に参加しながら、臨床推論・検査・治療の実際を経験し、検査成績の評価を自ら試み、記録する。(3-1～3-3, 4-2～4-5)

3. (詳細な) 学修目標・項目

上記1の概要・ねらいを中心に実習を進めるが、本診療科で特に経験保証する症候、病態、各種手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態 臨床推論 (3-5, 4-1～4-6)

(1) けいれん (2) 意識障害・失神 (3) めまい (4) 頭痛 (5) 運動麻痺・筋力低下 (6) 嚥下困難・障害 (7) もの忘れ (8) 歩行障害 (9) 複視 (10) しびれ (11) 失語 (12) 構音障害 (13) 運動失調

2) 基本的臨床手技 (3-1～3-3, 3-5, 4-1～4-7)

(1) 体位交換、移送ができる (2) 皮膚消毒ができる (3) 静脈採血を実施できる (4) 末梢静脈の血管確保を実施できる (5) 腰椎穿刺を見学し、介助する (6) 注射 (皮内、皮下、筋肉、静脈内) を実施できる (7) 診療録 (カルテ) を作成する (8) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。

3) 検査・治療手技 (3-1～3-3, 4-1～4-3)

(1) 視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。

(2) 経皮的酸素飽和度を測定できる。

(3) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影 (CT)、磁気共鳴画像法 (MRI)、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。

4) シミュレーション教育 (ロールプレイ・OSCE など)

(1) 自分が作成したシナリオに従って患者を演じ、ペアになった学生が医師役として、医療面接、身体・神経診察を行って、疑わしい疾患、診断に必要な検査、治療選択について患者さんにわかりやすい言葉で説明する。実習のアウトカム評価が可能になる。(1-1～1-2, 2-1～2-4, 3-1～3-4, 4-1～4-3)

(2) 他の実習メンバーは演技に矛盾がないか、医師役の診察手技が正確か、評価しながら参加する。

(3) 動画による振り返りによって自己省察能力を高める。(6-1)

(4) 3年次のロールプレイ OSCE に加えて、CC1 でロールプレイ OSCE を行い、臨床実習終了時 OSCE に備える。(6-1～6-2)

5) プロフェッショナリズム、医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法 (制度)、EBM について

(1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント (見学、ロールプレイ OSCE)。(2-1～2-4, 2-7, 3-5)

(2) 困難な患者 急変患者・家族への説明 (見学)。(2-7)

(3) 患者さんの生活環境 (家庭、職場) に配慮した、診療計画を検討できる。(1-2, 3-7)

(4) インペアメント、ディスアビリティ、ハンディキャップを説明できる (4-3)

(5) 生活習慣に潜むリスクを列挙して、患者指導の在り方を考えられる。(1-2, 3-2～3-4)

(6) 遺伝カウンセリングに必要な情報提供ができる。(3-4～3-6)

(7) 治癒を見込むことが困難な進行性の疾患を持つ患者さんの意思決定支援、事前指示のタイミング、苦痛の緩和について理解する。(1-1～1-2, 2-1～2-3, 2-7, 3-5)

(8) 各種侵襲的な検査・治療時の安全性への配慮ができる。(3-5)

(9) 難病法、介護保険制度、障害者自立支援法、障害者差別解消法、身体障害者福祉法、認知症基本法を概説できる。(3-7, 4-7～4-8)

(10) 各種診療ガイドラインを適宜参照し、活用できる。(3-3～3-4, 4-3～4-4, 6-1)

(11) 文献から得られた情報の批判的吟味ができる。(3-3, 4-4, 5-2)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

3年次神経内科講義資料、診察実習時の資料 (神経疾患診察法)、OSCE クリニカルクラークシップガイドを常に参照できるようにすること。

必要に応じて、診断・治療ガイドラインを参照、活用すること。

後藤、天野著：臨床のための神経機能解剖学 中外医学社

水野美邦編集：神経内科ハンドブック 医学書院

鈴木則宏、荒木信夫編集：講義録神経内科 MEDICAL VIEW

Louis, Mayer, Rowland: Merritt's Neurology 13th Ed. Wolters Kluwer

Kandel, Schwartz, Jessell, Siegelbaum, Hudspeth: カンデル神経科学 5th Ed. メディカル・サイエンス・インターナショナル

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問、ミニ CEX（水曜日のミニプレゼンテーション）、ロールプレイ OSCE、レポート、出席、その他（カルテ記録、ポートフォリオ；CC-EPOC）で総合評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

オリエンテーションを省略する。WebClass でスケジュール確認、予習をして実習に臨んでください。

クリクラ概要書をよく読んで、WebClass で予習すること。神経診察手技を動画教材で復習しておくこと。また、OSCE クリニカルクラクシブガイドの 実習直前に必ず復習してくる事項【必修（コア）事項】を学習して実習に臨むこと。実習開始前に医師国家試験出題基準に目を通すこと。できれば実習早々に国家試験過去問を解いて、不得手な領域を明らかにして、実習でそれを克服する工夫をすべきです。

毎日診療録を記載し、病棟医と discussion をして、出席簿にサインをもらうこと。診療録のフィードバックを確認して追記・訂正を行って承認を得ること。

経験記録、手帳の記載をポートフォリオとして、充実させること。

金曜のロールプレイ発表後に、1. クリクラ自己評価、2. ロールプレイシナリオ・神経所見・鑑別シート・チェックリスト、3. ポートフォリオ（経験記録）を医局秘書に提出する。ポートフォリオを返却するので、翌週木曜以降に医局秘書まで取りに来てください（代表者でもかまいません）。

講演会、研究会があるときは、告知するので、積極的に参加してください。

キーワード：診療参加型実習、ロールプレイ、ポートフォリオ、Problem Based Learning; PBL、Problem-Oriented Medical-Record; POMR、自己評価

神経内科学（内科学1）臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回 副題 担当	月曜日 [8:30-19:00] 神経内科クリニカルクラークシップ 菅原・華園	08:40-09:00 受け持ち患者ふりわけ、1-8 病棟（華園） 09:00-17:00 担当患者回診、病棟実習 18:00-19:00 病棟カンファレンス、1-8 病棟カンファ室
第2回 副題 担当	火曜日 [8:30-18:00] 神経内科クリニカルクラークシップ 菅原・華園	08:30-13:00 担当患者回診、病棟実習 13:00-15:00 ミニレクチャー、1-8 病棟カンファ室（菅原） 15:00-18:00 ミニプレゼンテーションの準備
第3回 副題 担当	水曜日 [8:30-18:00] 神経内科クリニカルクラークシップ 菅原・華園	08:30-09:00 担当患者回診 09:00-10:30 神経回診（ミニプレゼンテーション mini-CEX）、1-8 病棟 10:30-11:30 症例カンファレンス、1-8 病棟（菅原） 13:00-18:00 担当患者回診、病棟実習、ロールプレイシナリオ作成
第4回 副題 担当	木曜日 [8:30-18:00] 神経内科クリニカルクラークシップ 菅原・華園	08:30-12:00 担当患者回診、病棟実習 09:00-12:00 ミニレクチャー、1-8 病棟カンファ室（華園） 13:00-18:00 病棟実習、ロールプレイブラッシュアップ
第5回 副題 担当	金曜日 [8:30-18:00] 神経内科クリニカルクラークシップ 菅原・華園	08:30-13:00 ロールプレイ発表、1-8 病棟 研修室（菅原） 14:20-17:10 医学医療総合講義（多目的室） 14:00-18:00 担当患者回診、病棟実習

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：循環器内科学（内科学2）臨床実習（Cardiovascular）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-03

1. 主任教員

渡邊 博之（教授、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

2. 担当教員

渡邊 博之（教授、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

長谷川仁志（教授、基礎棟3階、6226、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

寺田 健（講師、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

鈴木 智人（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

高木 祐介（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

佐藤 輝紀（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

佐藤 和奏（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

岩川 英弘（助教、南臨床棟5階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 診療参加型臨床実習CC1の概要・ねらい

チームの一員として診療に参加し、病棟や外来の患者さんを通して内科領域、特に循環器内科を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実践力を修得する。(1, 2, 3, 4, 5, 6)

1) 病棟診療(1, 2, 3, 4, 5, 6)

各学生は各診療チームに2週間配属され、指導医のもと病棟患者さんを担当する。指導医の監督の下に、日々、病棟担当患者さんの回診を行い、医療面接、身体診察による課題抽出・文献検索による臨床推論、検査・治療方針の提案、日々の診療内容や他科来診券、ウイークリーサマリー、紹介状などカルテへの記載（指導医の確認必須）、カンファレンス時等の各種プレゼンテーション、患者家族への説明への参加など、チームの一員としてEBMに基づいた基本的な診療を実践的に学ぶ。

2) 外来診療、各種検査、手術などの治療への参加(1, 2, 3, 4, 5, 6)

このような病棟診療の合間には、外来の新患、再来患者さんの診療や各種検査・治療に参加しながら、診療チームの一員として臨床推論・検査・治療の過程を実践的に学ぶ。

以上の実習により、将来、何科の医師になっても必要な循環器内科領域の基本的な診療能力（医療行動科学、医療倫理、医療安全を含む）を実践修得する。

2. 学修目標

上記1) 2)を中心に実習を進めるが、この期間に本診療科で特に経験する症候・病態、各種手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態(3-1.2.3.4.5)

(1) 発熱、(2) 全身倦怠感、(3) 食思(欲)不振、(4) 体重減少・体重増加、(5) ショック、(6) 意識障害・失神、(7) けいれん、(8) めまい、(9) 浮腫、(10) 咳・痰、(11) 呼吸困難、(12) 胸痛、(13) 動悸、(14) 胸水、(15) 嚥下困難・障害、(16) 腹痛、(17) 悪心・嘔吐、(18) 頭痛、(19) 腰背部痛、(20) 心停止

2) 基本的臨床手技(4-6)

- (1) 皮膚消毒ができる。
- (2) 静脈採血を実施できる。
- (3) 末梢静脈の血管確保を実施できる。
- (4) 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。
- (5) 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。
- (6) 注射（皮内、皮下、筋肉、静脈内）を実施できる。
- (7) 診療録（カルテ）を作成する。来診券、紹介状を記載する。
- (8) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。

3) 検査手技 (4-2, 4-6)

- (1) 12誘導心電図を記録できる。
- (2) 心臓の超音波検査を実施できる。
- (3) 経皮的酸素飽和度を測定できる。
- (4) 心エコー、運動負荷心電図、心筋シンチグラフィ、心臓カテーテルを見学し、介助する

4) 外科手技 (4-6)

- (1) 無菌操作を実施できる。
- (2) 手術や手技のための手洗いができる。
- (3) 手術室におけるガウンテクニックができる。
- (4) 基本的な縫合と抜糸ができる。
- (5) 創の消毒やガーゼ交換ができる。
- (6) 手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。

5) 救命処置 (2-1.2.3.4.5.6.7, 4-1.2.3.4.5.6.7)

- (1) 身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。
- (2) 一次救命処置を実施できる。
- (3) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

6) シミュレーション教育 (4-2,4-6)

- (1) 心エコーシミュレーターを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。
- (2) シムマン 3G を用いて、軽症から重症まで約 20 例の胸部症状シナリオを用いたシミュレーショントレーニングを通して、各種胸部症状患者への初期対応の経験をする。
- (3) 心臓カテーテルシミュレーターを用いて、冠動脈造影中の医療安全に関する様々な意識を実験する。
- (4) エコーガイド下、中心静脈確保をシミュレーターを用いて経験する。

7) 医療行動科学、医療倫理、医療安全、医療法について (2-1.2.3.4.5.6.7.8, 3.5.6)

- (1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント
- (2) 困難な患者 急変患者・家族への説明、
- (3) 各種検査時の安全への配慮

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

内科診断学（医学書院）
内科学（朝倉書店）
内科診断学（南江堂）
内科診断学（医学書院）

Navigate 循環器疾患 (医学書院)
病気が見える循環器 (メディックメディア)
臨床循環器学 (文光堂)
集中講義 胸痛 (メジカルビュー社)
クリニカルクラークシップガイド等、講義・演習資料

5. 成績評価の方法

CC-EPOC 入力状況、実習評価表、miniCEX、最終日の学生カンファレンスの場で発表・ディスカッション、
実習中 OSCE (シミュレーション、模擬画像など) および卒業時の PCC-OSCE

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・クリニカルクラークシップガイドの実習直前に必ず復習してくる事項【必修(コア)事項】を学習してくる。
- ・経験記録、手帳の記載を行うこと

循環器内科学（内科学2）臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 担当	09:00 オリエンテーション（渡邊）：第二病棟4階カンファレンスルーム 10:00 担当医紹介 11:00 病棟実習 13:30 身体所見セミナー（鈴木）：第二病棟4階カンファレンスルーム 14:30 病棟実習／心臓カテーテル実習 15:00 エコーセミナー（佐藤和奏）：南臨床棟5階カンファレンスルーム 16:00 臨床推論セミナー（寺田）：南臨床棟5階カンファレンスルーム
第2回 火曜日 [8:00-17:00] 副題 担当	08:00 急変シミュレーター実習（長谷川）：シミュレーション教育センター 11:00 病棟実習 13:00 病棟実習／心臓カテーテル実習
第3回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	09:00 病棟実習 13:00 病棟実習／心臓カテーテル実習
第4回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	09:00 病棟実習 13:00 病棟実習／心臓カテーテル実習
第5回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	09:30 大動脈弁狭窄症のカテーテル治療（高木）：南臨床棟5階カンファレンスルーム 10:00 病棟実習 14:20 医学医療総合講義
第6回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 担当	09:00 病棟実習 13:30 心臓リハビリセミナー（鈴木）：第二病棟4階カンファレンスルーム 14:30 薬物療法（佐藤輝紀）：第二病棟4階カンファレンスルーム 15:30 心電図セミナー（寺田）：第二病棟4階カンファレンスルーム
第7回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	09:00 病棟実習 13:30 徐脈性不整脈セミナー（岩川）：第二病棟4階カンファレンスルーム 14:30 病棟実習／心臓カテーテル実習
第8回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	09:00 病棟実習 13:00 病棟実習／心臓カテーテル実習
第9回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	09:00 病棟実習 13:00 病棟実習／心臓カテーテル実習
第10回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	09:00 病棟実習 10:30 試問（渡邊）：第二病棟4階カンファレンスルーム 14:20 医学医療総合講義

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)
授業科目名：呼吸器内科学 臨床実習 (Respiratory Medicine)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-04

1. 主任教員

中山勝敏 (教授、呼吸器内科学講座、7510)

2. 担当教員

中山勝敏 (教授、呼吸器内科学講座、7510)

佐藤一洋 (特任准教授、呼吸器内科学講座、7510)

竹田正秀 (講師、呼吸器内科学講座、7510)

奥田佑道 (特任助教、高齢者医療先端研究センター、7510)

浅野真理子 (特任助教、高齢者医療先端研究センター、7510)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい

病棟や外来患者さんへの診療を通して、呼吸器領域の症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実践力を修得する。診療チームの一員として内科領域、特に呼吸器を中心とした患者の診断・治療の過程を経験し、講義・クリニカルクラークシップ実習を通じて深く理解習得する。また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて学ぶ。

2. 概要 (1-1~1-2、3-1~3-7、4-1~4-8、5-1~5-5、6-1~6-2)

呼吸器内科疾患の診療に関する基本的な知識と技能を修得するために、指導医を中心とした医療チームの一員として能動的に実習に取り組む。臨床実習の中で自ら情報を収集し、患者さんのニーズ・問題点の抽出、整理、解釈を行い(臨床的推論)、解決法(診断、治療)を立案するための基本的訓練を行う(problem based learning:PBL)

1) 病棟診療 (1-1~1-2、2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8)

指導医チームに加わり、チーム内の病棟患者さん全員の診療を行う。日々回診し、問診、身体診察を行い、臨床課題を抽出し、臨床推論を行う。指導医とともにカルテ記載、検査および治療方針の決定を行う。病棟カンファランスでは担当のなかから1名についてプレゼンテーションと質疑応答を行い、エビデンスに基づいた診療を経験する。さらに文献的な考察も含め病態の理解を深める。

2) 外来診療 (1-1~1-2、2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8)

外来指導医のもと、新患患者さんの問診、身体診察を行い、指導医とともにカルテ記載、鑑別疾患の検討、および必要な検査の提案を行う。病態を把握し指導医とともに治療方針を検討する。

3) 検査への参加 (2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8)

気管支鏡検査の見学を行う。検査前に指導医とともに当該症例の画像を読影し、鑑別診断の検討および検査方針を立てる。検査後の検体の取り扱いも理解する。

4) 臨床実習レポート発表 (3-1~3-7、5-1~5-5、6-1~6-2)

担当症例について病歴、検査値、経過、治療方針などをまとめ、発表を行う。文献的考察も行うことで、エビデンス収集能力および医学的な分析能力を養う。

3. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

上記のねらい及び概要を中心に実習をすすめるが、本診療科で特に経験保証する症候、病態、各種手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態、臨床推論 (3-1~3-7、4-1~4-8)

(1) 発熱、(2) 全身倦怠感、(3) 食思(欲)不振、(4) 体重増加・体重減少、(5) 意識障害・失神、(6) 脱水、(7) 浮腫、(8) 咳・痰、(9) 血痰・咯血、(10) 呼吸困難、(11) 胸痛、(12) 胸水、(13) 嚥下困難・障害、(14) リンパ節腫脹

2) 基本的臨床手技 (1-1~1-2、2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8)

(1) 体位交換、移送ができる。
(2) 皮膚消毒ができる。
(3) 気道内吸引、ネブライザーを実施できる。
(4) 静脈採血を実施できる。
(5) 末梢静脈の血管確保を実施できる。
(6) 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。
(7) 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。
(8) ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。
(9) 診療録(カルテ)を作成する。
(10) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。

3) 検査手技 (2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8)

(1) 微生物学検査を評価できる。
(2) 12誘導心電図を記録できる。
(3) 胸部の超音波検査を実施できる。
(4) 経皮的酸素飽和度を測定できる。
(5) エックス線撮影、CT、MRI、核医学検査、気管支鏡検査を見学し、介助する。

4) 外科的手技 (2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8)

(1) 無菌操作を実施できる。
(2) 基本的な縫合と抜糸ができる。
(3) 創の消毒やガーゼ交換ができる。

5) 救命処置 (2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8)

(1) 身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。
(2) 一次救命処置を実施できる。
(3) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

6) シミュレーション教育 (3-1~3-7、6-1~6-2)

(1) 気管支鏡シミュレータを用いて反復練習をすることで、検査の意義を学び技術を磨く。
(2) 胸腔穿刺シミュレータを用いて反復練習をすることで、検査の意義を学び技術を磨く。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

内科学(朝倉書店)、内科診断学(南江堂)、呼吸器領域の各種診療ガイドラインまたは診断と治療の手引き[肺癌(金原出版)、COPD(メディカルレビュー)、喘息(協和企画)、特発性肺線維症(南江堂)、成人肺炎(メディカルレビュー)]

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問、ミニCEX、出席、学生症例プレゼンテーションでの発表など。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

指定の教科書・参考書等に則り予習をし、同教科書・参考書および実習時に指導された内容をもとに復習すること。

呼吸器内科学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回 副題 担当	月曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ オリエンテーション(第2病棟7階カンファレンス室) ・ 09:30～ 患者紹介(第2病棟7階)/病歴・身体所見(呼吸器内科外来) ・ 15:30～ 病棟カンファレンス(第2病棟7階カンファレンス室)
第2回 副題 担当	火曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 11:00～ 気管支鏡前実習(シミュレーション教育センター) ・ 14:00～ 気管支鏡検査(中央放射線部透視室)/胸部レントゲン読影セミナー(第2病棟7階カンファレンス室)
第3回 副題 担当	水曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 14:00～ 症例検討/教授回診(第2病棟7階カンファレンス室/第2病棟7階)
第4回 副題 担当	木曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 11:00～ 血ガス・人工呼吸器セミナー(第2病棟7階カンファレンス室) ・ 13:30～ 気管支鏡検査(中央放射線部透視室) ・ 17:30～ 3科合同カンファレンス(放射線科カンファレンス室)
第5回 副題 担当	金曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 11:00～ 胸腔穿刺実習(シミュレーション教育センター) ・ 14:20～ 医学医療総合講義
第6回 副題 担当	月曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 受持患者症例検討会(第2病棟7階カンファレンス室)/病歴・身体所見(呼吸器内科外来) ・ 14:30～ COPD・喘息セミナー(第2病棟7階カンファレンス室) ・ 15:30～ 病棟カンファレンス(第2病棟7階カンファレンス室)
第7回 副題 担当	火曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 14:00～ 気管支鏡検査(中央放射線部透視室)/肺炎・間質性肺炎セミナー(第2病棟7階処置室)
第8回 副題 担当	水曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 11:00～ 肺癌セミナー(第2病棟7階カンファレンス室) ・ 14:00～ 症例検討/教授回診(第2病棟7階カンファレンス室/第2病棟7階)
第9回 副題 担当	木曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 11:00～ 咳・痰セミナー(第2病棟7階カンファレンス室) ・ 13:30～ 気管支鏡検査(中央放射線部透視室)/呼吸器症例プレゼンテーション(第2病棟7階カンファレンス室) ・ 17:30～ 3科合同カンファレンス(放射線科カンファレンス室)
第10回 副題 担当	金曜日 [8:30 - 17:00] スタッフ全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 08:30～ 学生回診(第2病棟7階) ・ 09:00～ 病棟診療(第2病棟7階) ・ 10:00～ 臨床実地問題解説セミナー(第2病棟7階カンファレンス室) ・ 14:20～ 医学医療総合講義

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：血液・腎臓・膠原病内科学(内科学3) 臨床実習 (Internal Medicine 3; Hematology, Nephrology, and Rheumatology)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-05

1. 主任教員

高橋直人(教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6111、オフィスアワー：8:30-17:00)

2. 担当教員

高橋直人(教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6111、オフィスアワー：8:30-17:00)

亀岡吉弘(准教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6113、オフィスアワー：8:30-17:00)

奈良美保(講師、輸血部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00)

池田翔(講師、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

北館明宏(講師、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

山下鷹也(助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

小林敬宏(助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

齋藤雅也(助教、臨床研究支援センター、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

阿部史人(助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

齋藤綾乃(助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座(第三内科)、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

藤岡優樹(助教、中央検査部、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

小林五十鈴(特任助教、総合臨床教育研修センター、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

3. 授業のねらい及び概要(学修目標)

1. 診療参加型臨床実習CC1の概要・ねらい

チームの一員として、将来どのような分野の医師にも必要な血液・腎臓・膠原病領域に関する症候、臨床推論、鑑別診断、検査、治療方針決定等を修得する。(1-1, 1-2, 2-1~2-8)

1) 病棟診療

指導医のもと、2名の病棟患者さんを担当する。日々問診、身体診察、カルテ記載、プレゼンテーションを行い、文献検索により病態理解や治療方針の決定に参加する。(4-1~4-8)

2) 外来診療

指導医のもと、新患者さんの病歴聴取、診察、カルテ記載、鑑別疾患の検討、必要な検査の提案、治療方針の提案を行う。(4-1~4-8)

3) 臨床実習レポートの作成を行い、発表する。症例報告レベルのレポートを作成することで、医学的知識を深め、科学的探究心やエビデンス収集能力、生涯にわたって学ぶ姿勢を身に付ける。(5-1~5-5, 6-1~6-2)

2. 学修目標

1) 症候・病態 臨床推論

(1) 発熱、(2) 全身倦怠感、(3) 黄疸、(4) 貧血、(5) 出血傾向、(6) リンパ節腫脹、(7) 腹部腫瘍

2) 基本的臨床手技

(1) 皮膚消毒、(2) 静脈採血、(3) 末梢静脈の血管確保、(4) 中心静脈カテーテル挿入の見学・介助、(5) 腰椎穿刺の見学・介助、(6) 局所麻酔、輸血の見学・介助、(7) カルテ作成、(8) 診断書・検案書・証明書の作成見学・介助

3) 検査手技

(1) 尿検査(尿沈査含む)の実施、(2) 末梢血塗抹標本作成・観察、(3) 微生物学検査(Gram染色含む)の実施、(4) 血液型判定の実施、(5) 経皮的酸素飽和度測定、(6) 骨髄穿刺、腎生検の見学・介助

4) 外科手技

(1) 無菌操作の実施、(2) 創消毒の実施

5) 救命処置

(1) 身体徴候・バイタルサインから、緊急性の高い状況を判断できる、(2) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

6) 医療行動科学、医療倫理、医療安全、医療法、EBM について

(1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント (2-4)、(2) 悪性腫瘍の患者・家族への病状説明 (2-4, 2-7)、(3) 認知症や老々介護、生活困窮者に対する支援センターとの連携 (2-5, 2-6)、(4) up to date や PubMed 使用によるエビデンス検索 (4-4, 5-3)

詳細については第 1 週日月曜日のオリエンテーションで解説する。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

朝倉内科学、ハリソン内科学、本学のクリニカルクラークシップガイド、講義資料

5. 成績評価の方法

態度、ミニ CEX、レポート、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・本学のクリニカルクラークシップガイドの、実習直前に必ず復習してくる事項【必修（コア）事項】を学習してくること。
- ・経験記録、手帳の記載を行うこと。
- ・予定は変更になることがあります。

血液・腎臓・膠原病内科学（内科学3）臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容	
第1回	月曜日 [8:15 - 17:00] 副題 オリエンテーション、確認試験、クルズス、血液カンファ、病棟実習 担当 各担当教官	08:15-10:00 オリエンテーション 13:00-14:00 確認試験 14:00-15:00 クルズス 15:00-16:00 血液カンファ カンファでのプレゼン評価	上記外の時間は病棟実習を行う
第2回	火曜日 [8:30 - 17:00] 副題 総回診、病棟実習 担当 各担当教官	13:30- 総回診 カンファでのプレゼン評価	上記外の時間は病棟実習を行う
第3回	水曜日 [8:30 - 17:00] 副題 腎・リウマチ内科外来実習、クルズス、腎カンファ、病棟実習 担当 各担当教官	09:30-12:00 腎・リウマチ内科外来実習 13:00-14:00 クルズス 16:00-16:30 腎カンファ カンファでのプレゼン評価	上記外の時間は病棟実習を行う
第4回	木曜日 [8:30 - 17:00] 副題 血液内科外来実習、クルズス、病棟実習 担当 各担当教官	09:30-12:00 血液内科外来実習 13:00-14:00 クルズス	上記外の時間は病棟実習を行う
第5回	金曜日 [8:30 - 17:00] 副題 採血・フローサイト実習、病棟実習、医学医療総合講義 担当 各担当教官	09:30-12:00 採血・フローサイト実習 14:20-17:00 医学医療総合講義	上記外の時間は病棟実習を行う
第6回	月曜日 [8:30 - 17:00] 副題 血液内科外来実習、クルズス、血液カンファ、病棟実習 担当 各担当教官	09:30-12:00 血液内科外来実習 13:00-14:00 クルズス 15:00-16:00 血液カンファ カンファでのプレゼン評価	上記外の時間は病棟実習を行う 病棟実習時 ミニ CEX
第7回	火曜日 [8:30 - 17:00] 副題 総回診、病棟実習 担当 各担当教官	13:30- 総回診 カンファでのプレゼン評価	上記外の時間は病棟実習を行う 病棟実習時 ミニ CEX
第8回	水曜日 [8:30 - 17:00] 副題 腎・リウマチ内科外来実習、LTFU 外来実習、腎カンファ、病棟実習 担当 各担当教官	09:30-12:00 腎・リウマチ内科外来実習 14:00-14:50 LTFU 外来実習 16:00-16:30 腎カンファ カンファでのプレゼン評価	上記外の時間は病棟実習を行う 病棟実習時 ミニ CEX
第9回	木曜日 [8:30 - 17:00] 副題 血液内科外来実習、クルズス、病棟実習 担当 各担当教官	09:30-12:00 血液内科外来実習 13:00-14:00 クルズス	上記外の時間は病棟実習を行う 病棟実習時 ミニ CEX
第10回	金曜日 [8:30 - 17:00] 副題 レポート発表(質疑応答)、総括、医学医療総合講義 担当 各担当教官	08:30-12:00 レポート発表および質疑応答 13:00-14:00 総括 14:20-17:00 医学医療総合講義	

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)
授業科目名：精神科学臨床実習 (Clinical Clerkship in Psychiatry)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-06

1. 主任教員

三島 和夫 (教授、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

2. 担当教員

三島 和夫 (教授、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
竹島 正浩 (講師、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
今西 彩 (助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
細谷 倫子 (助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
伊藤 結生 (助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
吉沢 和久 (助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
馬越 秋瀬 (助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
小笠原 正弥 (助教、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
石川 勇仁 (医員、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
加藤 信之 (医員、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
平野 梨聖 (医員、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)
藤原 大 (医員、精神科学講座 北臨床棟 4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい

本クリニカルクラークシップのねらいは臨床実習を通じて精神障害の病態生理、診断、治療に関する知識を深めるとともに、精神障害の患者に対して適切な医療面接や臨床推論を行い、的確な診断やエビデンスに基づく治療を策定することである。また、精神科診療に必須である精神保健福祉法についても学習し、個々の患者に対して適切な入院形態や行動制限を選択できるようにあることである。それに加え、医師の倫理や医師の職責などのプロフェッショナリズムを育み、良好な患者と医師の信頼関係に基づく全人的医療を実践し、チーム医療に必要なコミュニケーション能力を学ぶ。また、臨床実習で実際の患者と触れ合うことによって医学的課題の発見などのリサーチマインドや問題解決能力を高め、絶えず進歩する医学・医療に興味を抱いて学習し、学んだ成果を取り入れる姿勢を涵養する。また、関連する医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法(医療制度)、EBMについて実践的に学ぶ。(1-1～1-2、2-1～2-3、2-5～2-7、3-1～3-3、3-7、4-1～4-5、4-7、5-1～5-3)

2. 概要

到達目標

- (1) 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。(2-1～2-3)
- (2) 診察・検査を通じて精神障害の診断・治療の流れを理解できる。(4-1～4-3)
- (3) 精神保健福祉法に基づく入院形態の区分と適応について理解できる。(3-7)
- (4) 主な精神疾患の主要症状、診断、治療について理解できる。(3-1～3-3)

・精神科疾患の診療に関する基本的な知識と技能を修得するために、指導医を中心とした医療チームの一員として能動的に実習に取り組む。(2-3、4-7)

・臨床実習の中で自ら情報を収集し、患者さんのニーズ・問題点の抽出、整理、解釈を行い(臨床的推論)、解決法(診断、治療)を立案するための基本的訓練を行う(problem based learning; PBL)。(5-1～5-3、6-1)

・診療チームの外来・病棟における日常診療に参加し、精神科の診察、検査、治療の実際を体験し、精神科診療のポートフォリオを作成する。(2-1～2-3、2-5～2-6、3-1～3-3、4-1～4-3、4-7)

- ・精神科疾患の診察、検査、治療の実際を体験し、精神科の定期カンファレンス・総回診に参加し、診断及び治療過程などを学ぶ。(2-1～2-3、2-5～2-6、2-4～2-5、3-1～3-3、4-1～4-3、4-5、4-7)
- ・カンファレンスなどを通して、テキスト上の知識を実体化し、受け持ち患者さんの精神疾患および個別特性を深く理解し、医療チーム内の情報共有を行う。(1-2、2-2、2-4～2-5、4-7)
- ・精神科の日常診療に参加して得た診察、検査、治療技能を実際の患者診療に適用できる。(4-1～4-3、4-6)

1) 病棟診療

CC1 学生は2週間配属され、指導医のもと病棟の担当患者さんを毎日回診して、診療内容をカルテに記載する。指導医の監督のもとに、医療面接、身体診察を行って、問題を抽出し、作業仮説を立ててEBMに基づいた検証を繰り返す(必要に応じて文献を検索する)。臨床推論に基づいて、診断、鑑別に必要な検査を立案し、担当患者さんの重症度、合併症を勘案して治療方針の選択を試みる。他科頼診券、ウイークリーサマリー、カルテへの記載(指導医の確認必須)、総回診の見学、患者・家族への説明への参加など、チームの一員として基本的な診療を実践的に学び、医師としてのプロフェッショナルリズムを身に付けるために必要な知識、学習プロセスを身に付ける。(1-1～1-2、2-1、2-3～2-5、4-1～4-5、4-7、5-1～5-3、6-1)

2) 外来診療

外来新患や再来患者の診察に陪席し、医療面接、身体診察を見学し、臨床推論に則った検査、治療立案を考える。診察患者の診断、状態像、病識などを理解し、入院形態を指導医とともに考え、入院時の告知や説明に陪席する。(3-2～3-3、3-7、4-1～4-3)

3) 各種検査や治療への参加

診療チームの一員として各種検査、治療に参加しながら、臨床推論・検査・治療の実際を経験し、検査成績の評価を自ら試み、記録する。(2-5、4-1～4-7)

3. 学修目標

上記1のねらい・概要を中心に実習を進める。本診療科で特に経験すべき精神疾患、各種検査手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態 臨床推論 (3-1～3-4)

- a. 統合失調症 b. うつ病 c. 双極性障害(躁うつ病)
- d. 症状精神病 e. 認知症 f. 物質使用障害
- g. 不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群
- h. 身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群 i. 睡眠-覚醒障害
- j. 解離性障害 k. パーソナリティ障害
- l. 神経発達障害群(知的能力障害、自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動障害、運動障害群)

2) 基本的臨床手技 (1-1～1-2、2-1～2-3、4-1～4-6)

- (1) 医師患者関係の在り方を理解する。
- (2) 精神科面接法、精神的力動の基本について理解し、説明できる。
- (3) 修正型電気痙攣療法の適応、装着方法、判定ができる。
- (4) 精神科作業療法の作業内容、治療目的を説明できる。
- (5) 行動制限の種類、必要性などを理解し、診療録に正確に記載できる。
- (6) 診療録(カルテ)を作成する。
- (7) 各種診断書・入退院の届出・証明書の作成を見学し、介助する。

3) 検査・治療手技 (4-1～4-5、2-5～2-6)

- (1) 症状評価尺度を実施し、結果を説明できる。
- (2) 神経学的所見や長谷川式簡易知能評価スケール(HDSR)、Mini-Mental State Examinaton(MMSE)をとり、カルテへの記載ができる。
- (3) 睡眠脳波(PSG)や睡眠潜時反復検査(MSLT)を含む脳波検査を見学し、結果を指導医と共に確認し診断及び治療立案

を行う。

(4) アクチグラフの結果を指導医と共に確認する。

(5) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影 (CT)、磁気共鳴画像法 (MRI)、核医学検査を見学し、介助する。その結果を指導医と共に確認し、診断及び治療立案を行う。

(6) 心理検査結果を指導医や心理士と共に確認し、診断及び治療立案を行う。

(7) 腰椎穿刺を見学し、介助する。

4) プロフェッショナリズム、医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法 (制度)、EBM について (1-1～1-2、2-1～2-7、3-5～3-7、4-4、4-7～4-8、5-1～5-3、5-5、6-1)

(1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント (見学)。

(2) 処遇困難な患者、急変患者・家族への説明 (見学)。

(3) 患者さんの生活環境 (家庭、職場、施設など) やアドヒアランスなどに配慮した診療計画を検討できる。

(4) 生活習慣に潜むリスクを列挙して、患者指導の在り方を考えられる。

(5) 緩和ケアのチームの一員として患者さんの精神的支援、意思決定支援、苦痛の緩和について理解する。

(6) 各種侵襲的な検査・治療時の安全性への配慮ができる。

(7) 自立支援制度、介護保険制度、障害者自立支援法、精神障害者保健福祉手帳、障害者差別解消法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、成年後見制度などを概説できる。(8) 行動制限について指定医からその必要性及び人権への配慮の仕方について学び、説明することができる。

(9) 各種診療ガイドラインを適宜参照し、活用できる。

(10) 文献から得られた情報の批判的吟味ができる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

4 年次精神科講義資料、診察実習時の資料 (神経疾患診察法)、OSCE クリニカルクラークシップガイドを常に参照できるようにすること。必要に応じて、診断・治療ガイドラインを参照、活用すること。

・標準精神医学 (尾崎紀夫 他編 医学書院)

・カプラン臨床精神医学テキスト (井上令一 監修 メディカル・サイエンス・インターナショナル社)

・DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル (高橋三郎、尾崎紀夫 他訳 医学書院)

・ICD-10 精神及び行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン (融 道男 他訳 医学書院)

・医学専門雑誌、医学文献・活用を奨励する。

5. 成績評価の方法

レポート発表を行う。レポートは受け持ち患者さんについて指導医から指導を受けながら作成する。

レポート発表の内容を踏まえ、当該患者さんの現症、診断、治療方針等について試問を行う。実習中の服装、参加意欲、態度、理解度も含めて総合的に評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

・指定教科書は事前に提示するので、予習して受講すること。

・指定教科書に授業の重要なポイントを記載するなどして学修すると、講義後の復習に役立つ。

・担当教員の予定により、若干スケジュール等を変更する場合がある。

精神科学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第 1 回	月曜日 [9:00-17:10] 副題 オリエンテーション・外来診察・病棟診察 担当 三島 和夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-9:30: オリエンテーション (外来 7 番診察室) : 指導医と担当する患者の紹介と把握、レポートの課題を決定。 ※第 1 週月曜が祝日で休みの場合、オリエンテーション・講義 (三島教授) は第 1 週火曜に行います。 ・ 9:30-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 午後: 病棟実習 (指導医との打ち合わせは事前にメールで確認する) 小講義【藤原 大: 統合失調症】 (Web class)
第 2 回	火曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・カンファレンス オリエンテーション予備日 担当 三島 和夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-午前: 新患診察及び再来診察 (指導医の指示により外来へ移動) ・ 13:30-: 病棟カンファレンス室 カンファレンス、教授回診 (第二病棟 3 階カンファレンスルームもしくは第二病棟 5 階カンファレンスルーム ※都度、指導医に確認すること)
第 3 回	水曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・病棟診察 担当 小笠原 正弥	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-9:30: 小講義【小笠原 正弥: MSLT 説明】 (外来 7 番診察室) ・ 9:30-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 11:30-: MSLT 見学 (脳波室) ・ 14:00-: m-ECT 見学 (手術室)
第 4 回	木曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・病棟診察 担当 馬越 秋瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-9:30: 小講義【馬越 秋瀬: 児童精神医学】 (外来 7 番診察室) ・ 9:30-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 14:00-: m-ECT 見学 (手術室)
第 5 回	金曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・病棟診察 担当 石川 勇仁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-9:30: 小講義【石川 勇仁: 認知症】 (外来 7 番診察室) ・ 9:30-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 14:20-17:10: 医学医療総合講義 (第二病棟 2 階多目的室)
第 6 回	月曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・病棟診察 担当 三島 和夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-9:30: 小講義【三島 和夫: 医師患者関係】 (外来 7 番診察室) ・ 9:30-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 14:00-: 小講義【細谷 倫子: 精神科救急・リエゾン】 (Web class)
第 7 回	火曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・カンファレンス 担当 藤原 大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-9:30: 小講義【加藤 信之: 精神保健福祉法】 (外来 7 番診察室) ・ 9:30-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 13:30-: 病棟カンファレンス室 カンファレンス、教授回診 (第二病棟 3 階カンファレンスルームもしくは第二病棟 5 階カンファレンスルーム ※都度、指導医に確認すること)
第 8 回	水曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・病棟診察 担当 伊藤 結生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 11:30-: MSLT 見学予備日 (脳波室) ・ 14:00-: m-ECT 見学 (手術室) 終了後、小講義【伊藤 結生: 気分障害】
第 9 回	木曜日 [9:00-17:10] 副題 小講義・外来診察・病棟診察 担当 今西 彩	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-9:30: 小講義【今西 彩: 睡眠-覚醒障害】 (外来 7 番診察室) ・ 9:30-午前: 新患診察及び再来診察 ・ 午後: 小講義【竹島 正浩: 器質性精神障害、せん妄】 (Web class)
第 10 回	金曜日 [9:00-17:10] 副題 レポート発表 担当 三島 和夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9:00-12:00: レポート発表 (医局 2) ・ 14:20-17:10: 医学医療総合講義 (第二病棟 2 階多目的室)

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：消化器外科学(外科学Ⅰ) 臨床実習(CC1:Gastroenterological Surgery)－消化器外科臨床実習Ⅰ－

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-07

1. 主任教員

有田淳一(教授、消化器外科、6123、オフィスアワー：9:00-17:00)

2. 担当教員

有田淳一(教授、消化器外科、6123、オフィスアワー：9:00-17:00)

打波宇(准教授、消化器外科、6125、オフィスアワー：9:00-17:00)

渡辺剛(講師、消化器外科、6215、オフィスアワー：9:00-17:00)

阿部ゆき(助教、消化器外科、6215、オフィスアワー：9:00-17:00)

中川康彦(助教、消化器外科、6215、オフィスアワー：9:00-17:00)

3. 授業のねらい及び概要(学修目標)

1, ねらい(大まかな全体目標)

診療チームの一員として、入院中の患者さんへの診療を通して、将来どのような分野の医師にも必要な外科領域、特に消化器外科を中心とした症候や病態の推論、鑑別診断、検査・治療方針決定などの実践力を習得し、消化器外科医のイメージを獲得する。また、関連する医療倫理、医療安全、EBMについて実践的に学ぶ。

2, 概要(大まかな学修目標)

・診療チームの一員として入院患者を担当し、日々の回診、総回診、カンファランスでの症例提示を行う。(1-1～1-2、4-1～4-7)

・ガイドラインを有効に活用する習慣、診療から生じる疑問に対して仮説を立て、それを検証する習慣を身に着ける。(3-3、4-4、5-1～5-3、6-1～6-2)

・患者さんの年齢、生活背景、既往症などを考慮して、病状、診断に必要な検査、最適な治療を考えることができる。(1-2、4-1～4-7)

1) 病棟実習

各学生は診療チームに2週間配属され、指導医のもとで数人の患者さんを担当する。指導医の監督のもとに、毎日、担当患者さんの回診を行い、医療面接、身体診察、検査・治療方針の提案・議論、診療録の記載、カンファランスでのプレゼンテーションなど、診療チームの一員として実践的な診療を学ぶ。

2) 各種検査・手術等の実習

担当する患者さんの検査や手術に参加し、どのように実際の診療・治療が行われているのかを学ぶ。

3, 学修目標・項目

1) 症候・病態 臨床推論(3-1～3-4)

(1) 黄疸、(2) 腹痛、(3) 悪心・嘔吐、(4) 食思不振、(5) 便秘・下痢、(6) 腹部膨隆・膨満・腫瘍

2) 基本的臨床手技(4-1～4-7)

(1) 体位変換、移送ができる

(2) 胃管の挿入と抜去ができる

(3) 尿道カテーテルの挿入と抜去ができる

(4) 全身麻酔手術を見学し、介助ができる

(5) 診療録を作成する

- 3) 検査手技 (4-2~4-4)
 - (1) 腹部超音波検査を実施できる
 - (2) 各種検査の適応や手技について説明でき、結果の解釈が行える

- 4) 外科手技 (4-6)
 - (1) 無菌操作を実施できる
 - (2) 手術や処置のために手洗いができる
 - (3) 手術室におけるガウンテクニックができる
 - (4) 基本的な縫合と抜糸ができる
 - (5) 創の消毒や包交ができる
 - (6) 手術や、術前・術中・術後管理を見学し、介助する

- 5) リサーチマインド・問題解決能力 (5-1~5-3、6-1~6-2)
 - (1) 担当する患者さんの医学的課題を診療チーム内で共有・理解し、解決する能力を獲得する
 - (2) 振り返りによって、自己省察能力を高める

- 6) 医療行動科学、医療倫理、医療安全 (1-1~1-2、2-1~2-5、3-5~3-6)
 - (1) 各種の検査や手術のインフォームドコンセントを理解する
 - (2) 患者や家族への対応について考えることができる
 - (3) 医師としてのプロフェッショナリズム、医の倫理について理解する
 - (4) 各種の検査や手術などの安全管理に関して説明できる

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

各担当教官と相談すること

5. 成績評価の方法

態度 (実習中の学習態度)

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

クリニカルクラークシップガイドの必修事項を確認してくること

毎日、振り返りを行い、疑問点は学習すること

期間中に1回のセミナーを予定しています

消化器外科学（外科学1）臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回 副題 担当	月曜日 [8:30-17:00] 臨床実習1 各指導教官	8:30- オリエンテーション 南臨床棟3階医局 病棟回診・手術への参加
第2回 副題 担当	火曜日 [8:30-17:00] 臨床実習1 各指導教官	病棟回診・手術・検査への参加 16:00- 外来症例カンファレンス 17:00- 消化器合同カンファレンス（カンサーボード）（自由参加）
第3回 副題 担当	水曜日 [8:30-17:00] 臨床実習1 各指導教官	病棟回診・手術への参加
第4回 副題 担当	木曜日 [8:00-17:00] 臨床実習1 各指導教官	8:00- 病棟カンファレンス、術前検討会 病棟回診・検査への参加
第5回 副題 担当	金曜日 [8:30-14:00] 臨床実習1 各指導教官	病棟回診・手術への参加
第6回 副題 担当	月曜日 [8:30-17:00] 臨床実習1 各指導教官	病棟回診・手術への参加
第7回 副題 担当	火曜日 [8:30-17:00] 臨床実習1 各指導教官	病棟回診・手術・検査への参加 16:00- 外来症例カンファレンス 17:00- 消化器合同カンファレンス（カンサーボード）（自由参加）
第8回 副題 担当	水曜日 [8:30-17:00] 臨床実習1 各指導教官	病棟回診・手術への参加
第9回 副題 担当	木曜日 [8:00-17:00] 臨床実習1 各指導教官	8:00- 病棟カンファレンス、術前検討会 病棟回診・検査への参加
第10回 副題 担当	金曜日 [8:30-14:00] 臨床実習1 各指導教官	病棟回診・手術への参加

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：胸部外科学(外科学2) 臨床実習(Thoracic Surgery)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-08

1. 主任教員

南谷佳弘(教授、胸部外科学講座、6127)

2. 担当教員

南谷佳弘(教授、胸部外科学講座、6127)

今井一博(准教授、胸部外科学講座、6132)

佐藤雄亮(病院准教授、胸部外科学講座、6132)

寺田かおり(講師、乳腺・内分泌外科、6132)

高嶋祉之具(講師、胸部外科学講座、6132)

脇田晃行(医学部講師、胸部外科学講座、6132)

高橋絵梨子(助教、乳腺・内分泌外科、6132)

長岐雄志(助教、食道外科、6132)

3. 授業のねらい及び概要(学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

診療参加型臨床実習を通して、医師としての知識、思考法、技能、態度の基本を学ぶ。

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

1) 患者に対する適切な態度がとれる。

2) 身体所見、カルテ記載が自分でできる。

3) 診断にいたる倫理的思考、それに基づく適切な治療法を述べることができる。

3. 医療行動科学、医療倫理、医療安全、EBM、医療法(医療制度)について

関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療法(医療制度)について説明できる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

初日のオリエンテーションで、実習日誌・レポートのプリントを配布します。

標準外科学(医学書院)、他

5. 成績評価の方法

呼吸器、食道、乳腺・内分泌の各グループ毎に症例を割り当て、

第2週の木曜の午後より症例検討発表会を行い、その内容や取組みを評価する。

最終日にレポート・日誌を提出する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

初日のオリエンテーションで、3つの領域グループの配属を決定し、スケジュールを説明します。

胸部外科学（外科学2）臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	8:30～ オリエンテーション (臨床研究棟南3F 胸部外科学講座医局) 病棟実習 手術室実習(見学、手洗い、介助等) 症例プレゼンテーションの準備・練習 ※実習内容の連絡(手術の入室、変更や集合など)は医局または担当教員より通知します。
第2回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	8:00 集合、8:30～ 総回診、カンファレンス 病棟実習 18:00～ 食道がんカンサード(放射線科カンファレンス室)
第3回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	病棟実習 手術室実習(見学、手洗い、介助等) 呼吸器合同カンファレンス
第4回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	病棟回診・実習 検査見学
第5回 金曜日 [8:30-13:00] 副題 担当 スタッフ全員	病棟回診・実習 手術室実習(見学、手洗い、介助等) ※14:20～医学医療総合講義
第6回 月曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	8:30～ オリエンテーション (臨床研究棟南3F 胸部外科学講座医局) 病棟実習 手術室実習(見学、手洗い、介助等) 症例プレゼンテーションの準備・練習
第7回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	8:00 集合、8:30～ 総回診、カンファレンス 病棟実習 18:00～ 食道がんカンサード(放射線科カンファレンス室)
第8回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	病棟実習 手術室実習(見学、手洗い、介助等) 呼吸器合同カンファレンス
第9回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 スタッフ全員	病棟回診・実習 検査見学 ※午後～:症例発表(臨床棟3F外科カンファレンスルーム)
第10回 金曜日 [8:30-13:00] 副題 担当 スタッフ全員	病棟回診・実習 手術室実習(見学、手洗い、介助等) ※14:20～医学医療総合講義 最後にブリーフレポートを医局へ提出

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：心臓血管外科学 臨床実習 (Clinical Clerkship I Cardiovascular surgery)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-09

1. 主任教員

角 浜 孝 行 (准教授、心臓血管外科、6135)

2. 担当教員

角 浜 孝 行 (准教授、心臓血管外科、6135)

高 木 大 地 (講師、心臓血管外科、6135)

山 浦 玄 武 (助教、心臓血管外科、6135)

桐 生 健 太 郎 (助教、心臓血管外科、6135)

和 田 卓 也 (助教、心臓血管外科、6135)

板 垣 吉 典 (医員、心臓血管外科、6135)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

チームの一員として、手術や入院患者さんへの診療を通して、将来どの分野の医師にも必要な外科領域、特に心臓血管外科を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定などの実践力を習得する。また、関連する医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法 (医療制度)、EBM について実践的に学ぶ。

2. 概要

・心臓血管外科の診療に関する基本的な知識・技能を習得するために、指導医を中心とした医療チームの一員として能動的に実習に取り組む。

・集中治療室の重症患者への診療を通し、自ら情報收拾を行い、問題点を抽出、整理、解釈を行い (臨床推論)、解決法 (診断、治療) を立案するための訓練を行う。

1) 病棟診療

各学生は、各診療チームに1週間配属され、指導医のもと1名の病棟 (主に集中治療室) の術後患者さんを担当する。指導医の指導の下に、日々、担当患者さんの回診を行い、医療面接・身体診察による課題抽出、臨床推論、診療内容のカルテへの記載を通して、チームの一員として基本的な診療を実践的に学ぶ。

特に、術後患者の診療を通して、心臓血管外科術後急性期の呼吸・循環のダイナミクスを学ぶ。

2) 術前検討会におけるプレゼンテーション

実習班で一人の手術患者を担当する。術前検査、手術適応・術式判断、手術見学、術後管理について、診療チームの一員として、実践的に学ぶ。

3) 臨床の場で疑問を発生し、調べ、プレゼンする

1週間の臨床実習で、新たな浮かんだ疑問の一つを学習し、口頭試問にてアウトプットを行う。

3. 学修目標

上記の概要・ねらいを中心に実習を進めるが、本診療科で特に経験する症候・病態、各種手技などの内容を下記に示す。

1) 症候・病態 臨床推論 (4-1 4-7)

(1) 術後循環不全・術後呼吸不全

(2) ショック

(3) 浮腫

(4) 胸水

(5) 胸痛

(6) 呼吸困難

(7) 動悸

2) 基本的臨床手技

(1) 診療録(カルテ)を記載する(4-5)

(2) ICU フォーマットを理解し、実際に使用する(4-1 4-5)

(3) 指導医師による診療録のチェックを通し、医師とのディスカッションを行う(2-1,2,3,4,5., 4-7)

3) 手術前検討・外科手技

(1) 術前症例検討を通し、心臓超音波検査・胸腹部骨盤 CT の読影を学ぶ。

(2) 患者の術前状態を考慮し、日本循環器学会ガイドラインを用いて手術適応を判断する。(1-2, 3-3, 4-4, 5-2)

(3) カンファレンスで術前プレゼンテーションを行う。(3-5)

(4) 上記をチーム内で情報共有・ディスカッションを行うことを通して進める。(2-1,2,3,4,5., 4-7)

4) 自己研鑽・生涯学習力

(1) 自ら疑問を発生し、学習し、それを班員と共有する。(1-1, 5-1,6-1,6-2)

(2) 自己研鑽の姿勢を身につける。(6-1)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

心臓手術の周術期管理(メディカル・サイエンス・インターナショナル)

日本循環器学会ガイドライン

5. 成績評価の方法

(1) カンファレンスのプレゼンテーションを通してコミュニケーション能力・医学分野に関する知識と応用力・実践的臨床能力を評価する

(2) 受け持ち患者の診察・カルテ記載のチェックを毎日行い、最終日のクロージングのディスカッションを通して評価する

(3) 口頭試問(自ら疑問を発生し、回答を見出したことを共有してもらう)を通して、医師の職責と自己研鑽力を評価する
※ 出席状況・CC-EPOC 入力状況も加味する

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

※ 希望により当直医とともに心臓大血管手術後の術後管理を見学することができる。

※ 毎日診療録を記載し、担当医と discussion をし、記載内容についてフィードバックを受け、必要に応じて追記・訂正を行って承認を得る。

心臓血管外科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [8:15-17:00] 副題 心臓血管外科臨床実習 担当 高木大地	08:15 朝カンファレンス (医局カンファレンス室) 09:00 実習オリエンテーション 10:00 講義・実習：画像診断 CT と心臓超音波検査 (担当：) 13:00 講義：カルテの書き方 (担当：板垣) 講義外の時間は患者診療・カルテ記載・術前プレゼンの準備を行う
第 2 回 火曜日 [8:15-17:00] 副題 心臓血管外科臨床実習 担当	08:15 朝カンファレンス 09:00 講義・実習：術後管理 循環 (担当：桐生) ※ 血液ガス分析の方法を紹介・読み方を概説 講義外の時間は患者診療・カルテ記載・術前プレゼンの準備を行う
第 3 回 水曜日 [8:15-17:00] 副題 心臓血管外科臨床実習 担当	08:15 朝カンファレンス 講義外の時間は患者診療・カルテ記載・術前プレゼンの準備を行う
第 4 回 木曜日 [8:15-17:00] 副題 心臓血管外科臨床実習 担当	08:15 朝カンファレンス：担当患者症例プレゼンテーション 10:00～ 手術見学，患者診療 手術室で、患者移送の介助を行い、ICU で心電図検査・血液ガス分析を行う
第 5 回 金曜日 [8:15-17:00] 副題 心臓血管外科臨床実習 担当 高木大地	08:15 朝カンファレンス 09:00 クロージング 講義外の時間は患者診療・カルテ記載・術前プレゼンの準備を行う 14:20～ 医学医療総合講義

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)
授業科目名：脳神経外科学 臨床実習 (Clinical training of Neurosurgery:Basic)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-10

1. 主任教員

清水宏明 (教授、脳神経外科学講座、6140、オフィスアワー：8:00-13:00)

2. 担当教員

清水宏明 (教授、脳神経外科学講座、6140、オフィスアワー：8:00-13:00)

高橋和孝 (講師、脳神経外科学講座)

小野隆裕 (助教、脳神経外科学講座)

高橋佑介 (助教、脳神経外科学講座)

工藤絵里奈 (助教、脳神経外科学講座)

富樫俊太郎 (助教、脳神経外科学講座)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 一般目標 (GIO)

講義で学んだ知識の理解度を臨床実習を通して更に深める。(1-1～1-2, 3-1～3-3, 4-1～4-3, 4-5～4-6)

2. 到達目標 (SBOs)

病歴、神経学的所見が正確に取れ、神経放射線学読影が正確にでき、脳神経外科の代表的疾患について説明できる。(2-4, 3-1～3-3, 4-1～4-2, 4-5～4-6)

関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療法 (医療制度) について説明できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5～3-7, 4-4)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

児玉南海雄 監修：標準脳神経外科学 (医学書院)

太田 富雄 編集：脳神経外科学 (金芳堂)

田崎 義昭 著：ベッドサイドの神経の診かた (南山堂)

山浦 昌 編集：脳神経外科手術アトラス (医学書院)

Albert L. Rhoton 著：RHOTON Cranial anatomy and surgical approaches 南江堂

宜保浩彦ら 編集：臨床のための脳局所解剖学

5. 成績評価の方法

評価表 (出席、知識、コミュニケーション、病歴聴取、神経診察、カルテ記載、症例プレゼンテーション、手術・治療参加、自己学習) に基づき、評価を行う。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習開始前に配布する資料がある。各班の代表者は前週のうちに、当科の学生担当に連絡して資料を受け取ること。

実習初日は8:20までに第1病棟4Fカンファレンスルームに集合すること。

学生の集合を待ってカンファレンスを始めることはしない。

脳神経外科学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第 1 回	月曜日 [8:20-17:00] 副題 脳神経外科臨床実習 担当 各指導教官	カンファレンス 手術・病棟実習 神経内科合同カンファレンス
第 2 回	火曜日 [7:45-17:00] 副題 脳神経外科臨床実習 担当 各指導教官	カルテ回診 術後カンファレンス 手術・血管内治療・病棟実習 (脳神経セミナー 月 1 回開催)
第 3 回	水曜日 [8:00-17:00] 副題 脳神経外科臨床実習 担当 各指導教官	血管撮影読影会 手術・病棟実習
第 4 回	木曜日 [8:00-17:00] 副題 脳神経外科臨床実習 担当 各指導教官	カルテ回診 術前カンファレンス 病棟実習・血管内治療 実習報告会
第 5 回	金曜日 [8:20-17:00] 副題 脳神経外科臨床実習 担当 各指導教官	午前：病棟実習・(実習報告会予備日) 午後：医学医療総合講義

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：整形外科学／リハビリテーション科臨床実習（Orthopedics・Rehabilitation Medicine）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-11

1. 主任教員

宮腰尚久（教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

2. 担当教員

宮腰尚久（教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

本郷道生（教授、保健学科 理学療法学専攻、6532）

粕川雄司（准教授、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

野坂光司（講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

永澤博幸（医学部講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

齊藤英知（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

木島泰明（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

白幡毅士（助教、高度救命救急センター、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

土江博幸（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

工藤大輔（助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

木村竜太（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【授業のねらい】

医師として、整形外科関連疾患や外傷に適切に対応できるように、整形外科の基本的知識、態度、そして技能を身につける。授業では主として基本的知識および基本的臨床手技を身につけることに主眼をおく。また、リハビリテーション医療の実際と種々のテクノロジーの学習を通して全人的アプローチを理解し、興味を深める。また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM について学ぶ。

【授業の概要】

医学教育モデル・コア・カリキュラムで示された以下の項目を中心に、病棟実習、外来実習、手術実習、講義を通じて学習する。

A-1-1 医の倫理と生命倫理

・臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。(1-1)

A-1-2 患者中心の視点

・インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。(1-2)

A-1-3 医師としての責務と裁量権

・診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。(1-1,1-2,2-1～2-7)

A-2-1 課題探求・解決能力

・課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。(5-1～5-5)

A-2-2 学修の在り方

・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(5-1～5.5, 6-1,6-2)

A-3-1 全人的実践的能力

・病歴を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。(2-1～2-8, 4-1～4-5)

A-4-1 コミュニケーション

・コミュニケーションを通じて良好な人間関係を気づくことができる。(2-1～2-8,4-7)

A-4-2 患者と医師の関係

- ・患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取り扱いができる。(1-1,1-2,3-5,4-5)
- A-5-1 患者中心のチーム医療
 - ・医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。(2-5,2-6,3-6,4-7)
- A-6-1 安全性の確保
 - ・実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。(2-5,2-6,3-5,3-6,4-5,4-7)
- A-6-2 医療上の事故等への対処と予防
 - ・医療上の事故等と合併症の違いを説明できる。(2-5,2-6,3-5,3-6,4-7)
- A-6-3 医療従事者の健康と安全
 - ・標準予防策の必要性を説明し、実行できる。(3-4,3-5,4-4,4-6)

D-4-2 診断と検査の基本

- ・筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。(3-3,4-2)
- ・筋骨格系画像診断の適応を概説できる。(3-3,5-3)

D-4-3 症候

- ・運動麻痺・筋力低下 (3-2,4-2)
- ・関節痛・関節腫脹 (3-2,4-2)
- ・腰背部痛 (3-2,4-2)

D-4-4(1) 疾患

- ・四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。(3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。(3-3,3-4,4-3,4-4)

F-2-14 リハビリテーション

- ・リハビリテーションの概念と適応を説明できる。(3-3,3-7)
- ・リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。(4-7,4-8)
- ・理学療法、作業療法を概説できる。(3-3,3-7)

関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)

【授業の進め方】

1. 病棟実習

各自1～2例の症例検討を通じて上記の目標を達成する。

画像検査所見の検討、医療面接および身体診察を行い、文献的考察を加えて発表し、その後担当教員の指導を受ける。

診断過程や手術適応について考察するが、その際、参考書の受け売りにならないように注意すること。

実習期間中に当該症例を指導医とともに診察を行うこと。必要に応じてそれを申し出ること。

2. 外来実習

医療面接および身体診察や画像所見読影の基本、リハビリテーションの実際などを実習する。指導医、療法士の患者への対応を観察し、接遇の仕方を学ぶ。

3. 手術実習

手術に参画し、局所解剖の理解を深めるとともに、指導医のもとで Student Doctor に認められた医行為(簡単な縫合など)を行い、基本的臨床手技の習得に努める。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

【整形外科】

標準整形外科学(医学書院)

TEXT 整形外科学(南山堂)

新整形外科学・外傷学（文光堂）
整形外科 MOOK シリーズ（金原出版）
新図説臨床整形外科講座（メジカルビュー社）
図説整形外科診断治療講座（メジカルビュー社）
最新整形外科学体系（中山書店）

【リハビリテーション科】

リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版（公益社団法人日本リハビリテーション医学会 監修，医学書院発行，
定価 4,400 円（本体 4,000 円+税 10 %）
整形外科 術後理学療法プログラム 第3版（メジカルビュー社）

5. 成績評価の方法

臨床実習に無断欠席した者、レポートを提出しない者は臨床実習を完了したことはない。
レポート提出は、Word 形式または PDF 形式の添付ファイルとしてメールにて送信する。
提出先メールアドレス：seikei@doc.med.akita-u.ac.jp

CC-EPOC による成績評価を行う。評価項目は、実習前の学習態度、医師・患者関係、時間管理・服装・態度、職種間の連携に関するスキル、診療態度・学習意欲に関して、診療・スキルへの姿勢、および総合評価である。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

【集合場所】

- ★：1 病棟 8 階カンファレンスルーム
- *：整形外科外来
- ◇：北臨床棟 2 階カンファレンスルーム
- ※：中央放射線部透視室
- ：リハビリテーション科外来

【その他注意事項】

1. 時間厳守

月曜日 朝 8 時 00 分：北臨床棟 2 階カンファレンスルームに集合
火・水・木・金曜日 朝 8 時 30 分：1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合
症例検討の準備もそれまでに終了のこと。

2. レポート

担当した症例のうち 1 症例につきレポート（所定のレポート用紙にまとめる）を作成し、実習終了後 2 週までにメールにて提出すること。

3. 臨床現場における服装に考慮すること。

整形外科学／リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 オリエンテーション、病棟実習、総回診、抄読会 担当 宮腰・本郷・粕川・野坂・永澤・土江	【朝8時00分北臨床棟2階カンファレンスルームに集合】 ◇症例検討会 ◇オリエンテーション ◇講義：骨折 病棟実習/外来実習 【午後】 ★術前術後カンファランス ★総回診 ★抄読会
第2回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術実習、外来実習 担当 本郷・粕川・野坂・齊藤・白幡	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★講義：骨・関節の単純レントゲン写真の見方 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 ○リハビリテーション実習 外来実習/手術実習
第3回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、外来実習 担当 宮腰・永澤・白幡・工藤・木村	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例発表 ◇糸結び実習 病棟実習/外来実習 【午後】 ★症例発表の準備 ★講義：手外科疾患 ※脊椎検査
第4回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術実習、外来実習 担当 宮腰・野坂・齊藤・木島	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例発表 ★講義：骨代謝 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 外来実習/手術実習 ★講義：股関節疾患
第5回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術実習、外来実習 担当 永澤・木島	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例発表 ★講義：スポーツ傷害 病棟実習/外来実習/手術実習 *ギプス巻き実習
第6回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、外来実習、総回診、抄読会 担当 宮腰・本郷・粕川・野坂・永澤・工藤	【朝8時00分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例検討会 ★症例発表 ★講義：脊髄損傷 病棟実習/外来実習 【午後】 ★総回診 ★抄読会
第7回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術見学、外来実習 担当 本郷・粕川・野坂・齊藤・白幡	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例発表 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 ○リハビリテーション実習 外来実習/手術実習
第8回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、外来実習 担当 永澤・白幡・工藤・木村	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例発表 ★講義：腕神経叢損傷 病棟実習/外来実習 【午後】 ★講義：整形外科における皮弁 ※脊椎検査

整形外科学／リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第9回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術見学、外来実習 担当 野坂・齊藤・木島	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例発表 ★講義：重度四肢外傷 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 外来実習/手術実習 ★講義：下肢機能再建
第10回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術見学、外来実習 担当 永澤・木島	【朝8時30分1病棟8階カンファレンスルームに集合】 ★症例発表 ★講義：小児肘関節外傷 病棟実習/外来実習/手術実習

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：皮膚科学・形成外科学 臨床実習 (Dermatology・Plastic surgery) - 皮膚科治療学の基本-

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-12

1. 主任教員

河野 通浩 (教授、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

2. 担当教員

河野 通浩 (教授、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

手塚 崇文 (助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

野口 奈津子 (助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

加藤 真紀 (助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

山川 岳洋 (助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

能登 舞 (助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

豊島 あや (助教、皮膚科学・形成外科学講座、6153、オフィスアワー：9:00-17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

●授業の概要及びねらい

午前：病棟・外来実習で様々な皮膚疾患に接すること。実習を通して実践的な医療倫理や医療安全、医療制度を学ぶ。【1-1)、1-2)、2-1) から8)、3-1) から7)、4-1) から8)、5-1) から5)】

午後：テーマごとの講義を受けること。各テーマでの診断・治療についてのEBMを学ぶ。【3-1) から7)、4-1) から8)、5-1) から5)】

●講義内容・具体的到達目標・学修目標

【講義内容】

1. 皮疹の診かた・記載法, 2. 外用治療について, 3. 一般的な皮膚疾患, 4. アトピー性皮膚炎・蕁麻疹, 5. 乾癬, 6. 外科的治療, 7. 遺伝性皮膚疾患のテーマに分けて講義および実習を行う。【3-1) から7)、4-1) から8)、5-1) から5)】

【具体的到達目標・学修目標】

皮疹を正確に把握し、記録し、診断に至るまでの過程を考えるようにできることが到達目標である。【3-1) から7)、4-1) から8)、5-1) から5)】

※なお、本科目は実務経験のある教員による授業科目である。

4. 教科書・参考書

- ・あたらしい皮膚科学 (清水 宏, 中山書店)
- ・シンプル皮膚科学 (眞鍋 求/梅林芳弘, 南江堂)
- ・皮膚外科学 (日本皮膚外科学会)

5. 成績評価の方法

講義：「出席」

実習：「態度、口頭試問、出席」

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・外来実習では様々な皮膚疾患を診ることになるため、指定教科書で調べながら実習を行うことが望ましい。
- ・指定教科書に、授業の重要ポイントを記載して学習すると講義後の復習に役立つ。
- ・担当教員の予定により、若干変更する場合がある。

皮膚科学・形成外科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [9:00-17:00] 副題 臨床実習 担当 各指導教官	9時～ オリエンテーション(皮膚科医局)【2-5】 10時～ 病棟・外来実習(4F・皮膚科病棟、3F・皮膚科外来)【2-1)、2-7)、4-1)から8)、5-1)から5)】 13時～ 手術見学(3F・皮膚科外来)【4-6】 14時～ クルズ(3F・皮膚科外来カンファ:豊島)【3-1)から7)、4-1)から8)、5-1)から5)】 15時～ クルズ(3F・皮膚科外来、皮膚科外来カンファ:山川)【3-1)から7)、4-1)から8)、5-1)から5)】
第2回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 臨床実習 担当 各指導教官	9時～ 病棟・外来実習(4F・皮膚科病棟、3F・皮膚科外来)【2-1)、2-7)、4-1)から8)、5-1)から5)】 15時～ 病棟カンファレンス・教授回診(4F・皮膚科病棟)【4-5】
第3回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 臨床実習 担当 各指導教官	9時～ 病棟・外来実習(4F・皮膚科病棟、3F・皮膚科外来)【2-1)、2-7)、4-1)から8)、5-1)から5)】 14時～ クルズ(臨床研究棟 4F・皮膚科図書室:加藤)【3-1)から7)、4-1)から8)、5-1)から5)】 15時～ 形成外科実習(3F・皮膚科外来、担当:手塚)【4-6】
第4回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 臨床実習 担当 各指導教官	9時～ 手術(手術室)【4-6】
第5回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 臨床実習 担当 各指導教官	9時～ 病棟・外来実習(4F・皮膚科病棟、3F・皮膚科外来)【2-1)、2-7)、4-1)から8)、5-1)から5)】 13:20～ クルズ(臨床研究棟 4F・皮膚科図書室、担当:河野)【3-1)から7)、4-1)から8)、5-1)から5)】 (14:20～ 医学医療総合講義が予定されています。)

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)
授業科目名：腎泌尿器科学 臨床実習 (Clinical Practice of Urology)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-13

1. 主任教員

羽 淵 友 則 (教授、腎泌尿器科学講座、6154、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

2. 担当教員

羽 淵 友 則 (教授、腎泌尿器科学講座、6154、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

成田伸太郎 (准教授、腎泌尿器科学講座、6155、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

齋 藤 満 (准教授、血液浄化療法部、6435、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

沼 倉 一 幸 (講師、腎泌尿器科学講座、6460、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

奈 良 健 平 (助教、腎泌尿器科学講座、3404、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

山 本 竜 平 (助教、腎泌尿器科学講座、3404、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

小 林 瑞 貴 (助教、腎泌尿器科学講座、3404、オフィスアワー：月～金 8:30-17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 診療参加型臨床実習 CC1 の概要・ねらい

チームの一員として病棟や外来患者さんへの診療を通して、将来どのような分野の医師にも必要な泌尿器科領域を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査、治療方針決定等の実践力を修得する。

1) 病棟診療

各学生は各診療チームに1～2週間配属され、指導医のもと数名の病棟患者さんを担当する。指導医の監督の下に、日々、病棟担当患者さんの回診を行い、医療面接、身体診察による課題抽出・文献検索による臨床推論、検査・治療方針の提案、日々の診療内容や他科類診券、ウィークリーサマリー、紹介状などカルテへの記載(指導医の確認必須)、カンファレンス時等の各種プレゼンテーション、患者・家族への説明への参加など、チームの一員としてEBMに基づいた基本的な診療を実践的に学ぶ。

2) 外来診察、各種検査、手術などの治療への参加

このような病棟の担当患者診療の合間には、外来の新患、再来患者さんの診療や、各種の検査・治療に参加しながら、診療チームの一員として臨床推論・検査・治療の過程を実践的に学ぶ。

2. 学修目標

- ・腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
- ・生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。
- ・副腎の内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

また、上記1の概要・ねらいを中心に実習を進めるが、本診療科で特に経験保証する症候・病態、各種手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態・臨床推論 (3-1～3-7, 4-1～4-8)

- ・症候

(1) 脱水 (2) 浮腫 (3) 血尿・タンパク尿 (4) 尿量・排尿の異常 (5) 腹痛 (6) 腹部膨隆(腹水を含む)・膨満・腫瘍

- ・病態・臨床推論

(1) 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。

(2) 腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質(エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンⅡ、アルドステロン)の作用を説明できる。

(3) 蓄排尿の機序を説明できる。

(4) 腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。

- (5) 糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。
- (6) 腎生検の適応と禁忌を説明できる。
- (7) 尿流動態検査を説明できる。
- (8) 高・低 K 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。
- (9) 高・低 Ca 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。
- (10) アンダーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の定義、病態生理と診断を説明できる。
- (11) アンダーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の治療を概説できる。
- (12) 急性腎不全（急性腎障害）の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- (13) 慢性腎不全（慢性腎臓病 (chronic kidney disease **CKD**)) の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- (14) 慢性腎臓病 **CKD** 重症度分類を説明できる。
- (15) 慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。
- (16) 透析導入基準（慢性腎不全）を説明できる。
- (17) 腎不全の治療（血液透析・腹膜透析・腎移植）を説明できる。
- (18) 高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。
- (19) 腎血管性高血圧症を概説できる。
- (20) 腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流）を概説できる。
- (21) 腎外傷の症候、診断と治療を説明できる。
- (22) 尿路結石の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- (23) 尿路の炎症（膀胱炎・前立腺炎・尿道炎）の病因、診断と治療を説明できる。
- (24) 神経因性膀胱を概説できる。
- (25) 腎癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。
- (26) 膀胱癌を含む尿路上皮癌の症候、診断、治療を説明できる。
- (27) 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。
- (28) 男性生殖器の発育の過程を説明できる。
- (29) 男性生殖器の形態と機能を説明できる。
- (30) 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。
- (31) 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。
- (32) 精巣と前立腺の検査法（尿路造影、超音波検査、コンピュータ断層撮影 **CT**、磁気共鳴画像法 **MRI**）の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
- (33) 血中ホルモン（卵胞刺激ホルモン (follicle-stimulating hormone **FSH**)、黄体形成ホルモン (luteinizing hormone **LH**)、プロラクチン、ヒト絨毛性ゴナドトロピン (human chorionic gonadotropin **hCG**、エストロゲン、プロゲステロン) 測定値を評価できる。
- (34) 勃起不全と射精障害を概説できる。
- (35) 精巣機能障害を概説できる。
- (36) 男性不妊症を概説できる。
- (37) 前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。
- (38) 停留精巣、陰嚢内腫瘍を概説できる
- (39) 前立腺癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。
- (40) 精巣腫瘍の症候、診断、治療を説明できる
- (41) 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。
- (42) 男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。
- (43) 褐色細胞腫の病態、症候、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。
- (44) 性感染症の原因微生物を説明できる
- (45) 梅毒の症候と診断と治療を説明できる。
- (46) 淋菌感染症の診断と治療を説明できる。
- (47) 性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの診断と治療を説明できる。
- (48) 移植と組織適合性の関係を説明できる。
- (49) 移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。

(50) 免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。

2) 基本的臨床手技 (4-1~4-8)

- (1) 体位交換、移送ができる。
- (2) 皮膚消毒ができる。
- (3) 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。
- (4) 腰椎穿刺を見学し、介助する。
- (5) 尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。
- (6) ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。
- (7) 全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。
- (8) 診療録（カルテ）を作成する。
- (9) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。

3) 検査手技 (4-6)

エックス線撮影、コンピュータ断層撮影 CT、磁気共鳴画像法 MRI、核医学検査、内視鏡検査、腹部超音波検査を見学し、介助する。

4) 外科手技 (4-6)

- (1) 無菌操作を実施できる。
- (2) 手術や手技のための手洗いができる。
- (3) 手術室におけるガウンテクニックができる。
- (4) 基本的な縫合と抜糸ができる。
- (5) 創の消毒やガーゼ交換ができる。
- (6) 手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。

5) 救急処置 (4-6)

- (1) 身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。
- (2) 一次救命処置を実施できる。
- (3) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

6) シミュレーション教育 (4-6)

- (1) シミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。
- (2) da Vinci シミュレータを用いて、ロボット支援術の仕組みを学び体験する

7) 医療行動科学、医療倫理、医療安全、医療法 (医療制度)、EBMI について (2-1~2-8, 3-3, 3-5, 3-6)

- (1) 各種検査治療のインフォームドコンセント
- (2) 困難な患者、急変患者・家族への説明
- (3) 各種侵襲的な検査・治療時の安全性の配慮

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

Campbell 's Urology 11th ed. Alan J. Wein, et al. (eds), Saunders
ベッドサイド泌尿器科学 改訂第4版 吉田 修 南江堂
講義録泌尿器科学 荒井陽一, 小川修 メジカルビュー社
腎移植のすべて 高橋公太 メジカルビュー社

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問、ミニ CEX、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・本学のクリニカルクラークシップガイドの実習直前に必ず復習してくる事項【必修(コア)事項】を学習してくること。
- ・経験記録、手帳の記載を行うこと
- ・髪、服装、身だしなみに注意すること。サンダル履きは不可。
- ・月曜日(祝祭日の場合は火曜日)は7:30に泌尿器科カンファレンスルームに集合する。
- ・月曜日の症例検討会では、受持患者1名の症例提示を行う。
- ・評価は金曜日外来もしくは病棟実習時に行う。

腎泌尿器科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [7:30 - 18:00] 副題 X線読影、カンファランス、血液透 析実習、検査実習 担当 全教官	07:25 - カンファランスルーム (第二病棟二階から第一病棟に向かって渡り 廊下を渡った階段を過ぎたら右に入って右手) 集合 07:30 - 09:00 X線読影、泌尿器科病棟カンファランス 09:00 - 09:30 オリエンテーション 09:30 - 15:00 患者回診、検査実習、手術実習、症例呈示準備 16:00 - 17:00 総回診 17:10 - 18:30 症例検討会・症例呈示
第2回 火曜日 [8:00 - 17:00] 副題 手術実習 担当 全教官	08:00 - 08:30 腎疾患カンファランス 08:30 - 09:00 小講義 09:15 - 17:00 回診および手術実習
第3回 水曜日 [8:00 - 17:00] 副題 病棟回診、外来実習、検査実習、手 術実習 担当 全教官	08:00 - 09:00 病棟カンファランス、抄読会 09:15 - 17:00 回診および検査実習、手術実習、外来実習:miniCEX
第4回 木曜日 [8:00 - 17:00] 副題 手術実習 担当 全教官	08:00 - 09:00 病理カンファランス (または病棟カンファランス) 09:15 - 17:00 回診および手術実習
第5回 金曜日 [8:00 - 17:00] 副題 外来実習、病棟実習、検査実習 担当 全教官	09:00 - 12:00 外来・病棟実習 13:00 - 14:00 検査実習 14:20 - 医学医療総合講義

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)
授業科目名：小児科学 臨床実習 (Pediatrics)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-14

1. 主任教員

高橋勉 (教授、小児科学、6157)

2. 担当教員

高橋勉 (教授、小児科学、6157)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい

チームの一員として病棟や外来患者さんへの診療を通して、将来、どのような分野の医師にも必要な小児科領域を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実践力を習得する。

また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて学ぶ。

2. 概要 (大まかな学習目標 (項目))

・患者および保護者と良好な人間関係を確立できる。(2-1～2-8)

・問題解決に必要な情報を適切に収集できる。

＊患者および保護者から必要な身体的・精神的・社会的情報を得ることができる。(2-1～2-8)

＊患者および保護者の立場を考慮しつつ、視診・聴診・触診・打診等により必要な情報を得ることができる。(2-1～2-8, 4-1～4-2)

・収集した情報を適切に記載し、問題点を把握できる。(2-1～2-8, 3-1～3-7)

・問題解決のための診断・治療計画を立案できる。(4-2)

・小児科における特性を理解し、実践することができる。

＊年齢による疾患の特殊性を理解する。(3-2～3-4)

＊検査結果の年齢による違いを解釈できる。(3-3, 4-2)

＊小児における診療技術の特殊性を理解する。(4-3)

＊乳幼児健康診査や予防接種への参加を通じ、正常小児の成長発達および子どもの健康支援と予防医療の重要性を理解する。(3-4, 4-8)

・適切なプレゼンテーションができる。

＊症例を適切に要約し、場面に応じて提示できる。(2-4, 4-5)

＊問題提示に対して、他者と適切な討論ができる。(2-5)

＊文献検索等を通じ、問題解決のための資料が作成できる。(4-5)

1) 病棟実習

各学生は4つの診療チーム(総合、循環器、新生児、血液・腫瘍)のいずれかに2週間配属され、指導医のもと数名の病棟患者さんを担当する。指導医の監督の下に、日々、病棟担当患者さんの回診を行い、病状や身体所見をカルテに記載する(指導医の確認必須)。医療面接や身体診察による課題抽出、文献検索による臨床推論、検査・治療方針の提案、カンファランス時等の各種プレゼンテーション、患者・家族への説明への参加など、チームの一員としてEBMに基づいた基本的な診療を実践的に学ぶ。

2) 外来実習・各種検査など

このような病棟の担当患者診療の合間には、外来の新患、再来患者さんの診療や、各種の検査・治療に参加しながら、診療チームの一員として臨床推論・検査・治療の過程を実践的に学ぶ。

3. (詳細な) 学修目標

1) 症候・病態 臨床推論 (3-1～3-2)

発熱、全身倦怠感、食思(欲)不振、体重減少・体重増加、ショック、心停止、意識障害・失神、けいれん、めまい、脱水、浮腫、発疹、咳・痰、血痰・咯血、呼吸困難、胸痛、動悸、胸水、嚥下困難・障害、腹痛、悪心・嘔吐、吐血・下血、便秘・下痢、黄疸、腹部膨満(腹水を含む)・腫瘤、貧血、リンパ節腫脹、尿量・排尿の異常、血尿・タンパク尿、月経異常、不安・抑うつ、もの忘れ、頭痛、運動麻痺・筋力低下、腰背部痛、関節痛・関節腫脹、外傷・熱傷

2) 基本的臨床手技 (3-3, 4-2, 4-6)

体位交換, 移送, 皮膚消毒, 外用薬の貼付・塗布, 気道内吸引, ネブライザー, 静脈採血, 末梢静脈確保, 胃管挿入, 尿道カテーテル挿入・抜去, 注射(皮内・皮下・筋肉内・静脈内), 診療記録, 小児からの採血, カニューレ交換, 浣腸

3) 検査・治療手技 (4-2)

脳波検査(判読), 筋電図, 眼球に触れる検査, 超音波検査(判読), X線検査, CT・MRI・核医学・内視鏡検査, 尿検査, 血液塗抹標本の作製と観察, 微生物学的検査(グラム染色を含む), 妊娠反応検査, 超音波検査(心臓血管・腹部), 心電図, 経皮的酸素飽和度モニター, 病原体抗原の迅速検査, 簡易血糖測定, アレルギー検査(塗布), 発達テスト, 知能テスト, 心理テスト, 処方薬(内服薬)・注射・点滴などのオーダー, 食事指示, 安静度指示, 定型的な術前・術後管理の指示, 酸素投与量の調整, 診療計画の作成, 健康教育

4) 医学行動科学, 医療倫理, 医療安全, 医療法(医療制度), EBM (3-5～3-7, 4-4)

- (1) 治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。
- (2) 保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加する。
- (3) 小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加する。
- (4) どのように小児科にコンサルテーションすればよいかわかる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

Nelson Textbook of Pediatrics, Oski's Essential Pediatrics

5. 成績評価の方法

実習態度、レポート

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習初日は8時20分よりオリエンテーション(小児科医局横の共用室、事前に要確認)
アフタヌーンカンファランス(各実習期間内に1回)に参加し、医師とともに考え、学ぶ。

小児科学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第 1 回	月曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
第 2 回	火曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 教授回診、入退院カンファレンス 16:00-17:00 病棟実習 17:00-18:00 外科との合同カンファレンス (該当例のある時のみ)
第 3 回	水曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
第 4 回	木曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
第 5 回	金曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 午後は医学医療総合講義
第 6 回	月曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
第 7 回	火曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 教授回診、入退院カンファレンス、アフタヌーンカンファレンス 16:00-17:00 病棟実習 17:00-18:00 外科との合同カンファレンス (該当例のある時のみ)
第 8 回	水曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
第 9 回	木曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
第 10 回	金曜日 [8:30 - 17:00] 副題 臨床実習 担当 全教員	8:30-12:00 レポート発表及び討論 午後は医学医療総合講義

分類：臨床医学 IV (CC1)
授業科目名：産婦人科学 臨床実習 (Obstetrics and Gynecology)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-15

1. 主任教員

寺田 幸弘 (教授、産婦人科学講座、6160)

2. 担当教員

寺田 幸弘 (教授、産婦人科学講座、6160)
熊澤由紀代 (准教授、産婦人科学講座、6163)
清水 大 (准教授、産婦人科学講座、6163)
三浦 広志 (講師、産婦人科学講座、6163)
白澤 弘光 (講師、産婦人科学講座、6163)
牧野 健一 (助教、産婦人科学講座、6163)
菅原 多恵 (助教、産婦人科学講座、6163)
小野寺洋平 (助教、産婦人科学講座、6163)
藤嶋 明子 (助教、産婦人科学講座、6163)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

産婦人科の診療の基本を理解する。

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

講義の知識を臨床に応用できる。

(2-1～2-7、3-1～3-6、4-1～4-7、5-1～5-4、6-1～6-2)

3. 関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、
医療法 (医療制度) について説明できる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

NEW エッセンシャル産科学・婦人科学 第3版
Williams Obstetrics 第25版
Berek & Novak's Gynecology 第15版

5. 成績評価の方法

レポート発表による評価

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

・集合時間 9:00
・集合場所 産婦人科医局
・代表者は、A-net で送られてきた名簿をダウンロードし、入力の上、提出すること。また、産科グループを希望する者は WebClass 上の資料を熟読し、テストを受けておくこと。

産婦人科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	9 : 00 ~ オリエンテーション 教授回診・医局会 病棟実習
第 2 回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	病棟実習と手術見学
第 3 回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	病棟実習と手術見学
第 4 回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	病棟実習
第 5 回 金曜日 [8:30-14:10] 副題 担当 各担当教官	病棟実習と手術見学 14 : 20-17 : 10 医学医療総合講義
第 6 回 月曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	教授回診・医局会 病棟実習
第 7 回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	病棟実習と手術見学
第 8 回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	病棟実習と手術見学
第 9 回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 各担当教官	病棟実習
第 10 回 金曜日 [8:30-14:10] 副題 担当 各担当教官	病棟実習と手術見学 14 : 20-17 : 10 医学医療総合講義

分 類：臨床医学 IV (CC1)
授 業 科 目 名：眼科学 臨床実習 (ophthalmology)
対 象 学 年：4 年次 必修
時間割コード：71643002-16

1. 主任教員

岩 瀬 剛 (教授、眼科学講座、6164)

2. 担当教員

岩 瀬 剛 (教授、眼科学講座、6164)

西 山 俊 吾 (医員、眼科学講座、6167)

佐藤真理子 (医員、眼科学講座、6167)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

- (1) 将来、眼科の医師にならない場合にも必要な眼科領域の診療能力について学ぶ。
- (2) 眼科の医師のイメージを獲得する。

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

- (1) 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。
- (2) 疾患の病態や疫学を理解する。
- (3) 眼科の治療に可能な範囲で参加する。
- (4) 眼科の基本的な診察技能について学ぶ。
- (5) どのように眼科にコンサルテーションすればよいかわかる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

現代の眼科学 (改訂第 13 版 所敬 監修 吉田晃敏/谷原秀信 編) 金原出版
標準眼科学 (第 12 版 木下茂/中澤満/天野史郎 編) 医学書院

5. 成績評価の方法

出欠状況、実習態度、レポート提出

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習初日は、8:45 に第 1 病棟 7 階カンファレンスルームにてオリエンテーション
2 週目は 8:45 に第 1 病棟 7 階集合

眼科学 臨床実習 (ophthalmology)

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [8:45-12:00] 副題 オリエンテーション 外来診察 担当 各担当教官	午前：オリエンテーション(病棟) 病棟入院患者の教授回診の見学(病棟) 外来診察の見学・実習(細隙灯顕微鏡による前眼部の観察、視野データの判読)(外来) 午後：レポート作成
第2回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 手術見学、眼底検査実習 担当 各担当教官	午前：網膜硝子体手術、白内障手術、緑内障手術などの眼科手術見学(手術室) 午後：学生同士での眼底検査実習(医局・実習室)
第3回 水曜日 [13:00-17:00] 副題 ミニレクチャー 担当 各担当教官	午前：レポート作成 午後：開放隅角・閉塞隅角緑内障の生じるメカニズムについて解説する。(医局)
第4回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 手術見学、双眼倒像実習 担当 各担当教官	午前：網膜硝子体手術、白内障手術、緑内障手術などの眼科手術見学(手術室) 午後：シミュレーションセンターでの双眼倒像実習
第5回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 クルズス 担当 各担当教官	午前：「白内障について」患者さんに説明できるようになる！ 「目の疾患クイズ」前眼部所見、眼底写真から疾患を推理しよう！(医局) 午後：レポート作成
第6回 月曜日 [8:45-12:00] 副題 病棟回診 外来診察 担当 各担当教官	午前：病棟入院患者の教授回診の見学(病棟) 外来診察の見学・実習 (細隙灯顕微鏡による前眼部の観察、視野データの判読)(外来) 午後：レポート作成
第7回 火曜日 [13:00-17:00] 副題 手術見学、レポート作成 担当 各担当教官	午前：レポート作成 午後：網膜硝子体手術、白内障手術、緑内障手術などの眼科手術見学(手術室)
第8回 水曜日 [13:00-17:00] 副題 ミニレクチャー 担当 各担当教官	午前：レポート作成 午後：開放隅角・閉塞隅角緑内障の生じるメカニズムについて解説する。(医局)
第9回 木曜日 [13:00-17:00] 副題 手術見学、レポート作成 担当 各担当教官	午前：レポート作成 午後：網膜硝子体手術、白内障手術、緑内障手術などの眼科手術見学(手術室)
第10回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 クルズス 担当 各担当教官	午前：「白内障について」患者さんに説明できるようになる！ 「目の疾患クイズ」前眼部所見、眼底写真から疾患を推理しよう！(医局) 午後：レポート作成

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 臨床実習 (Clinical Clerkship of Otorhinolaryngology, Head&Neck Surgery)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-17

1. 主任教員

山田武千代 (教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6168)

2. 担当教員

山田武千代 (教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6168)

鈴木真輔 (准教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6169)

川崎洋平 (講師、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171)

小泉 洸 (助教、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171)

椎名和弘 (助教、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

外来、および病棟診療の実際について体験的に学習し、耳鼻科的疾患に対する診断アプローチ、治療法の実際、他科との連携について理解を深める。外来実習では、担当教員と一緒に診療を行い、患者さんにどのように言葉をかけてどのように反応するかを観察して接するべき方法を学ぶ (医療行動学)。実習を通じて、患者意志決定の尊重、安全性、患者の利益と負担について理解する (医療倫理)。(3-1,2,3,5,6)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

新耳鼻咽喉科学 (南山堂)

標準 耳鼻咽喉科頭頸部外科学 (医学書院)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 (南山堂)

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問、レポート発表、出席で総合評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

初日は7:45、第2病棟7階カンファレンス室に集合

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回 副題 担当	月曜日 [8:00] 耳鼻咽喉科診療の実際、教授回診	オリエンテーション、耳鼻咽喉科の実際、手術実習 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,5,6) 17:00～放射線症例検討会 (4-2,3,5,6)
第2回 副題 担当	火曜日 [8:00] 治療実習	抄読会、画像読影、外来、病棟診療実習 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,5,6)
第3回 副題 担当	水曜日 [8:30] 手術実習	画像読影、外来、病棟診療実習、手術実習 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,5,6)
第4回 副題 担当	木曜日 [8:30] 治療実習	病理検討会、画像読影、外来、病棟診療実習 レポート発表 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6)
第5回 副題 担当	金曜日 [8:30] 手術実習	画像読影、外来、病棟診療実習、手術実習 (3-1,2,3,5,6) (4-2,3,4,5,6) 14:20-17:10 医学医療総合講義

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：麻酔・蘇生・疼痛管理学 臨床実習 (Anesthesia and Intensive Care Medicine)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-18

1. 主任教員

新山 幸俊 (教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

2. 担当教員

新山 幸俊 (教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

木村 哲 (病院准教授、医療安全管理部、6173、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

安部 恭子 (助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

佐藤 浩司 (助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

中島 麻衣子 (助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

山本 夏子 (助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

堀越 雄太 (助教、救急・集中治療医学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

小玉 早穂子 (助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい

- 1) 将来どのような分野の医師にも必要な麻酔科領域の診療能力について学ぶ (3-1~3-4, 4-1~4-6, 6-1)。
- 2) 麻酔業務のイメージを獲得する (1-1~1-2, 2-1~2-7, 3-1~3-7, 4-1~4-7)。
- 3) チームの一員として全身麻酔・局所麻酔を受ける患者さんへの診療に関与する (1-1~1-2, 2-1~2-6, 4-7)。

2. 学修目標

1) 症候・病態 臨床推論 (3-1~3-4, 3-6, 4-1~4-4)

(1) 高血圧・低血圧、(2) 不整脈、(3) 低酸素血症、(4) 高二酸化炭素血症、(5) ショック、(6) 心停止、(7) アシドーシス・アルカローシス、(8) 電解質異常、(9) 高血糖・低血糖、(10) 気道確保困難、(11) 術後急性痛、(12) 慢性痛

2) 基本的臨床手技 (4-1, 4-5, 4-6)

(1) 体位交換、移送ができる。(2) 皮膚消毒ができる。(3) 末梢静脈ラインの確保を見学し、介助できる。(4) 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助できる。(5) 動脈血採血・検査を実施できる。(6) 中心静脈カテーテル挿入を見学する。(7) 胃管を挿入・抜去できる。(8) 静脈内注射を実施できる。(9) 全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助できる。(10) 診療録(麻酔記録)を作成できる。(11) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助できる。

3) 検査手技 (4-2, 4-5, 4-6)

(1) 手術室の標準的バイタルサインモニタ(心電図、非観血的動脈圧、経皮的酸素飽和度、カプノグラム、bispectral Index、深部温など)を装着できる。(2) 動脈血液ガス分析を実施できる。

4) 外科手技 (4-1~4-8)

(1) 無菌操作を実施できる。(2) 手技のための手洗いができる。(3) 手術室におけるガウンテクニックを見学し、介助できる。(4) 手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助できる。(5) 神経ブロックを見学し、介助できる。

5) 救命処置 (3-1~3-7, 4-1~4-7)

(1) 身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。(2) 一次救命処置を実施できる。(3) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

6) 麻酔科診療実習 (2-1~2-7, 3-1~3-7, 4-1~4-7)

(1) 麻酔管理中に遭遇する種々の症候・病態に対する臨床推論、対応を指導医の診療を通して学ぶ。(2) 指導医の責任のもと、可能な範囲で実際の麻酔管理に参加する。

7) シミュレーション教育 (3-1~3-6, 4-1~4-7, 6-1~6-2)

(1) 高機能麻酔シミュレータを用いて反復練習することで、臨床技能を磨く。(2) シナリオに沿ったトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。(3) シミュレータを用いて静脈ライン確保、動脈穿刺、エコーガイド下区域麻酔、硬膜外麻酔を経験する。(4) 振り返りで自己省察能力を磨く。

8) プレゼンテーション (2-4, 4-5, 6-1~6-2)

与えられたテーマについて多角的視野から考察し、プレゼンテーションを行う。

9) コンピテンシー教育 (1-1~1-2, 2-4~2-6, 3-1 3-7, 4-1~4-7, 5-1~5-4, 6-1~6-2)

(1) 麻酔という患者の意識が消失してコミュニケーションが図れない環境において、患者の代弁者としてふるまうことで医師としての矜持(倫理、医療行動)を学ぶ。(2) 麻酔関連の合併症が生じた場合の対応を医療安全の概念を踏まえて理解する。(3) 外科医、看護師、臨床工学技士など多職種が業務を行う中でプロフェッショナルリズムとチーム医療を学ぶ。(4) 最近の麻酔および周術期管理に関するエビデンスやガイドラインを学ぶ。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

臨床麻酔科学書 (中山書店)

標準麻酔科学 第7版 (医学書院)

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問、OSCE、プレゼンテーション、レポート(感想文)、出席など

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 本学のクリニカルクラークシップガイドにおける実習直前事項を学習してきてください。
2. 経験手技、手帳の記載を行ってください。
3. ペインクリニック外来実習(水曜日、木曜日)に参加してもらいます。
4. 実習内容や日程は変更されることがあります。必ず事前に連絡します。
5. 初日は7時45分、手術室内カンファレンスルームに集合してください。

麻酔・蘇生・疼痛管理学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容	
第1回	月曜日 [7:45 - 17:00] 副題 オリエンテーション 手術麻酔症例実習 担当 新山 幸俊、安部 恭子ら	07:45 - 08:45 08:45 - 10:00 10:00 - 12:00 12:00 - 13:00 13:00 - 17:00	カンファレンス (総説抄読、症例提示) 手術麻酔症例実習 オリエンテーション 昼食 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第2回	火曜日 [8:00 - 17:00] 副題 手術麻酔症例実習 実技 担当 新山 幸俊、佐藤 浩司ら	08:00 - 08:45 08:45 - 12:00 12:00 - 13:00 13:00 - 14:30 14:30 - 17:00	カンファレンス (論文抄読、症例提示) 手術麻酔症例実習 昼食 実技 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第3回	水曜日 [08:00 - 17:00] 副題 手術麻酔症例実習 (ペインクリニック外来実習) 担当 山本 夏子、中島 麻衣子ら	08:00 - 08:45 08:45 - 12:00 (09:00 - 12:00) 12:00 - 13:00 13:00 - 17:00	カンファレンス (症例検討、症例提示) 手術麻酔症例実習 ペインクリニック外来実習) 昼食 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第4回	木曜日 [8:00 - 17:00] 副題 手術麻酔症例実習 (ペインクリニック外来実習) 担当 木村 哲、山本 夏子ら	08:00 - 08:45 08:45 - 11:00 (09:00 - 12:00) 12:00 - 13:00 13:00 - 17:00	カンファレンス (論文抄読、症例提示) 手術麻酔症例実習 ペインクリニック外来実習) 昼食 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第5回	金曜日 [8:00 - 12:00] 副題 手術麻酔症例実習 担当 堀越 雄太、小玉 早穂子ら	08:00 - 08:45 08:45 - 12:00	カンファレンス (論文抄読、症例提示) 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第6回	月曜日 [7:45 - 17:00] 副題 手術麻酔症例実習 担当 安部 恭子、佐藤 浩司ら	07:45 - 08:45 08:45 - 12:00 12:00 - 13:00 13:00 - 17:00	カンファレンス (総説抄読、症例提示) 手術麻酔症例実習 昼食 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第7回	火曜日 [8:00 - 17:00] 副題 手術麻酔症例実習 麻酔シミュレータ実習 担当 安部 恭子、堀越 雄太ら	08:00 - 08:45 08:45 - 09:30 09:30 - 12:00 12:00 - 13:00 13:00 - 17:00	カンファレンス (論文抄読、症例提示) 手術麻酔症例実習 麻酔シミュレータ実習 (OSCE) 昼食 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第8回	水曜日 [8:00 - 17:00] 副題 手術麻酔症例実習 (ペインクリニック外来実習) 担当 山本 夏子、中島 麻衣子ら	08:00 - 08:45 08:45 - 12:00 (09:00 - 12:00) 12:00 - 13:00 13:00 - 17:00	カンファレンス (症例検討、症例提示) 手術麻酔症例実習 ペインクリニック外来実習) 昼食 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第9回	木曜日 [8:00 - 17:00] 副題 手術麻酔症例実習 (ペインクリニック外来実習) 担当 木村 哲、山本 夏子ら	08:00 - 08:45 08:45 - 11:00 (09:00 - 12:00) 12:00 - 13:00 13:00 - 17:00	カンファレンス (論文抄読、症例提示) 手術麻酔症例実習 ペインクリニック外来実習) 昼食 手術麻酔症例実習、手術患者の術前評価・麻酔計画・準備
第10回	金曜日 [8:00 - 12:00] 副題 総括 プレゼンテーション 担当 新山 幸俊、堀越 雄太ら	08:00 - 08:45 08:45 - 10:00 10:00 - 12:00	カンファレンス (論文抄読、症例提示) 手術麻酔実習 総括、学習内容プレゼンテーション、感想文提出

分 類：臨床医学 IV (CC1)

授業科目名：放射線医学 臨床実習 (Practice of Radiology)

対象学年：4 年次必修

時間割コード：71643002-19

1. 主任教員

森 菜緒子 (教授、北臨床棟 1 階放射線医学、6179、オフィスアワー：北臨床棟 1 階放射線科カンファレンスルーム、12 時～13 時)

2. 担当教員

森 菜緒子 (教授、北臨床棟 1 階放射線医学、6179、オフィスアワー：北臨床棟 1 階放射線科カンファレンスルーム、12 時～13 時)

和田 優貴 (講師、北臨床棟 1 階放射線医学、6179)

大谷 隆浩 (助教、北臨床棟 1 階放射線医学、6179)

松田 雅純 (助教、北臨床棟 1 階放射線医学、6179)

高木 倫子 (助教、北臨床棟 1 階放射線医学、6179)

戸沢 智樹 (助教、北臨床棟 1 階放射線医学、6179)

今野 素子 (助教、北臨床棟 1 階放射線医学、6179)

熊谷 聡 (助教、北臨床棟 1 階放射線医学、6179)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

将来どの分野の医師にも必要な放射線診断・治療に関する基本研修をする (3 - 3)

指導医の下、診断・治療の二つのチームに別れ研修する

関連するプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療法 (医療制度) について説明できる。(2 - 5)

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

CT,MR などの簡単な所見を見つけられる (3 - 3)

代表的な放射線治療法を理解できる (4 - 3)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

標準放射線医学 (医学書院)、臨床放射線腫瘍学 (南江堂)、新臨床 X 線診断学 (医学書院)

5. 成績評価の方法

出席・態度・レポートにより評価する

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

必修コア事項を学習すること

経験記録、手帳の記載をする

週間予定表を確認すること

授業に関連するキーワード：放射線診断、放射線防護と管理、総合画像診断、

放射線治療、集学的治療

コメント：月曜日 08：50 附属病院 1 階中央放射線部カンファレンスルームに集合

診断科・治療科に分かれて実習する

小講義・カンファレンスの開催の有無は、担当医に確認する

木曜日 プレゼンテーション後に、簡単な骨学実習 (頭蓋底、頸椎)

放射線医学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [8:50-] 副題 実習を始めるにあたって 担当 各担当教員	(診断) 08:50 オリエンテーション (MRI 棟読影室) 読影実習 13:15 総回診 (中央放射線部カンファレンスルーム) 読影実習・小講義 (治療) 08:50 オリエンテーション (MRI 棟読影室) 病棟実習 13:15 総回診 (中央放射線部カンファレンスルーム) 病棟実習・小講義 16:30 病棟回診 17:00 耳鼻科カンファレンス
第2回 火曜日 [8:00-] 副題 個別実習 担当 各担当教員	(診断) 08:00 画像カンファレンス (MRI 棟読影室) 08:50 血管造影実習・読影実習 13:30 読影実習・小講義 18:00 食道カンファレンス (治療) 08:00 画像カンファレンス (MRI 棟読影室) 08:30 病棟回診 13:30 病棟実習・小講義 16:30 病棟回診 18:00 食道カンファレンス
第3回 水曜日 [8:00-] 副題 個別実習 担当 各担当教員	(診断) 08:00 脳外科カンファレンス 08:50 血管造影実習・読影実習 13:30 RALS 小線源治療室 15:00 放射線管理 (核医学検査室) 小講義 (治療) 08:00 脳外科カンファレンス 08:30 病棟回診 13:30 RALS 小線源治療室 15:00 放射線管理 (核医学検査室) 小講義 16:30 病棟回診 17:00 治療症例カンファレンス (医局)
第4回 木曜日 [8:30-] 副題 個別実習 担当 各担当教員	(診断) 08:50 読影実習 09:30 課題の発表 (MRI 棟読影室) 13:30 読影実習・小講義 17:30 呼吸器カンファレンス (中央放射線部カンファレンスルーム) (治療) 08:30 病棟回診 09:30 課題の発表 (MRI 棟読影室) 13:30 病棟実習・小講義 16:30 病棟回診 17:30 呼吸器カンファレンス (中央放射線部カンファレンスルーム)
第5回 金曜日 [8:30-] 副題 個別実習 担当 各担当教員	(診断) 08:50 小講義 (MRI 棟読影室) (午後 必修：医学医療総合講義) (治療) 08:30 病棟回診 08:50 小講義 (午後 必修：医学医療総合講義)

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：救急・集中治療医学 臨床実習 (Emergency&Critical Care Medicine)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-20

1. 主任教員

中永士師明 (教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8:30-17:00)

2. 担当教員

中永士師明 (教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8:30-17:00)

奥山学 (准教授、救急・集中治療医学講座、6184、オフィスアワー：8:30-17:00)

佐藤佳澄 (助教、救急・集中治療医学講座)

北村俊晴 (特任助教、総合診療医センター)

平澤暢史 (特任助教、総合診療医センター)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

毎朝のカンファレンスに参加し、軽症から重症まで様々な病態、かつ様々な社会的背景を持つ患者の症例プレゼンテーションを聞き、病態に合わせた問題解決、総合的に患者・生活者を見る姿勢を学ぶ。また、一人一症例担当患者を決め指導医とともに診療し、その患者の徴候、治療、もしくは臨床的疑問点を調べ最終日に発表する。これは情報・科学技術を用いて最新の知識を入手し症例プレゼンテーションすることに加え、ピア・ラーニングで互いの知識を共有する目的で行う。また、小グループディスカッションで家庭医の診療ととして総合的に患者・生活者を見る姿勢について学ぶ。シミュレーションセンターでのシミュレーションでバイタルサインの測定とその評価、一次救命処置と二次救命処置を学ぶ

- 1) 症例カンファレンス参加 (1-1,2, 3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4,5,6,7,8, 5-1,2,3,4,5, 6-1,2,)
- 2) 救急外来での診療 (2-1,2,3,4,5,6,7,8, 3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4,5,6,7,)
- 3) 集中治療部での診療 (2-1,2,3,4,5,6,7,8, 3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4,5,6,7,)
- 4) 入院患者の診療 (2-1,2,3,4,5,6,7,8, 3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4,5,6,7,)
- 5) 救急医・集中治療医・総合診療医・家庭医について学ぶ (1-1,2, 2-1,2,3,4,5,6,7, 3-3,4,5,6,7,)
- 6) シミュレーションでバイタルサインの測定とその評価、ショックへの対応を学 (4-1,2,3,4,5,6,7)
- 7) シミュレーションで一次救命処置と二次救命処置を学ぶ (2-3,4,5,6,7, 3-2,3, 4-2,3,4,5,6,7)
- 8) 症例プレゼンテーション (ピア・ラーニング) (3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4,5,6,7, 5-1,2,3,4,5,6-1,2)

2. 学習目標

- 1) バイタルサインや身体徴候から緊急性の高い状態にある患者を認識できる。
- 2) ショックの患者の初期対応と原因に応じた治療について理解する
- 3) 心停止患者の一次救命処置を実施できる。
- 4) 心停止患者の二次救命処置を理解する
- 5) 心停止の原因と病態及び診断の要点について理解する
- 6) 集中治療及び集中治療室の概要を理解する
- 7) 人工呼吸管理・体外式膜型肺・補助循環・急性血液浄化法が必要な病態とその意義を理解する
- 8) 集中治療後症候群について概念を理解する
- 9) 症例発表において適切にプレゼンテーションできる
- 10) プライマリケアの基本的概念を理解する

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

Up To Date

5. 成績評価の方法

出席、症例発表、症例レポート、シミュレーションの実技評価

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1) 初日は 8:30 ICU カンファランス室 集合

*月曜日が祝日の場合は翌日 8:30 ICU カンファランス集合

2) WebClass で事前学習、予習すること

3) 紙媒体での資料配布はありません。各自 WebClass から用意し履修すること

4) 半袖の白衣を着用すること。ICU では感染制御の観点から長袖の白衣の着用を禁止しています。

問い合わせ：医局（6185）

救急・集中治療医学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回 副題 担当	月曜日 [8:30~17:00] オリエンテーション/ICU・病棟実習 奥山 学	1) カンファランス参加 2) 救急外来・ICU・病棟での診療
第2回 副題 担当	火曜日 [8:15~17:00] 総合診療セミナー 北村 俊晴	1) カンファランス参加 2) 家庭医療のコアコンピテンシーについて学ぶ
第3回 副題 担当	水曜日 [8:15~17:00] 二次救命処置 佐藤 佳澄	1) カンファランス参加 2) 心肺蘇生シミュレーション
第4回 副題 担当	木曜日 [8:15~17:00] 救急初期対応 (ABCD の評価) 平澤 暢史	1) カンファランス参加 2) 救急初期対応シミュレーション
第5回 副題 担当	金曜日 [8:15~17:00] ICU・病棟実習、医学医療総合講義 北村 俊晴	1) カンファランス参加 2) 症例プレゼンテーション 3) 医学医療総合講義 (14:20~17:10 多目的室)

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：総合診療・検査診断学 臨床実習 (General Internal Medicine and Clinical Laboratory Medicine) —臨床検査医学の実際—

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-21

1. 主任教員

植木重治 (教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

2. 担当教員

植木重治 (教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

嵯峨知生 (病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8:30~17:00)

守時由起 (准教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

嵯峨亜希子 (助教、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

藤岡優樹 (助教、附属病院中央検査部、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

佐々木智子 (特任助教、総合診療医センター、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

引地悠 (医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8:30~15:00)

渡部健 (医員、男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

長谷川諒 (医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8:30~17:00)

石川陽子 (、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8:30~17:00)

富谷陽子 (、附属病院中央検査部、6197、オフィスアワー：8:30~17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

臨床推論に基づく臨床検査を選択することができ、結果を解釈できる。(2-4~2-6, 3-2~3-4, 4-1~4-2)

本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法(制度)、EBM、基本手技について説明・実践できる。(1-1~1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4~4-6)

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

1) 医師が自ら行う必要のある基本的な検体検査法、手技を実施できる。

2) 静脈採血、血液形態学的検査、尿一般検査、微生物検査、呼吸機能検査、心電図検査などを実施できる。

3) 検体検査の実際と検体の取扱いに関する注意点について説明できる。

4) 医療関連感染対策の体制について説明できる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

ハリソン内科学書

新・総合診療医学家庭医療学編

新・総合診療医学病院総合診療医学編

臨床に役立つ検査値の読み方・考え方：河野・西崎編、総合医学社

臨床検査のABC：日本医師会編、医学書院

異常値の出るメカニズム：河合・尾形・伊藤編、医学書院

標準臨床内科学：猪狩・中原編、医学書院

新臨床内科学：阿部他編、医学書院

臨床検査法提要：金井編、金原出版

5. 成績評価の方法

- 1) 各項目ごとに教員による実習評価と授業姿勢による評価を行う。
- 2) さらに臨床症例を用いた検査診断演習発表によって実習全体の合否を判定する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

採血や検査を行う場合があるので、朝食や水分をとって体調を整えておくこと。
講義内容を復習しておくことよ。

総合診療・検査診断学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回 副題 担当	月曜日 [8:45-17:10] オリエンテーション、採血実習、総合診療カンファランス 植木重治	実習の概要について説明する。 RCPC (Reversed Clinico-Pathological Conference) の症例提示。 採血および末梢血塗抹標本作成の実習を行う。 総合診療部カンファランスに参加する。
第2回 副題 担当	火曜日 [8:50-17:10] オリエンテーション、採血実習、総合診療カンファランス 植木重治	血液学的検査、生化学・血清学的検査、尿検査の実習および結果解釈を学ぶ。
第3回 副題 担当	水曜日 [8:50-17:10] オリエンテーション、採血実習、総合診療カンファランス 植木重治	微生物学的検査、呼吸機能検査、心電図検査の実習および結果解釈を学ぶ。 血液ガス分析検査の結果解釈を学ぶ。 手洗い実習を行い標準予防策を学ぶ。
第4回 副題 担当	木曜日 [8:50-17:10] オリエンテーション、採血実習、総合診療カンファランス 植木重治	感染制御部カンファランスに参加し、医療関連感染対策の基本を学ぶ。 初日に提示した RCPC 症例について発表およびディスカッションを行う。 細菌学・適正な抗菌薬使用方法について学ぶ。
第5回 副題 担当	金曜日 [8:50-17:10] オリエンテーション、採血実習、総合診療カンファランス 植木重治	臨床検査成績の総合的解釈と病態の推論を学ぶ。 実習全体の振り返り。 14:20～医学医療総合講義

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：代謝・内分泌内科学(糖尿病・内分泌代謝科) 臨床実習 (Metabolism and Endocrinology) ー代謝・内分泌内科学BSL

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-22

1. 主任教員

脇 裕 典 (教授、代謝・内分泌内科学、6769、オフィスアワー：12:00-13:00)

2. 担当教員

脇 裕 典 (教授、代謝・内分泌内科学、6769、オフィスアワー：12:00-13:00)

藤田浩樹 (准教授、代謝・内分泌内科学、6769、オフィスアワー：12:00-13:00)

森 井 宰 (講師、代謝・内分泌内科学、6769、オフィスアワー：12:00-13:00)

佐藤雄大 (助教、代謝・内分泌内科学、6769、オフィスアワー：12:00-13:00)

3. 授業のねらい及び概要(学修目標)

1. 診療参加型臨床実習CC1の概要・ねらい

チームの一員として病棟や外来患者さんの診療を通して、将来、どのような分野の医師にも必要な内科領域、特に糖尿病・内分泌内科を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実践力を修得する。

1) 病棟診療

各学生は2つの診療チーム(A、B)のいずれかに2週間配属され、指導医のもとで1名の病棟患者さんを担当する。指導医の監督のもとに、毎日担当患者さんの診察を行い、所見を電子カルテに記載する(指導医の確認必須)。また、ウィークリーサマリーを作成し、2週目水曜日の病棟カンファレンスでプレゼンテーションする。診療チームの一員として、EBMおよび診療ガイドラインに基づいた基本的な診療を実践的に学ぶ。(1~6)

2) 外来診療、外来検査への参加

実習期間中、1名の外来新患者さんの初診を行い、病歴・診察所見を電子カルテに記載する(指導医の確認必須)。2週目水曜日の外来新患カンファレンスで担当した患者さんについてプレゼンテーションする。また、毎週水曜日の頸部エコー検査に交代で参加する。診療チームの一員として、臨床推論・検査・治療の過程を実践的に学ぶ。(1~6)

2. 学習目標

上記1の概要・ねらいを中心に実習を進めるが、本診療科で特に経験保証する症候・病態、各種手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態、臨床推論(3-1~3-5、4-1~4-6)

(1) 口渇・多飲・多尿、(2) 甲状腺腫、(3) 肥満・やせ

2) 基本的臨床手技(3-1~3-3、3-5、4-1~4-7)

(1) 皮膚消毒ができる。

(2) 注射(皮内、皮下、筋肉、静脈内)を実施できる。

(3) 診療録(カルテ)を作成する。

(4) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。

3) 検査手技(3-1~3-3、4-1~4-3)

(1) 尿検査(尿沈渣を含む)を実施できる。

(2) POCT器で血糖測定ができる。

(3) 頸部の超音波検査を実施できる。

4) プロフェッショナリズム、医療行動科学、医療倫理、医療安全、医療法（医療制度）、EBM について（2-1～2-8、3-3、3-5、3-7）

(1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント。

(2) 困難な患者、急変患者の家族への説明。

(3) 患者さんの生活環境（家庭、職場）に配慮した診療計画を検討できる。総合的にみることができる。

(4) 各種侵襲的な検査・治療時の安全性への配慮。

(5) 各種診療ガイドラインを適宜参照し、活用できる。ICT を活用して検索できる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

内科学（朝倉書店）

糖尿病専門医研修ガイドブック（診断と治療社）

内分泌代謝科専門医研修ガイドブック（診断と治療社）

5. 成績評価の方法

態度（実習評価票）

口頭試問（外来新患・病棟カンファレンスで担当患者さんの症例発表・ディスカッション）

CC-EPOC 入力状況

ミニ CEX（担当患者さんの診察状況を評価）

レポート（内分泌疾患に関する課題のレポートと担当患者さんの病歴要約）

出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習開始までに、3 年次臨床医学Ⅱ（加齢と老化、内分泌・栄養・代謝）の講義プリントの内容を復習して下さい。

代謝・内分泌内科学（糖尿病・内分泌代謝科）臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回	月曜日 [9:00-17:00] 副題 オリエンテーション 担当 藤田	オリエンテーション 病棟実習
第2回	火曜日 [8:30-17:00] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	病棟実習
第3回	水曜日 [8:30-17:00] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	病棟実習
第4回	木曜日 [8:30-17:00] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	病棟実習
第5回	金曜日 [8:30-17:10] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	8:30~14:20 病棟実習 14:20~17:10 医学医療総合講義
第6回	月曜日 [8:30-17:00] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	病棟実習
第7回	火曜日 [8:30-17:00] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	病棟実習
第8回	水曜日 [8:30-17:00] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	病棟実習
第9回	木曜日 [8:30-17:00] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	病棟実習
第10回	金曜日 [8:30-17:10] 副題 糖尿病・内分泌代謝科実習 担当 各指導教官	8:30~14:20 病棟実習 14:20~17:10 医学医療総合講義

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：小児外科学 臨床実習 (BSL in Pediatric Surgery)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-23

1. 主任教員

水野 大 (病院教授、小児外科学講座、3447、オフィスアワー：水曜日 15時～16時)

2. 担当教員

水野 大 (病院教授、小児外科学講座、3447、オフィスアワー：水曜日 15時～16時)

森井 真也子 (医学部講師、小児外科学講座、6141、オフィスアワー：火曜日 15時～16時)

渡部 亮 (助教、小児外科学講座、6142、オフィスアワー：金曜日 15時～16時)

東 紗弥 (医員、小児外科学講座、6141、オフィスアワー：木曜日 15時～16時)

山形 健基 (医員、小児外科学講座、6143、オフィスアワー：金曜日 15時～16時)

林海斗 (医員、小児外科学講座、6143、オフィスアワー：木曜日 15時～16時)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の狙い (大まかな全体目標)

チームの一員として病棟や外来患者さんへの診療を通して、将来どのような分野の医師にも必要な小児領域、特に外科疾患を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実践力を習得する。また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて実践的に学ぶ。

2. 概要 (大まかな学習目標)

小児外科疾患の診療に関する基本的な知識と技能を習得するために、指導医を中心とした医療チームの一員として能動的に実習に取り組む。(1-1～1-2、2-1～2-6、3-7、5-1～5-4、6-1～6-2)

臨床実習の中で自ら情報を収集し、患者さんと親御さんのニーズ・問題点の抽出、整理、解釈を行い(臨床的推論)、解決法(診断、治療)を立案するための基本的訓練を行う(problem based learning; PBL)(1-1～6-2)

診療チームの日常診療に参加し、小児外科疾患の診察、検査、治療の実際を体験し、ポートフォリオを作成する。(1-1～1-2、2-1～2-5、4-1～4-7)

1) 病棟診療

各学生は2週間配属され、指導医の下、病棟の入院患者さんを毎日回診して、診療内容をカルテに記載する。指導医の監督のもとに医療面接、身体診察を行うとともに処置を見学して、問題を抽出し、作業仮説を立ててEBMに基づいた検証を繰り返す。臨床推論に基づいて、診断、鑑別に必要な検査を立案し、患者さんの状態を勘案して治療方針の選択を試みる。他科頼診券、紹介状などの作成、症例検討会でのプレゼンテーション、患者・家族への説明への参加など、診療チームの一員として基本的な診療を実践的に学び、医師としてのプロフェッショナルリズムを身につけるために必要な知識、学習プロセスを身につける。(1-1～1-2、2-1～2-7、3-1～3-7、4-1～4-8)

2) 外来診療

外来診療への参加機会は手術や検査のない時間に限られるが、医療面接、身体診察を見学し、小児の特殊性を理解する。(2-1～2-7、3-1～3-3、3-5～3-6、4-1～4-2、4-6)

3) 各種検査・手術など治療への参加

診療チームの一員として各種検査、手術をはじめとする治療に参加あるいは見学しながら臨床推論・検査・手術の実際を経験し、検査成績の評価を自ら試みるとともに、治療(手術)の目的、妥当性について理解する。(3-1～3-3、3-5～3-6、4-1～4-7)

3. 詳細な学習目標・項目

上記1のねらい・概要を中心に実習をすすめるが、本診療科で経験し得る症候、病態、各種手技などの内容を下記に示す。

1) 症候・病態 臨床推論 (3-5、4-1~4-6)

(1) 腹痛 (2) 呼吸困難 (3) 発熱 (4) 悪心・嘔吐 (5) 食欲不振 (6) 嚥下障害 (7) 吐血・下血
(8) 便秘・下痢 (9) 腹部膨満 (10) 腫瘍 (11) 黄疸 (12) 脱水

2) 基本的臨床手技 (3-1~3-3、3-5、4-1~4-7)

(1) 体位変換、移送ができる (2) 皮膚消毒ができる (3) 静脈採血を見学する (4) 末梢静脈の血管確保を見学する (5) 中心静脈カテーテル挿入を見学する (6) 胃管の挿入と抜去を介助する (7) 尿道カテーテルの挿入と抜去を見学し、介助する (8) ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する (9) 全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学する (10) 診療録を作成する (11) 各種診断書・証明書の作成を見学する

3) 検査・治療手技 (3-1~3-3、4-1~4-7)

(1) 腹部の超音波検査を見学し、介助する。
(2) エックス線撮影、コンピューター断層撮影 (CT)、核磁気共鳴画像検査 (MRI)、核医学検査、内視鏡検査、直腸肛門内圧検査を見学し介助する。
(3) 無菌操作を実施できる。
(4) 手術や主義のための手洗いができる。
(5) 手術室におけるガウンテクニックができる。
(6) 基本的な抜糸ができる。
(7) 創の消毒やガーゼ交換ができる。
(8) 手術、術前・術中・術後管理を見学する。

4) プロフェッショナリズム、医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法 (制度)、EBM について (1-1~1-2、2-1~2-7、3-1~3-7、4-1~4-7、5-1~5-5)

(1) 各種検査・治療のインフォームドコンセントを見学する。
(2) 疾患の病態や疫学を理解する。
(3) インペアメント、ディスアビリティ、ハンディキャップを説明できる。
(4) 患児の生活環境などを総合的にみて診療計画を検討できる。
(5) 感染防止対策を説明できる。
(6) 身体障害者福祉法を概説できる。
(7) 各種診療ガイドラインなど必要な情報を ICT を活用して検索できる。
(8) 文献から得られた情報の批判的吟味ができる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

3年次「成長と発達」講義資料
標準小児外科学 (医学書院)
スタンダード小児外科手術 (メジカルビュー)
スタンダード小児内視鏡外科手術 (メジカルビュー)

5. 成績評価の方法

態度、口頭試問 (実習中随時行われる質疑応答)、CC-EPOC 入力状況、ミニ CEX、レポート、出席で総合評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

基礎医学で学ぶ人体発生学、解剖学、生理学を復習しておくこと。

3年時に講義した成長と発達を復習しておくこと。

適宜、診療録を記載し、指導医によるフィードバックを確認して追記・訂正を行うこと。

実習終了後に自己評価表、臨床実習評価シート、レポートを医局秘書に提出する。

小児外科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [8:15-17:30] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	オリエンテーション(8:15～) 朝回診(8:20～) 手術 (9:00～) 夕回診(16:00～) 抄読会・症例検討会 (16:30～17:30)
第2回 火曜日 [8:15-17:30] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 検査、定期入院患者の診察 夕回診(16:00～) 小児科、産科との合同カンファランス (17:00～17:30)
第3回 水曜日 [8:15-17:00] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 手術 (9:00～) 夕回診(16:00～)
第4回 木曜日 [8:15-17:00] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 検査 夕回診(16:00～)
第5回 金曜日 [8:15-17:00] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 検査 医学医療総合講義(14:20～)
第6回 月曜日 [8:15-17:30] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 手術 (9:00～) 夕回診(16:00～) 抄読会・症例検討会 (16:30～17:30)
第7回 火曜日 [8:15-17:30] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 検査、定期入院患者の診察 夕回診(16:00～) 小児科、産科との合同カンファランス (17:00～17:30)
第8回 水曜日 [8:15-17:00] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 手術 (9:00～) 夕回診(16:00～)
第9回 木曜日 [8:15-17:00] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 検査 夕回診(16:00～)
第10回 金曜日 [8:15-17:00] 副題 小児外科学臨床実習 担当 担当指導医	朝回診(8:15～) 検査 医学医療総合講義(14:20～)

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)
授業科目名：病理臨床実習 (Diagnostic and Anatomic Pathology)
対象学年：4年次必修
時間割コード：71643002-24

1. 主任教員

大森泰文 (教授、分子病態学・腫瘍病態学講座、6059)
後藤明輝 (教授、器官病態学講座、6062、オフィスアワー：水・木曜日全日(第二病理))

2. 担当教員

大森泰文 (教授、分子病態学・腫瘍病態学講座、6059)
後藤明輝 (教授、器官病態学講座、6062、オフィスアワー：水・木曜日全日(第二病理))
南條博 (病院教授、病理部、6182、オフィスアワー：通常は勤務時間帯)
吉田誠 (講師、器官病態学講座、6064、オフィスアワー：火・木・金曜日 9-17時(第二病理医局))
廣嶋優子 (助教、病理部、6200)
馬越通信 (助教、器官病態学講座、6064)
鈴木麻弥 (助教、分子病態学・腫瘍病態学講座、6061)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

- ・実習を通じて病理診断学に対する理解を深める。
- ・関連するプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療法(医療制度)、ゲノム医療に対応する検体の扱い方について説明できる。

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

医師として最低限身につけるべき病理組織診断学を習得する。

病理示説は、旧第一病理と第二病理とが交互に担当し、各グループ毎に剖検例、生検例について検討する。(3-1~3-4, 4-1~4-7)

剖検例では臨床(主訴、徴候と症状、臨床検査成績、臨床経過、臨床診断、治療など)と病理(剖検材料の肉眼的所見、病理組織学的所見、特殊染色や免疫染色の適用など)との関連から疾病の本態、臨床診断の当否や治療効果の如何などについて検討を行う。(2-1~2-8, 3-1~3-7, 4-1~4-8)

生検例の場合、適切な病理診断に加え、手術適応や予後との関連についても検討する。(3-1~3-4, 4-1~4-8)

病理部においては手術組織における病変の読み方、切り出し方、術中迅速診の実際などについても習得する。(3-1~3-4, 4-1~4-8)

分子診断と分子標的治療(臨床腫瘍学の立場から)について理解する。(4-1~4-8, 5-1~5-5)

生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。(1-1~1-2, 3-1~3-8, 4-1~4-8, 5-1~5-5)
患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。(3-1~3-7, 4-1~4-8, 5-1~5-5)

病理解剖、法医解剖(司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖)を説明できる。(1-1~1-2)

病理解剖の医療における位置づけと法的事項、手続きを説明できる。(1-1~1-2)

医学における病理解剖の学術的重要性を理解する。(1-1~1-2, 6-1~6-2)

病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリの意義を説明できる。(3-1~3-7, 4-1~4-8)

病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。(3-1~3-3, 4-1~4-6)

診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。(2-1~2-8, 4-7~4-8)

疾患の病態や疫学を理解する。(3-1~3-7)

患者の入院診療録から臨床上的問題点を列挙できる。(2-1~2-8, 4-1~4-8)

病理解剖症例の標本から病態の把握、疾患の診断ができる。(3-1～3-7, 4-1～4-8, 5-1～5-5)

臨床経過と病理解剖標本を総合して最終的な死因を類推できる。(5-1～5-5)

研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。(1-1～1-2, 6-1～6-2)

生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。(1-1～1-2, 6-1～6-2)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

5. 成績評価の方法

レポート, 実習態度, 出席率, 積極性

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

・関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、EBM について説明できる。

偶数グループは分子病態学・腫瘍病態学講座(旧第一病理)が担当する。

奇数グループは器官病態学講座(旧第二病理)が担当する。

集合時間 分子病態学・腫瘍病態学講座-9:00 医局(内線 6061)

器官病態学講座-9:00 医局(内線 6064)

病理 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第1回 副題 担当	月曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	病院病理部の業務の理解と診断過程への参加を体験する。
第2回 副題 担当	火曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	剖検例の供覧, 検討。病理解剖症例の臨床事項や検査データを検討し、病態を把握する。
第3回 副題 担当	水曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	剖検例の供覧, 検討。病理解剖症例の臨床事項や検査データを検討し、病態を把握する。
第4回 副題 担当	木曜日 [9:00-17:00] 病理示説 講座スタッフ	症例の病態についてまとめる。
第5回 副題 担当	金曜日 [9:00-14:00] 病理示説 講座スタッフ	症例の病態についてまとめる。病変についての形成試験を行う。

分類：臨床医学 IV (CC1)

授業科目名：臨床腫瘍学 臨床実習 (Clinical Oncology -principles & practice-, face to face) ーがん薬物療法の実際ー

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-25

1. 主任教員

柴田浩行 (教授、臨床腫瘍学講座、6262、オフィスアワー：17：00)

2. 担当教員

柴田浩行 (教授、臨床腫瘍学講座、6262、オフィスアワー：17：00)

福田耕二 (講師、臨床腫瘍学講座、6263、オフィスアワー：17：00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

医療行動科学、医の倫理、医療安全、エビデンス、医療制度を理解したうえで、以下の項目について、進行がん患者に対する治療の実際を体験し、必要な知識、技術を習得する (1-1, 1-2, 3-1~3-7, 4-1~4-8)。

1-1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる (4-1~4-3)。

1-2. 疾患の病態や疫学を理解する (3-1~3-4)。

1-3. 腫瘍内科的治療の立案・実施に可能な範囲で参加する (4-1~4-3)。

1-4. 複数の臓器にまたがる問題を統合する視点を獲得する (3-1~3-3, 4-1~4-7)。

1-5. 基本的な内科的診察技能について学ぶ (4-1~4-7)。

1-6. 他科との連携、コンサルテーションについて理解する (4-7, 4-8)。

2. 実習内容・具体的到達目標・学修目標

2-1. 基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法について理解し、指導医の指導・監督の下で自ら実施する (4-1~4-7)。

2-2. 臨床推論：症候・病態ごとに頻度・重症度を考慮し、想定すべき鑑別診断を行う。鑑別診断を想定しながら必要な病歴聴取・身体診察を行う (4-1~4-7)。

2-3. 医師として求められる基本的な資質・能力を常に意識しながら、臨床実習を行う (1-1, 1-2, 2-1~2-7)。特に以下の点について重点的に学ぶ。

2-3-1. がん薬物療法の実施に際してのインフォームド・コンセントが取れる (1-1, 1-2, 2-1~2-7)。

2-3-2. 進行がん患者に対するコミュニケーション・スキルを習得する (2-1~2-8, 4-1)。

2-3-3. SPIKES プロトコルに基づく悪い知らせ (がんの告知) の伝え方ができるようになる (4-1)。

2-3-4. 外来化学療法システムのシステムについて理解する (レジメン管理、有害事象の管理) (2-5, 2-6, 4-4, 4-7)。

2-3-5. 化学療法における薬剤師、看護師とのチーム医療の実際を理解する (4-7)。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

新臨床腫瘍学 (南江堂、改訂第6版、2021年)

入門腫瘍内科学 (篠原出版新社、改訂第3版、2020年)

がん医療におけるコミュニケーション・スキル：悪い知らせをどう伝えるか (内富庸介・藤森麻衣子著、医学書院)

Cancer: Principles & Practice of Oncology, 9th edition (Wolters Kluwer/ Lippincott Williams & Wilkins)

5. 成績評価の方法

出席、ミニテストで習熟度を確認する。

学生は個別に入院患者を1名以上受け持つ。

毎朝のカンファランスで受け持ち患者の病状の報告を行う。

その際に、随時、口頭試問を課す。

外来新患を受け持ち、病歴を要約する。翌日の朝のカンファランスで治療方針を含むプレゼンテーションする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

午前 8:00 に第二病棟 6 階ナースステーション前に集合。

教科書や指定参考書で予習を行い、授業に臨むことをお奨めします。

臨床腫瘍学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
<p>第1回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田</p>	<p>1) 進行がん患者の診療（コミュニケーション、診察、検査、治療） 1. 抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 2. 分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。 2) 進行がん患者の初診（告知、問診、病歴聴取、治療の説明（IC）） 以下のポイントに留意する 1. 問題の同定から治療やマネジメントに至るプロセスを列挙できる。 2. 情報収集には医療面接、身体診察、検査の3つの方法があることを理解する。 3. 診断仮説を想起するためには、解剖学、病理学、生理学、生化学等の基礎医学や疾患頻度が重要であることを理解する。 4. 診断仮説を検証するために、診断仮説に基づいた情報収集を実施できる。 5. 状況に応じ、診断プロセスと治療やマネジメントが並行して行われることを理解する。 6. 治療やマネジメントに関して意思決定するために、患者側と情報共有や折り合わせをする。 7. コンサルテーションや紹介の必要な状況を説明できる。 3) 外来患者の診療（外来化学療法とエマージェンシー） 1. 血算、凝固・線溶系検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を理解し結果を解釈する。2. 染色体・遺伝子検査の目的と適応を理解し、結果を解釈する。 3. 病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリーの意義を理解し、結果を解釈する。 ・下記の症状のある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 また、どのような病態であるのかの臨床推論を行う。 1. 発熱、2. 全身倦怠感、3. 食思不振、4. 脱水、5. 発疹、6. 咳・痰、7. 血痰・咯血、8. 呼吸困難、9. 胸水、10. 腹痛、11. 悪心・嘔吐、12. 吐血・下血、13. 便秘・下痢、14. 黄疸、15. 腹部膨隆（腹水）・腫瘍、16. 貧血、17. リンパ節腫脹、18. 尿量・排尿の異常、19. 血尿・タンパク尿、20. 頭痛、21. 運動麻痺・筋力低下、22. 腰背部痛。 4) 進行がん患者の治療に必要な知識と手技 1. 経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。 2. 血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。 3. リハビリテーション・チームの構成を理解し、がんリハにおける医師の役割を説明できる。 4. 緩和ケアを概説できる。 5. 全人的苦痛を説明できる。 6. 緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。 7. 疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。 8. オピオイドの適応と課題を説明できる。 9. 緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。</p>
<p>第2回 火曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田</p>	<p>1) 進行がん患者の診療（コミュニケーション、診察、検査、治療） 2) 進行がん患者の初診（告知、問診、病歴聴取、治療の説明（IC）） 3) 外来患者の診療（外来化学療法とエマージェンシー） 1. 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 2. 医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。 3. 病歴（主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー）を聞き取り、情報を取捨選択し整理できる。 4. 診察時に患者に適切な体位を説明できる。 5. 診察で得た所見、診断、必要な検査を上級医に説明、報告できる。 適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録 POMR を作成できる。 6. 診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画 SOAP で記載できる。 7. 症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。 8. プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。</p>

臨床腫瘍学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
<p>第3回 水曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 進行がん患者の診療 (コミュニケーション、診察、検査、治療) 2) 進行がん患者の初診 (告知、問診、病歴聴取、治療の説明 (IC)) 3) 外来患者の診療 (外来化学療法とエマージェンシー) 1. 患者の立場を尊重し、信頼を得ることができる。 2. 患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。 3. 患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。 4. 感染を予防するため、診察前後の標準予防策ができる。 5. 身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。 6. 患者の状態から診察が可能かどうかを判断し、状態に応じた診察ができる。 7. 身長・体重を測定し、body mass index の算出、栄養状態を評価できる。 8. 上腕で触診、聴診法により血圧を測定できる。 9. 両側の橈骨動脈で脈拍を診察できる。 10. 呼吸数を測定し、呼吸の異常の有無を確認できる。 11. 腋窩で体温を測定できる。 12. 下肢の動脈の触診等、下腿の血圧測定 (触診法)、大腿の血圧測定 (聴診法) を実施できる。 13. 7 全身の外観 (体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声) を評価できる。 14. 眼 (視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜) の診察ができる。 15. 頭頸部リンパ節の診察ができる。 16. 胸部の視診、触診、打診ができる。 17. 呼吸音と副雑音の聴診ができる。 18. 腹部の視診、聴診ができる。 19. 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御の有無を判断できる。 20. 腹水の有無を判断できる。 21. 腸雑音、血管雑音の聴診ができる。
<p>第4回 木曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 進行がん患者の治療に必要な手技 1. 皮膚消毒を実施できる。 2. 静脈採血をシミュレーターで実施できる。 3. 手指衛生等の標準予防策 (standard precautions) を実施できる。 4. 誘導心電図を記録できる。 5. 経皮的酸素飽和度を測定できる。
<p>第5回 金曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 進行がん患者の治療に必要な手技の実習 1. 血管穿刺のシミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。 2. 体位交換、移送ができる。 3. 皮膚消毒ができる。 4. 外用薬の貼付・塗布ができる 5. 静脈採血を実施 6. 末梢静脈の血管確保を実施できる。 7. 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。 8. ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。 9. 注射 (皮内、皮下、筋肉、静脈内) を実施できる。 10. 診療録 (カルテ) を作成する。 2) 14:20～医学医療総合講義

分 類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：薬剤学 臨床実習－薬物治療－(Clinical Practice in Pharmacy)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-26

1. 主任教員

赤嶺由美子(講師、薬剤部、6462)

2. 担当教員

赤嶺由美子(講師、薬剤部、6462)

三浦昌朋(教授、薬物動態学講座、6439)

3. 授業のねらい及び概要(学修目標)

1. 授業の概要及びねらい

- ・薬剤部が行っている業務全般を理解すると共に、チーム医療の一員としての医師のあり方を身につける。
- ・関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(薬機法)、EBMについて実践的に学ぶ。

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

- 1) 処方箋交付から調剤までの流れおよび調剤過誤防止対策を説明できる。(3-5～3-7, 4-4～4-8)
- 2) 注射薬処方箋交付から個人別注射セットおよび監査時の注意点を説明できる。(3-5～3-7, 4-4～4-8)
- 3) 注射抗がん剤処方箋のレジメン管理におけるメリットとデメリットを説明できる。(3-5～3-7, 4-4～4-8)
- 4) 麻薬・向精神薬の管理方法を説明できる。(3-5～3-7, 4-4～4-8)
- 5) 高カロリー輸液の調製に必要な知識と技術および院内製剤の必要性について説明できる。(3-5～3-7, 4-4～4-8)
- 6) チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。(2-1～2-8)
- 7) 医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。(2-1～2-8, 4-1～4-8, 6-1～6-2)
- 8) 関連するプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、医療法(薬機法)、EBMについて実践修得する。(1-1～1-2, 3-1～3-7, 4-1～4-6, 5-1～5-5)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

なし

5. 成績評価の方法

CC-EPOC 入力状況、態度、レポート、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

授業時間外の学習内容：到達目標や実習内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。

薬剤学 臨床実習－薬物治療－

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [] 副題 担当	
第2回 火曜日 [] 副題 担当	
第3回 水曜日 [] 副題 担当	
第4回 木曜日 [] 副題 担当	
第5回 金曜日 [] 副題 担当	
第6回 月曜日 [] 副題 担当	
第7回 火曜日 [] 副題 担当	
第8回 水曜日 [] 副題 担当	
第9回 木曜日 [] 副題 担当	
第10回 金曜日 [8:30-13:45] 副題 担当 薬剤部臨床実習 集合場所：薬剤部部員室 赤嶺由美子	<p>1. 調剤業務の実践 処方オーダーリングシステム、散剤、錠剤、カプセル剤、外用剤の調剤を経験し、調剤におけるリスクマネージメントを具体的に学習する。</p> <p>2. 薬品管理と注射薬調剤業務の実践 薬品の受け払い経路、発注システム、採用と削除、血液製剤管理簿の作成と保管、抗がん剤レジメンの運用方法および注射個人別セットの実際を学ぶ。</p> <p>3. 麻薬管理業務の実践 麻薬および向精神薬取締法のもと、麻薬・向精神薬の調剤、その記録、麻薬の廃棄方法、麻薬の事故届けがどのように行われているかを学習する。</p> <p>4. 製剤・高カロリー輸液調製業務の実践 各種滅菌法、院内製剤の種類とその意義、高カロリー輸液の調製法を実習し、体得する。</p> <p>5. チーム医療の実践 医療チームの構成員として、医師・薬剤師の役割を把握する。</p>

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：医療情報学 臨床実習 (Medical Informatics) -病院情報システムの理解-

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-27

1. 主任教員

片平 昌幸 (准教授、医療情報学講座 (基礎棟 1F)、6095)

2. 担当教員

片平 昌幸 (准教授、医療情報学講座 (基礎棟 1F)、6095)

大佐賀 敦 (准教授、医療情報学講座 (附属病院第1病棟 B1F)、6422)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい (大まかな全体目標)

病院情報システムの基本的知識や注意事項、技術・社会・法的背景を学ぶとともに、診療記録の真正性担保をはじめとする電子保存の実現方法を実際の病院情報システム (電子カルテ) を操作し、カルテ記載および処方・放射線検査等のオーダ作成を通して学習することで、医療情報の電子化や電子カルテをはじめとする病院情報システムに対する理解を深める。また、関連する医療倫理、医療安全、法的制度について、実践的に学ぶ。

2. 概要 (大まかな学修目標 (項目))

- ・病院情報システムに関する注意事項や技術・社会・法的背景を踏まえた、診療情報の取り扱いができる。(1-1~1-2, 3-5, 3-7, 4-2, 4-5, 5-3)
- ・附属病院の情報システム操作研修環境を用いて、カルテ記載および処方・検査等のオーダ作成ができる。(1-1~1-2, 2-4, 3-3, 3-5, 4-2~4-3, 4-5)
- ・電子化された診療記録の管理運営の実際を、本院病情報システムサーバ室の実設備を元に理解する。(1-1, 3-7, 5-3)

3. (詳細な) 学修目標・項目

上記1. ねらい, 2. 概要を中心に実習を行う。特に本実習では、本院病院情報システムと同機能の操作研修環境を各自が実際に操作し、カルテ記載に加えて、医師権限による処方・検査等のオーダの作成を行うことで、記録記載と同時に情報システムによる各種チェック機能の実際について体験し、医療安全に関する理解を深める。また、実際に作成した記録を元に、電子記録に必要な法的要件について理解する。(1-1~1-2, 2-4, 3-3, 3-5, 3-7, 4-2~4-3, 4-5, 5-3)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

医療情報第7版 医療情報システム編 篠原出版新社

5. 成績評価の方法

実習態度、レポート、出席により総合的に評価します。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習前には、4年次講義「診療情報」で説明する本院病院情報システムの利用方法を再度確認してください。

実習日は9:00に附属病院第1病棟地下1Fの医療情報部へ集合して下さい。実端末を操作しながら実習を行います。

月曜が休日の場合は、原則として火曜に変更となります。(都合により他の曜日に変更となる場合は、事前に連絡しますので、指示に従ってください。)

実習後は、課題レポートの内容を自ら調べて学習し、実習での内容の理解を深めてください。

医療情報学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [9:00 - 17:00] 副題 病院情報システムの理解 担当 大佐賀・片平	講義：医療現場で利用されている病院情報システムの実際についての講義 演習：本院病院情報システムの操作研修環境による演習とサーバ室見学・解説 総括：システムの応用範囲と課題，注意点等についてのディスカッション 課題：課題レポートの作成と評価

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：歯科口腔外科学 臨床実習 (Dentistry & Oral Surgery)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-28

1. 主任教員

福田 雅幸 (病院教授、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金 / 16:00～17:00)

2. 担当教員

福田 雅幸 (病院教授、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金 / 16:00～17:00)

高野 裕史 (病院准教授、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金 / 16:00～17:00)

五十嵐秀光 (助教、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金 / 16:00～17:00)

今野 泰典 (助教、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金 / 16:00～17:00)

福地 峰世 (助教、歯科口腔外科、6188、オフィスアワー：月～金 / 16:00～17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

ねらい

将来医師として必要な歯科口腔外科領域の診療能力について学び、歯科口腔外科医のイメージを獲得する。また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法 (制度)、EBM 等について学ぶ。

講義内容・具体的到達目標・学修目標

- 1) 口腔および顎関節を含めた口腔周囲の診察ができる。(3-1～3-2)
- 2) 歯科口腔外科領域の画像検査を説明できる。(3-3, 3-4)
- 3) 口腔ケアに関するチーム医療の概念を説明できる。(3-6, 4-7～4-8)
- 4) 歯や歯周組織に起因する炎症の診断と治療を説明できる。(3-2～3-3, 4-2～4-3)
- 5) 口腔顎顔面外傷の診断と治療を説明できる。(3-2～3-3, 4-2～4-3)
- 6) 顎口腔領域の腫瘍や嚢胞の診断と治療を説明できる。(3-2～3-3, 4-2～4-3)
- 7) 顎関節症の概要を説明できる。(3-1～3-3)
- 8) 顎変形症の概要を説明できる。(3-1～3-3)
- 9) 睡眠時無呼吸症候群の治療に用いる口腔内装置を説明できる。(3-2～3-3)

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

教科書：指定しない

参考書：「口の中がわかる ビジュアル 歯科口腔科学読本」

全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 監修、クインテッセンス出版 2017.

「医師・歯科医師のための口腔診療必携」高戸毅 編、金原出版 2010.

5. 成績評価の方法

講義・実習終了後のレポートと出席点で評価する。

レポート (60 点) + 出席点 (40 点) を合わせた 100 点満点で、60 点以上を合格とする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

基本的な注意事項は他科と同様である。

<集合時間> 午前 8:45 / 午後 13:30

<集合場所> 歯科口腔外科病棟 (第 1 病棟 1 階) スタッフステーション前

歯科口腔外科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [] 副題 担当	(臨床腫瘍学講座)
第2回 火曜日 [] 副題 担当	(臨床腫瘍学講座)
第3回 水曜日 [] 副題 担当	(臨床腫瘍学講座)
第4回 木曜日 [] 副題 担当	(臨床腫瘍学講座)
第5回 金曜日 [] 副題 担当	(臨床腫瘍学講座)
第6回 月曜日 [] 副題 担当	(医療情報)
第7回 火曜日 [] 副題 担当	(予備日)
第8回 水曜日 [] 副題 担当	(輸血部)
第9回 木曜日 [8:45 - 17:00] 副題 担当 歯科口腔外科実習 高野裕史・五十嵐秀光・今野泰典・福地峰世	午前 (8:45～) 病棟オリエンテーション 病棟処置見学 本日の手術の説明 手術見学 午後 (13:30～) 外来オリエンテーション 周術期口腔機能管理について (口腔の診察、口腔ケア) 外来手術見学 手術がない場合はミニレクチャーや相互実習
第10回 金曜日 [] 副題 担当	(薬剤部)

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：輸血学 臨床実習 (Transfusion Medicine)

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-29

1. 主任教員

高橋直人 (教授、輸血・細胞治療部、血液・腎臓・膠原病内科、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

2. 担当教員

高橋直人 (教授、輸血・細胞治療部、血液・腎臓・膠原病内科、6116、オフィスアワー：8:30-17:00)

奈良美保 (講師、輸血・細胞治療部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00)

佐藤郁恵 (、輸血・細胞治療部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00)

熊谷美香子 (、輸血・細胞治療部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00)

佐々木綾子 (、輸血・細胞治療部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00)

能登谷武 (、輸血・細胞治療部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 授業の概要

輸血医療に必要な知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に幅広い病態に対応する。(1-1)

輸血医療に関わる全ての人々の役割を理解し、連携する。(1-2,2-5~6)

医療倫理に則り、患者及び医療者にとって良質で医療安全に配慮した輸血医療を提供する。(4-6~7)

2. ねらい

自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。(5-1)

輸血医療チームの構成員として相互の尊重のもとに適切な行動をとる。(2-5~7)

輸血医療ではインシデントを含む輸血過誤が日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。(4-3~7)

3. 学修目標

自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。(1-1~2)

医療チームの構成や各構成員（とくに臨床検査技師）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。(1-1~2, 2-4~7)

医療上の事故を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なりスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。(2-4~7, 4-3~7)

4. 講義内容・具体的到達目標 (4-6~7)

静脈採血を実施して、血液型判定を実施できる。

血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験を説明できる。

血液製剤・血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。

輸血副反応、不適合輸血の防止手順を説明できる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

「輸血療法の実施に関する指針」「血液製剤の使用指針」(厚生労働省)

臨床輸血ガイド (文光堂)

よくわかる輸血学 (羊土社)

輸血学 (中外医学社)

5. 成績評価の方法

出席状況、検査実習の態度、口頭試問

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

健康な学生は献血を体験してみましょう。

輸血学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [] 副題 担当	
第 2 回 火曜日 [] 副題 担当	
第 3 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当 奈良美保、臨床検査技師	オリエンテーション 演習問題 採血実習 検査実習
第 4 回 木曜日 [] 副題 担当	
第 5 回 金曜日 [] 副題 担当	
第 6 回 月曜日 [] 副題 担当	
第 7 回 火曜日 [] 副題 担当	
第 8 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当 奈良美保、臨床検査技師	オリエンテーション 演習問題 採血実習 検査実習
第 9 回 木曜日 [] 副題 担当	
第 10 回 金曜日 [] 副題 担当	